

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
1		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	青少年海外交流事業	海外の青少年と交流することで、国際理解と異文化を体験する機会を与え、スポーツや文化を通じて国際的視野を持った青少年を育成する。	子ども	1	16人	16人	市単独	事業の実施	スポーツ等の交流を通し、青少年の国際的感覚を養う。	スポーツ交流や異文化体験等、参加者に国際的視点を持たせる場を多く提供できた。	A	現地の学校との親善試合のほか、一緒に授業を受けたことにより、中学生同士の親交を深めるとともに、コミュニケーション力の大切さについて学ぶ契機となった。また、台湾の歴史や文化を学ぶことで、参加者に国際的視点を持たせることが出来た。	継続		7,269	3,231	4,058	生涯学習政策課
2		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	北海道白糠町小学生交流事業	本市とゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し友情を育み親善を深める。	子ども	1	15名	15名	市単独	参加者の満足度	アンケートにて参加して良かったと回答した参加者の割合90%以上の交流を目指す。	100%	A	参加者全員に、満足度の高い事業を提供できた。	継続		1,381	1,157	1,689	生涯学習政策課
3		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	親子料理教室・食育教室	料理を作る体験や食に関する学びの体験を通じて、生涯をとおして健全な食生活を送る力を身に付ける。	親子・保護者	小学校53校で各1回	1,500人前後	1,551人	市単独	事業の実施	全小学校での実施	実施率77% (69校中53校で実施)	C	一部の学校で実施できなかったため、このような評価をした。実施できなかった理由を分析し、来年度以降は、料理教室に加え、給食調理体験のような形態も検討し、実施率を上げていきたい。	継続		なし	なし	なし	各小学校(保健給食課)
4		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども点字・手話教室	点字・手話だけではなく、福祉全般の啓発をし、子どものうちから偏見のない心を育てる	子ども	10	280	348	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:332名 前年度比104.8%	B	前年度比104.8%と多くの方に受講していただき、好評であった。	継続		216	209	216	障害者福祉課
5		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	中学校社会科学習資料「わたしたちの生活と税金」の発行	中学生の税に対する理解を深める。	子ども	通年・随時	市立中学3年生の生徒数(見込)4,388人 「わたしたちの生活と税金」発行部数6,000部	市立中学3年生の生徒数(見込)4,313人 「わたしたちの生活と税金」発行部数6,000部	実行委員会	中学生の税に対する理解	公立中学校で「税の作文」の応募者のいる学校の割合100%	92%	B	租税教育研究委員会の議論の中で、八王子市の税金の使いみちを詳しく掲載するなど、より八王子市に特化した副読本を作成した。	継続		305	516	643	税制課(八王子市中学生租税教育研究委員会)
6		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	親子里山保全体験講座	自然体験を通して里山の文化を知るとともに、里山保全の普及啓発を図る。	親子・保護者	3	60	57	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度90%以上	100%	A	アンケート結果における満足度が100%であり、目標値の90%を大きく超える成果を達成した。	継続		72	51	66	環境保全課
7		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	オーケストラ・ワンダーランドへようこそ！	身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞し、子どもたちに感動体験をを提供する。	子どもと保護者	1	1600	1247	実行委員会	参加者の満足度	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	参加者(620名分)の合計割合は、86% 指揮者等の体験者(34名分)の合計割合は、100%	B	子どもへのアウトリーチ活動(現地指導)や子ども向け音楽体験プログラムを提供できた。さらに平成30年度は、小学校による合唱を組み入れ、質・参加者数ともに充実した事業を実施できた。	継続		0	0	0	子どものしあわせ課(学園都市文化ふれあい財団)
8		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ふれあいこどもまつり	子どもたちが芸術への理解、表現や創造の素晴らしさを実感し、文化を生み出す心と感性を育てる。	子どもと保護者	1	2,000	2,539	実行委員会	応募者・参加者の人数	2,000人	2,539人	B	地域の子育て支援団体等により、子どもの体験を重視したプログラムを提供し、目標値を上回る参加者があった。また、アンケート結果も好評価であった。	継続		0	0	0	子どものしあわせ課(学園都市文化ふれあい財団)
9		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	児童館まつり・児童館こどもシティ	子どもたちに遊びを通したミニ社会体験の場を提供し、協調性を学んでもらう機会とする。	子ども	14	8,600人	7,209	実行委員会	協働事業の推進	子育て関連団体との連携強化	地域の様々な関係団体や学生の協力を得た。	B	地域住民や団体、学生などに協力してもらうことにより、地域住民と子どもたちが交流する機会を提供できた。また、子どもたちが社会性を身に付ける機会にもなった。	継続		813	981	841	児童青少年課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】							今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)							
								予定	実績													
10		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	児童館乳幼児クラブ	乳幼児とその保護者に遊びと交流の機会を提供する。	乳幼児	2,357	38,000人	27,380	市単独	応募者・参加者の人数	利用者のニーズに応え、内容の充実を図る。	体操や工作、季節行事など、利用者のニーズを踏まえ、2,357回の活動を実施した。	B	2,357回の乳幼児クラブ活動を実施し、27,380人の参加があった。また、保護者からの子育て相談にも対応した。	継続		582	368	547	児童青少年課	
11		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子育て講座	子育てに係る各分野の専門家による講演や遊びのプログラムの提供により、保護者が楽しく子育てできるように支援していく。	親子・保護者	195	3,500人	4,153	市単独	応募者・参加者の人数	利用者のニーズに応え、内容の充実を図る。	利用者のニーズを取り入れながら195回の子育て講座を実施した。	B	利用者のニーズを踏まえた親の学びの支援として「親子リフレ」「マグカップアート」など195回の講座を開催し、4,153人の参加を得た。	継続		342	575	350	児童青少年課	
12		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	みんなEnjoyわくわくステージ	バンド活動や特技の向上のために自主的に練習している中高生年齢の子どもたちにその成果を披露する機会をつくる。	子ども	1	120人	73	実行委員会	参加者の満足度	アンケート集計における「イベントに参加してよかった」という項目で全ての参加者が満足できるよう継続して取組む。	参加者全員がアンケートで「イベントに参加してよかった」と回答した。	B	出演者はダンスやバンド演奏など児童館で練習してきた成果を披露するとともに、中高生実行委員として、ポスター制作や当日の進行などの役割も担った。	継続		69	30	69	児童青少年課	
13		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み体験ボランティア	ボランティア活動体験を通じて、人が互いに助け合うことの大切さを学ぶ	子ども	1	200人	339人	補助	応募者・参加者の人数	参加者前年度比10%増	前年度比87%増	A	参加者数が339人で前年度比87%増であった。高校へのPRが参加者数の大幅増加につながり、目標を大きく上回った。	継続		222	303	250	福祉政策課 (社会福祉協議会)	
14		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	各種子ども向けプログラム	ミズノ(スポーツ) JSS(ダンス・武道) エスフォルタ(フィットネス) 多種多様なプログラムで、お子様の健康づくりに寄与する。	子ども	1206		12,527	指定管理者	応募者・参加者の人数	多くの参加者に参加していただく。 効果的なプログラムを提供する。	計画目標通り	B	昨年度参加総数9,389名/1028回 平均参加人数9.13名→10.38名 実施回数及び、参加人数増の為	継続		単独予算なし	20915 ※14と271合算	単独予算なし	スポーツ施設管理課	
15		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	キッズパトロール隊防犯教室	児童の防犯意識の高揚	子ども	2	10～20	26	共催	参加者の満足度	アンケート結果で「また参加したい」が半数以上となる	参加者26人中23人が「また参加したい」と回答	B	参加者26名のうち、半数以上の23人から「また参加したい」の回答を得た。また、「貴重な経験ができた」などの記述回答もあり、子どもの防犯意識を高めることができた。	継続		4	3	3	防犯課	
16		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども手作り甲冑教室	「甲冑作り」という体験学習を通じて八王子城跡の歴史を学び、子どもたちの郷土愛の醸成を図る。	親子・保護者	1	30	36	委託	参加者の満足度	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	88.90%	A	参加者の8割以上の方が「良い」と回答で講座に対する満足度が高かった。加えて、八王子城跡の歴史などを周知することができたため。	継続		108	108	108	文化財課 (NPO法人八王子城跡)	
17		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	体験学習「火おこしと縄文土器づくりー原始・古代の生活体験ー」	縄文時代について、講義と体験を通じて生活・文化への理解を深める。	子ども	1	20	19	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	全アンケート回答者から「満足」の回答を得た。	B	全回答者から満足との回答を得ることができた。 縄文時代の生活・文化について市民が理解を深める機会とすることができた。	継続		9	35	郷土資料館で実施する全ての体験学習の予算として合計48千円	文化財課 郷土資料館	
18		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	青少年講座	学校教育では体験できない学習機会を提供し、自発的・主体的な学習活動の基礎をつくる。	子ども	26	470	658	共催	参加者の満足度	満足度80%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合92.5%	B	企業・大学と連携したプログラミング講座をはじめ多様な体験を提供し、高い満足度を得られた。	継続		547	420	756	学習支援課	

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】						今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)							
予定	実績																					
19		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	中学生ボランティア体験	社会奉仕としてのボランティアを体験することで社会の一員としての自覚と働くこと助け合うことの大切さを学習する。また、図書館業務に携わる経験が読書に親しむきっかけになるように支援する。		0 (3館合計) 生涯:0 南大沢:0 川口:0	各10人		市単独	応募者・参加者の人数	多くの中学生に社会奉仕の機会をもってもらう。		評価なし		休止	中高生対象の一日図書館員として、内容を見直して実施。	24				図書館4館
20		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	南大沢文化会館バックステージツアー	劇場の楽しさを知ってもらうことにより、南大沢地区の文化を担う文化びとを育成し、来場者及び利用者の増加を図る。	親子・保護者	2	50	72	指定管理者	応募者・参加者の人数	応募人員 80%以上 (80人以上)	応募人員 81% (81人)	B	応募者数は目標を達成することができた。また、参加者の満足度は100%だった。	継続		284	273	319	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)	
21		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	観察会	アウトドアプログラムの骨格的なイベントとして、親子を中心に自然を観察・体験してもらう。	親子・保護者	4	125	62	指定管理者	参加者の満足度	平成29年度実施の利用者満足度調査において、親子向けイベントのニーズが多かったため、新規事業として実施。参加者の満足度の向上を目指す。	62人 4回 満足と回答した人80%	B	満足と回答した人が80%を上回る成果を得られた。	継続		48	36	48	公園課(ひとまちみどり由木)	
22		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	こども科学教室	株式会社アジレントテクノロジーによる実験、ものづくりイベントとして、小学生の科学教育を推進する。	親子・保護者	4	128	89	共催	参加者の満足度	平成29年度実施の利用者満足度調査において、親子向けイベントのニーズが多かったため、継続事業として実施。参加者のニーズと満足度の向上を目指す。	89人 4回 満足と回答した人82%	B	満足と回答した人が80%を上回る成果を得られた。	継続		13	10	13	公園課(ひとまちみどり由木)	
23		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	みどりのあそび市	グッド・トイを利用し、地域の親子に世界のおもちゃの魅力を伝え、「出会い・ふれあい・育ち合う」遊びの広場を開催すると同時に地域のあそびを取り入れたひろばを展開する。	乳幼児	2	60	265	指定管理者	協働事業の推進	地域住民との協働を推進する。	参加予定人数を200人以上上回った。 市内からの参加者多数。	A	参加者が265人であった。加えて、事業目標についても、出展者として市内教育機関や法人が参加、市内からの参加者も多く協働の推進を達成した。	継続		20	44	40	公園課(ひとまちみどり由木)	
24		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ひとり親家庭生活力向上事業「なんでもチャレンジ」	ひとり親家庭の児童が、体験活動や学習支援を通じて、心身ともに健やかに成長すること。	子ども	5	30 (1500部)	91人(延)	市単独	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが80%以上とする。	参加者アンケートのうち、満足したものが85%だった。	B	参加者アンケートの満足度が高かったため	継続		470	275	470	子育て支援課	
25		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	星空観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	どなたでも	6	450	813人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	813人(目標値に対する達成率180%)	B	夏休みの火星大接近に合わせて観望会を開催し、参加者が813人と予定人数の2倍近くの方に参加していただき、火星接近のしくみなどを普及した。来年度も引き続き、開催する。	継続		0	0	0	こども科学館	
26		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	昼間の天体観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	どなたでも	3	250	468人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	468人(目標値に対する達成率187%)	B	冬休みの部分日食に合わせて観望会を開催し、参加者が468人と予定人数の2倍近くの方に参加していただいた。太陽や日食のしくみについて多くの方に普及することができた。来年度も引き続き、開催する。	継続		0	0	0	こども科学館	

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
27		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	天文講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	どなたでも	2	200	62人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	62人(目標値に対する達成率31%)	C	2回のみ開催となり、参加者も62人と予定人数を大きく下回った。来年度はテーマ設定などを考慮しながら、引き続き開催する。	継続		0	0	0	こども科学館
28		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み天文講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	どなたでも	2	400	329人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	329人(目標値に対する達成率82%)	C	参加者は329人であった。予定人数を下回ったが、多くの親子に参加していただき、天体の運行や惑星についての理解を促進することができた。来年度は、夏休み中に起きる天文現象にあわせた内容にするなどより興味引くテーマとしたい。	継続		0	0	0	こども科学館
29		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	科学講演会	科学に関する知識の普及および啓発	どなたでも	2	200	328人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	328人(目標値に対する達成率164%)	B	こども科学館開館30周年記念および特別展開関連講演会として、JAXA名誉教授の講演を開催し、参加者が328人と目標を上回る方に参加していただいた。	継続		100	67	90	こども科学館
30		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	科学実験ショー	身近な科学的事象の体験を通じて、科学への興味を深める場を提供する。	どなたでも	27	1800	2,210人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%以上	満足と回答した人の割合96%	B	参加者が2,210人であった。目標値を超える多くの方に参加していただき、様々な科学現象について解説した。満足度も目標値より高くなった。来年度も引き続き、開催する。	継続		100			こども科学館
31		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	科学工作教室	物を作ることを実際に体験して、科学の楽しさを知る。	子ども	11	250	172人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%以上	満足と回答した人の割合87%	B	少し難しい工作で、参加者は少なかったが、円盤アニメーションや手作りプラネタリウムなどを工作し、満足度は87%と高かった。来年度も引き続き、開催する。	継続		0	0	0	こども科学館
32		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	フリー工作広場	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	子ども	30	1,500	1,641人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	1,641人(目標値に対する達成率109%)	B	参加者が1,641人と目標値を超える多くの方に参加していただき、紙コップや割りばしなど、身近な物を使って工作を行った。来年度も引き続き、開催する。	継続		0	0	0	こども科学館
33		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	かんたん工作室	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	子ども	36	2,500	1,772人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	1,772人(目標値に対する達成率70%)	C	参加者が1,772人であった。予定人数を下回ったが、偏光板やスライムなどの原理を学びながら工作を行った。来年度は開催数や内容の充実を図り開催する。	継続		0	0	0	こども科学館
34		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	プラネタリウム番組の投影	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発(年4回番組入替有)	どなたでも	1,049	50000	50,898人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	50,898人(目標値に対する達成率101%)	B	プラネタリウム観覧者数50,898人と、目標人数を超え、天文や宇宙について普及することができた。来年度も引き続き、多くの方に観覧いただける番組を投影する。	継続		9,504	10,093	9,212	こども科学館

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
35		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	星空コンサート	市民に音楽に触れる機会、天体学習の機会を提供する。	どなたでも	6	1,000	702人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	702人(目標値に対する達成率70%)	C	参加者は702人であった。来場者の少ない回があり、予定人数を下回ったが、管楽器、ハーブ、箏などによる楽曲を楽しんでいただいた。来年度は、曲目や楽器の種類などを考慮しながら、も引き続き、開催する。	継続		250	180	180	こども科学館
36		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	浅川化石観察会などの科学講座	八王子の地質などを知り、自然への興味を深める場を提供する。	どなたでも	2	130	120人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	120人(目標値に対する達成率92%)	C	直前でキャンセルがあり、参加者が120人であった。約230万年前の化石(メタセコイアやコハク)を観察した。人気の高い講座であり、来年度も引き続き、開催する。	継続		4			こども科学館
37		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	コズミックカレッジ	実験や工作を行うことを通じて、宇宙に関する知識の普及、啓発を行う。	子ども	1	120	49人	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	49人(目標値に対する達成率40%)	C	参加者数は49人であった。予定回数2回のうち、小学校高学年向けの1回が開催できなかったため、参加者が49名と予定人数を下回った。来年度は予定どおりの2回開催を目指す。	継続		0	0	0	こども科学館
38		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み科学体験	参加者は、物を作る事を通じ科学の楽しさを知り、スタッフ(中・高生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	子ども	1	100	148人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	148人(目標値に対する達成率148%)	B	参加者数は148人であった。児童館の職員と中・高生が講師となって、植物の葉について学び、葉脈標本を製作した。来年度も引き続き、開催する。	継続		0	0	0	こども科学館
39		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	親子化学実験教室・理科教室	参加者は、化学反応等を体験し、科学の楽しさを知り、スタッフ(学生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	子ども	1	100	141人	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	141人(目標値に対する達成率141%)	B	小・中学生87名と保護者54名が参加し、化学変化を体験した。来年度も引き続き、開催する。首都大学東京の学生(化学サークル)が講師。	継続		20			こども科学館
40		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	電子顕微鏡を活用した講座	電子顕微鏡により、様々なものを拡大して、その表面や構造を見することで、物の形成や成り立ちを学ぶ。	子ども	1	20	16人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	16人(目標値に対する達成率80%)	B	電子顕微鏡の部屋が狭く、定員を16名とし、昆虫などを観察した。来年度も引き続き、開催する。	継続		0	0	0	こども科学館
41		1-②	家庭教育の支援	パパママ支援ワークショップ星とおひさまフイーカキャラバン	茶話会形式のワークショップにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭の教育力の向上を図る。	親子・保護者	6	120人 (20人/回)	94	共催	参加者の満足度	アンケート項目『ワークショップが楽しかったか』に“はい”と回答した参加者の割合90%以上	99%	B	リラックスした雰囲気やファシリテーターの進行で参加者同士の交流を図ったことで、「子育ての悩みや不安が軽くなった」とのアンケート結果が多数あり参加者の満足度も99%と非常に高かった。	継続		232	132	685	生涯学習政策課
42		1-②	家庭教育の支援	家庭教育啓発リーフレット等の配布	リーフレット・クリアファイルを配布し、家庭内において社会のマナーや基本的な生活習慣等を見学・生徒に身につけさせる。	どなたでも	1	50,000枚 (配布世帯)	45,000	市単独	事業の実施	リーフレット・クリアファイルを配布するとともに、関係所管と連携し、家庭教育の重要性について更なる周知を図る。	リーフレット等のデザイン・内容や啓発方法などについて家庭教育啓発検討会を開催し大幅なりニューアルを図った。	B	家庭内における生活習慣や学習習慣を身につける「家庭教育」を啓発するため、リーフレットの見直しを行い、市民が家庭教育に親近感が持てるよう、よりわかりやすい内容とした。また、市内小・中学校の児童・生徒を持つ家庭や関連所管及び行政委員などにもリーフレットを配布した。	継続		242	610	570	生涯学習政策課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】						今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)						
予定	実績																				
43		1-②	家庭教育の支援	ぶんぶん(知的障害児教室)	運動・工作・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	障害児とその保護者	3	70	68	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	終了時のアンケート・口頭のアンケートでほぼ全員が満足と回答	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		186	186	186	南大沢保健福祉センター
44		1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	成人(妊婦)	12	216	68	市単独	応募者・参加者の人数	参加者84人以上	68人	C	1回あたり7人(昨年度5.6人)を目標としたが達成しなかった。妊婦面談で歯科健診への案内を強化する。	継続		456	456	447	南大沢保健福祉センター
45		1-②	家庭教育の支援	初めての はみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	12	180組	144組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	終了時のアンケート・口頭のアンケートで80%が満足と回答	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		89	89	89	南大沢保健福祉センター
46		1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	12	180組	102組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	終了時のアンケート・口頭のアンケートで80%が満足と回答	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		88	88	89	南大沢保健福祉センター
47		1-②	家庭教育の支援	パパママクラス (平日・休日)	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	成人(妊婦・パートナー)	21	420	372	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	終了時のアンケートでほぼ全員が満足と回答	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		351	354	344	南大沢保健福祉センター
48		1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	成人(妊婦・パートナー)	2	48人	18	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	終了時のアンケートでほぼ全員が満足と回答	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		100	100	98	南大沢保健福祉センター
49		1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。・知識の普及を図り不安や悩みの軽減を支援する。	親子・保護者	8	160組	117組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	終了時のアンケートでほぼ全員が満足と回答	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		115	115	109	南大沢保健福祉センター
50		1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成の推進し、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	親子・保護者	2	36組	40組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	終了時のアンケートでほぼ全員が満足と回答	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		11	11	10	南大沢保健福祉センター
51		1-②	家庭教育の支援	のびのび子育て講座	地域の人材活用や子育て機関の協力により、子育ての不安や負担を軽減し、子育てを楽しむ時間を提供する。	親子・保護者	1,050	21,276	19,713	委託	参加者の満足度	市民からの要望を講座の内容に生かす	参加者満足度92.1%	B	子育て広場においてアンケートを実施し、利用者のおおむね9割以上から良い評価を受けた。	継続		325	267	300	子ども家庭支援センター
52		1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	成人	12	216人	101人	市単独	応募者・参加者の人数	申し込み者数の増加	昨年度より、受診者が40人増加	B	受診者がH29年度より40人増加しており、妊娠期の歯科疾患予防の重要性について関心が得られた。	継続		483	425	421	大横保健福祉センター
53		1-②	家庭教育の支援	初めての はみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	14	180組	157組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	157人、14回、おおいに満足・満足と回答した人80%	B	アンケートの集計結果で満足度は80%であった。保護者の交流の場を提供することもできた。	継続		194	87	81	大横保健福祉センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】					平成30年度【評価】						今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)							
								予定	実績													
54		1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	11	180組	46組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	46人、11回、おおいに満足・満足と回答した人80%	B	アンケートの集計結果で満足度は80%であった。子どもの成長に合わせて数回参加している保護者も見られた。	継続		44	73	81	大横保健福祉センター	
55		1-②	家庭教育の支援	パパママクラス(平日・休日)	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	成人	16	340	370人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	370人、16回、おおいに満足・満足と回答した人92.1%	B	アンケート集計結果で92.1%であった。	継続		247	247	192	大横保健福祉センター	
56		1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	成人	2	48	24人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	24人、2回、おおいに満足・満足と回答した人100%	B	アンケート集計結果でおおいに満足・満足と回答した人100%であった。子育てをこれからする仲間づくりの場を提供できた。	継続		88	56	52	大横保健福祉センター	
57		1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	親子・保護者	8	180組	139組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	139組、8回、おおいに満足・満足と回答した人100%	B	アンケート集計結果でおおいに満足・満足と回答した人は100%であった。グループワークが悩みの軽減になったという成果が得られた。	継続		156	40	38	大横保健福祉センター	
58		1-②	家庭教育の支援	リミック	障害児の発達支援と保護者への子育て支援を図る。	親子・保護者	3	20	30	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	100%	A	目標値を達成 さらに、参加者同士の交流の場及び必要な支援の提供が十分行えた。	継続		285	274	285	東浅川保健福祉センター	
59		1-②	家庭教育の支援	パパママクラス(平日・休日)	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	成人	22	480	331	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	99%	A	目標値を達成 さらに、参加者の不安・疑問への解消につなげられるような情報提供等が行えた。	継続		251	184	230	東浅川保健福祉センター	
60		1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	成人	12	216	83	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	参加実績値38.4%	B	参加実績値が38.4%であるが、妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促すことができた。	継続		430	411	430	東浅川保健福祉センター	
61		1-②	家庭教育の支援	プレパパママ栄養・歯科教室	妊娠期から子どもの歯と栄養に関する情報提供行い、出産後のむし歯予防、望ましい食習慣の意識づけを図る。	成人	4	80	69	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	95%	A	目標値を達成 さらに、講和等を通してむし歯及び栄養に関する必要な情報提供が図られた。	継続		0	0	0	東浅川保健福祉センター	
62	○	1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	成人	1	24	12	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	90%	A	目標値を達成 さらに参加者の妊産婦時における食事に関する資質向上につなげることができた。	継続		45	29	59	東浅川保健福祉センター	
63		1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	・離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減を支援する。	親子・保護者	8	180組	116	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	98%	A	目標値を達成 さらに離乳食に関する知識の普及が図られた。	継続		42	37	38	東浅川保健福祉センター	

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
64		1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成を推進し、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	親子・保護者	2	36組	29	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	100%	A	目標値を達成 さらに幼児期における食生活食事に関する情報提供が十分できた。	継続		11	10	10	東浅川保健福祉センター
65		1-②	家庭教育の支援	初めてのほみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	12	120組	227	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	90%	A	目標値を達成 乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図られた。	継続		0	0	0	東浅川保健福祉センター
66		1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	親子・保護者	12	120組	174	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	90%	A	目標値を達成 乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図られた。	継続		0	0	0	東浅川保健福祉センター
67		1-②	家庭教育の支援	家庭教育講座	学習の中で親子のふれあいをもち、家族の絆を深める。また、他の親子との交流が生まれ、新たな活動につなげる。	親子・保護者	27	350	727	共催	参加者の満足度	満足度80%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合91.2%	B	各種創作や料理を通じて親子に今日体験の機会を提供し、高い満足度を得られた。	継続		316	411	273	学習支援課
68		1-②	家庭教育の支援	子育て応援ひろば	子育ての中で生じる悩みを解消し、子育て中の保護者を支援する。	どなたでも	9	250	241	市単独	参加者の満足度	満足度80%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合92.3%	B	発達障害の理解や教育費などをテーマに実施し、高い満足度を得られた。	継続		105	131	161	学習支援課
69		1-②	家庭教育の支援	ブックスタート	保健福祉センター等で行う乳幼児健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」、子育てに役立つ情報を提供する。赤ちゃんに保護者に抱かれ、そのぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを体験してもらうとともに、読書を通じた親子のふれあいのひと時を過ごしていただくことで、保護者も安心して子育てができる環境づくりに寄与する。行政と市民が、赤ちゃんの幸せを願い、協働で実施している。	親子・保護者	72 (3館合計) 中央:24 生涯:24 南大沢:24	4,000	3,296 (3館合計) 中央:1,073 生涯:1,046 南大沢:1,177	共催	協働事業の推進	赤ちゃんと保護者のふれあいのきっかけづくり、市の子育て支援策の情報提供を行う。	中央:24回 1,073人 生涯:24回 1,046人 南大沢:24回 1,177人	B	ボランティアと協力して赤ちゃんと保護者が絵本を聞く楽しい体験をすることで、親と子が触れ合うきっかけができた。	継続		4,873	4,800 (3館合計)	4726	図書館3館 (中央・生涯・南大沢)
70		1-②	家庭教育の支援	三歳児健診読み聞かせ	ブックスタートに続き三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	親子・保護者	72 (3館合計) 中央:24 生涯:24 南大沢:24	4000	3,837 (3館合計) 中央:1,227 生涯:1,144 南大沢:1,466	共催	協働事業の推進	親子のふれあい、「読書のまち八王子」の推進	中央:24回1,227人 生涯:24回 1,138人 南大沢:24回 1,466人	B	ブックスタートのフォローとして効果的なタイミングで、読み聞かせの場を提供できた。	継続		24		24	図書館3館 (中央・生涯・南大沢)
71		1-②	家庭教育の支援	ひとり親家庭親子ふれあい事業	ひとり親家庭に対し、親子料理教室・交流会を開催し、食について学ぶ機会をつくることに加え、親子間やひとり親家庭同士のコミュニケーションを相互に深める。	親子・保護者	1	20 (500部)	10世帯	委託	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが80%以上とする。	参加者アンケートのうち、満足したものが100%だった。	B	参加者アンケートの満足度が高かったため	継続		150	150	657	子育て支援課
72		1-②	家庭教育の支援	八王子「宇宙の学校」	こども科学教室と日常の家庭学習を組み合わせ、宇宙や科学と家庭・地域を結び付けることで探究心の強いこども達の育成を図る	子ども	12	400	延べ1,448人 (724組)	実行委員会	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度90%以上	満足と回答した人の割合97.81%	B	アンケート集計137件中、「とても良かった」109件、「良かった」25件(計134件)となり、97.81%の満足度となった。来年度は、実施会場を見直し、参加者の拡充を図る。	継続		700	699	1,000	こども科学館 (八王子「宇宙の学校」実行委員会)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
73		1-③	学校教育活動の支援	「八王子の川と友だちになるノート」の発行	川での環境調査や生き物調査を行うためのフィールドノートとして活用してもらう。	子ども	1	5,000冊	5,100冊	市単独	本冊子を利用して環境学習を行う	全校での実施。	全校の小学4年生に配付	B	年度当初の段階で、全ての小学校4年生に配付できたため。	継続		530	495	495	水再生課
74		1-③	学校教育活動の支援	ボランティアの教育人材バンクへの登録	学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。	どなたでも	随時	3,842人 (平成30年1月末現在)	4,050	市単独	応募者・参加者の人数	4226人 (平成30年度登録者数の1割増)	4,050	B	ボランティアの登録は目標には届かなかったが、昨年を上回り、多くの市民の方が学校支援に参加してくれた。	継続		3,240	2,141	3240	指導課
75		1-③	学校教育活動の支援	学校コーディネーター研修会	学校コーディネーターの資質向上を図る。	登録者	3	140名 (平成29年10月末現在)	120	市単独	応募者・参加者の人数	登録者参加率100%	85%	B	各学校で活動しているコーディネーターの資質の向上のため、継続して行っていきたい。	継続		27	11	27	指導課
76		1-③	学校教育活動の支援	教育支援ボランティア研修会	ボランティアとしての心得や役割について学ぶ	どなたでも	2	108人 (1人/1学校)	60	市単独	応募者・参加者の人数	108人	55%	B	ボランティアが活動している時間帯等、研修の日程など考慮したい。	継続		0	0	0	指導課
77		1-③	学校教育活動の支援	市立小学校における環境教育支援	市立小学校の総合的な学習の時間等に実施される環境教育実習に対して、講師の派遣等の支援を行う。	子ども	47	2,000	3,097	委託	応募者・参加者の人数	2,000人	3,097人	A	参加者が3,097人であった。教育支援対象校を15校としていたが、受託先との調整が整い18校に実施することができたため目標を超えて達成した。	継続		-	—	—	環境政策課 (エコひろば)
78		1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	子ども	32 (4館合計) 中央:11 生涯:10 南大沢:7 川口:4	1～4人/1校	109 (4館合計) 中央:36 生涯:35 南大沢:27 川口:11	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供するとともに、今後にわたる図書館利用のきっかけとし、利用の促進を図る。	1～4人/1校	B	4館全体の実施は、参加校・参加者数ともに前年を若干下回ったものの、みなみ野市民センター図書館でも職場体験を行うなど受入拡大に努めた。(H29実績:参加校36校、参加者123人)※全館実績H30:参加校34校、参加者117人	継続		0	0		図書館4館
79		1-③	学校教育活動の支援	学校図書館サポートセンターとの連携・支援	調べ学習・学級文庫用の資料の貸出を通し学校図書館の充実につなげていく。	学校	248	貸出申込数延べ1400校	貸出申込数延べ1,150校	委託	事業の実施	全校への支援	延べ利用校数1,150校 31,350冊	C	利用校数、利用冊数が減少した。(29年度32994冊 1266校)31年度は利用校数、利用冊数の減少の原因の調査・分析、学校貸出用資料の更なる充実、学校への利用PRに努め、利用校数及び利用冊数の増加を目指していく。	継続		8,335		6237	中央図書館
80		1-③	学校教育活動の支援	東京交響楽団PJアウトリーチ事業	児童に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	子ども	3	未定	398	補助	①3校以上の応募数 ②実施校の要望と楽団とのスムーズなマッチングと着実な実施	・小中学校のニーズ把握 ・予定回数の着実な実施	・ニーズ把握:実施校にて聞き取り調査を実施 ・予定の3回を実施	B	予定通り実施することができたため。聞き取り調査により、学校での芸術鑑賞機会の現状等を把握することができた。	継続		1,200	759	950	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
81		1-③	学校教育活動の支援	劇団四季心の劇場	児童に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	子ども	3	未定	3,749	補助	①3回公演に十分な応募数 ②各校の要望の運営への反映と着実な実施	・小学校のニーズ把握 ・予定回数の着実な実施	・ニーズ把握:校長会と連携し、聞き取り調査を実施 ・予定の3回を実施	B	予定通り実施することができたため。これまでの積み重ねによりスムーズに校長会との連携ができ、要望を反映させながら運営した。	継続		250	235	250	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
82		1-④	地域の教育力を活かす・高める	放課後子ども教室	平日の放課後や週末、夏休み等に小学校内の施設を活用し、地域の人材、ボランティアの参画を得て子どもたちに安全で安心な居場所を提供する。	子ども	7,995	350,000	766,250	市単独	事業の実施	市内小学校69校での実施	65校実施 (新規開設1校)	B	目標の69校には達しなかったが、1校で新規開設することができたほか、地域や学校、学童保育所担当所管と連携を図り、実施日数の増加や学習プログラムの拡充をしたことにより、多くの子どもたちに放課後の安全で安心な居場所を提供することができた。	継続		169,959	141,027	184,047	生涯学習政策課
83		1-④	地域の教育力を活かす・高める	浅川ガサガサ探検隊	子どもたちに浅川の自然と川遊びの楽しさを知ってもらうことで、身近な環境を大切に思う気持ちを醸成する。	子ども	1	100人	150	実行委員会	応募者・参加者の人数	参加人数を多くする。	150人	A	30年度も、たくさんの人に参加していただき、満足度も高かったため(90%以上)	継続		46	43	60	水再生課(八王子浅川水辺の楽校運営協議会)
84		1-④	地域の教育力を活かす・高める	子ども囲碁教室	囲碁を通した世代間の交流を図る。	子ども	22	220	170	市単独	応募者・参加者の人数	利用者数の増加	77.30%	B	77.3%の達成率であったが、高齢者ボランティアと子どもたちとの多世代交流の充実が図られた。	継続		0	0	0	東浅川保健福祉センター
85		1-④	地域の教育力を活かす・高める	東京交響楽団PJユースオーケストラワークショップとコンサート	プロのオーケストラの指導者の講師により若手演奏家(小学生から25歳)の育成を図る。	子ども	【公演】2回 【WS】28回 【初心者】13回	未定	【公演①】入場者510 参加者47 【公演②】入場者423 参加者53 【WS】延べ1097 【初心者WS】延べ151	補助	オーケストラ運営に十分なメンバー数の確保	オーケストラ運営に十分なユースの応募	メンバー数は増加し、過去最多となったが、オーボエ、ホルン、トランペットは人数が足りない状況が続いた	B	目標メンバー数を達成できなかったため。クラリネットやトロンボーンなど、これまで在籍していなかった楽器奏者のメンバーが加入し、メンバー数は増加したものの、依然としてオーケストラとして必要なメンバー数確保は達成できなかった。 H31年度はメンバー募集に力を入れ、精力的にPRをしていく。	継続		9,961	8,949	11,533	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
86		1-④	地域の教育力を活かす・高める	東京交響楽団PJフレッシュ名曲コンサート	若手ソリストを起用し、東京交響楽団との共演の機会を創出する。	どなたでも	1	560	532	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売70%以上 (560枚/800枚)	チケット販売66%以上 (532枚/800枚)	C	入場者数の目標までわずかに届かなかったため。(目標達成率94%) 次年度は、市民合唱クリンゲンコアの公演と統合することでより多くの来場者数を目指す。	継続		6,222	5,971	8,700	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
87		1-④	地域の教育力を活かす・高める	学生演劇フェスティバル	学生演劇団体による公演・展示・ワークショップを通じて芸術文化の普及を図り、若い担い手を支援する。	どなたでも	1	未定	【WS】参加者38 【公演】参加者123 入場者614	補助	応募者・参加者の人数	1校でも多くの学校の参加	前年度4校⇒30年度8校に増加	A	前年度の2倍の参加校を迎え実施することができたため。継続事業として3年目を向かえ、徐々に認知度が上がってきている。	継続		1,600	1,483	2,382	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
88		1-④	地域の教育力を活かす・高める	FD・SDフォーラム	大学教職員の教育力向上と、地域社会や全国との教育機関関係者等との交流や相互理解を目的とする。	全国大学教職員・大学生・高校教職員	1	200	252人	補助	応募者・参加者の人数	参加者数 200人以上	252人	A	高等教育機関から注目されるテーマを設定し、充実した講師を招聘した。また、全国850の教育機関に送付している案内リーフレットの内容を充実させるとともに、八王子の観光案内を添付し、八王子のPRにもつなげた。	継続		1,689	1,375	1,481	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子 (（公財）学園都市文化ふれあい財団))
89		1-④	地域の教育力を活かす・高める	夏休み子どもいちよう塾	八王子地域の大学等の先生が、その大学・学部等の特色を生かして、夏休みの特別教室を開講する。	子ども	1	300	478人	補助	応募者・参加者の人数	参加者数 300人以上	478人	A	従来の学園都市センターに加え、クリエイトホール、八王子(東急)スクエアビル2階アトリウムを会場に加えたことにより、充実した講座を提供することができた。また、当日参加できるワークショップを開催したことにより、全参加者は昨年の410名から478名に増えた。	継続		1,913	1,396	1,833	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子 (（公財）学園都市文化
90		1-④	地域の教育力を活かす・高める	学生企画事業補助金	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が、八王子地域を舞台に企画・運営・実施するイベント等にその費用の一部を補助する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等に在籍する5名以上の学生で構成する団体	1	50 (10団体)	応募団体 38団体	補助	応募者・参加者の人数	応募団体 20団体以上	応募団体 38団体	A	指定課題部門を設置し、従来の部門を自由課題部門とした。また、課題部門の整理に伴う周知活動の実施、コンソーシアム情報誌での事業紹介や、報告会における地域の方との交流等の影響により、応募団体が増加した。	継続		1,973	1,930	2,423	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子 (（公財）学園都市文化ふれあい財団))
91		1-④	地域の教育力を活かす・高める	学生発表会	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が日頃の研究成果を市民・企業・市政に向けて発表する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等の学生	1	700 (150件)	700 (178件)	補助	応募者・参加者の人数	参加者数 700人以上 (150件以上)	700 (178件)	B	研究分野や内容に関わらず、学外で研究成果を発表できる機会として大学等により活用してもらうよう周知した。また、特定分野のセッションを設定することで関係企業の参加を促進した。観光セッションと農業セッションを実施し、関係者への周知を図った。要旨集の形式を大幅に変更し、発表件数の増加の実務的な準備を整えた。	継続		2,002	1,350	1,740	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子 (（公財）学園都市文化ふれあい財団))

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
92		1-④	地域の教育力を活かす・高める	八王子学生CMコンテスト	学園都市八王子の特色を活かし、学生ならではの視点で八王子市の魅力を動画CMIにした作品を募集しコンテストを開催する。	学生(個人または団体単位)	1	30団体	24団体	補助	応募者・参加者の人数	応募団体 30団体以上	24団体	B	9月30日にCM制作や八王子の魅力発見に関わるワークショップを行い、参加者の幅を広げる取組みを行った。コンソーシアム加盟校の他、都内大学・専門学校約120か所にポスター、チラシを送付し周知を図った。加盟校・非加盟校の映像関係のサークルにメールにて案内を行った。今後は、応募団体数の増加に向けテーマを数年固定させるなど、年間を通じて周知、学生が活動できる環境を整えることを予定している。	継続		1,900	1,592	2,079	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子 (公財)学園都市文化ふれあい財団))
93		1-④	地域の教育力を活かす・高める	南大沢文化会館ダンスワークショップ	市内の小中学生を対象にダンスの楽しさや素晴らしさを感じてもらい、将来の文化芸術に携わる層の拡充。	子ども	54	50	54	指定管理者	応募者・参加者の人数	年間延べ参加者数 75%以上 (1,875人以上)	年間延べ参加者数 102% (2,562人)	B	①参加者延べ人数の目標達成。 ②主ホールでの舞台体験(発表会)。 ③ダンスを通じて体力づくり・表現力養成・学年を超えた協力・責任感の大切さを学ぶという事業目的を達成した。	継続		2,225	2,367	2,490	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
94		1-④	地域の教育力を活かす・高める	冒険イベント里山で遊ぼう	「長池野外活動クラブ」との共催で冒険プログラムを実施し、小学生の野外体験活動を促進する。	親子・保護者	3	60	41	共催	協働事業の推進	市民団体との共催事業を積極的に推進する。	41人 3回 実施回数を予定通り開催した。	B	実施回数を満たし、目標を達成した。 キャンセルがあり予定参加者数を下回る結果となったものの、応募者数は定員を上回った。	継続		2	0	2	公園課 (ひとまちみどり由木)
95		1-④	地域の教育力を活かす・高める	つくってあそぼう、竹クラフト	八王子市由木地区環境市民会議を講師に竹細工づくりイベントを開催する。	どなたでも	2	20	33	指定管理者	協働事業の推進	市民団体との共催事業を積極的に推進する。	33人 2回 実施回数を予定通り開催した。	A	実施回数を満たし、目標を達成した。 加えて参加者数も予定を上回る成果を得られた。	継続		3	6	3	公園課 (ひとまちみどり由木)
96		1-④	地域の教育力を活かす・高める	ひとり親家庭の子どもの学習支援事業	ひとり親家庭に対し学習支援者を派遣し、児童の基礎学力、学習意欲の向上及び高等学校等への進学の推進を図ること。	子ども	1	30 (300部)	20人	委託	対象者の高等学校進学率	対象者のうち、高等学校へ進学したものが100%とする。	対象者のうち、高等学校へ進学したものが95%だった。	B	高校進学率が95%だったこと及び、参加者が20名だった。来年度は制度の対象を広げることで、参加者を30名確保する。	継続		7,975	6,999	7975	子育て支援課
97		2-①	身近で多様な学習機会の充実	はちおうじ出前講座	市民の生涯学習に対する支援と意識の向上を図り、市政に対する理解を深める。	どなたでも	3017	300,000人	237,528人	共催	応募者・参加者の人数	300,000人	237,528人	B	目標には達しなかったが、多くの市民に対して、市政理解の機会を提供できた。	継続		0	0	0	生涯学習政策課
98		2-①	身近で多様な学習機会の充実	学習支援委員会合同講座	八王子市学習支援委員による講座を開催し、市民の生涯学習の振興を図る。	どなたでも	1	240人(予定)	73人	共催	参加者の満足度	受講者アンケートでの満足度80%以上	92%	A	多くの参加者に対して、満足度の高い講座を提供できた。	継続		0	0	0	生涯学習政策課
99		2-①	身近で多様な学習機会の充実	自然体験・自然観察会	旧稲荷山小学校の博物館機能の発展充実のため市民を対象とした自然観察会を行う。	どなたでも	3	120人 (6月/60名) (12・2月/ 各30名)	94	共催	応募者・参加者の人数	100人	94	B	おおよそ目標通りの人数を集客できた。	継続		27	16	27	生涯学習政策課
100		2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費生活講座	契約、保険、住まいなど消費生活に関する講座会を開催し、消費者への啓発を図る。	どなたでも	5	各25	100	市単独	参加者の満足度	市民のニーズにあったテーマを用いた講座を実施する。	おおいに満足48% 満足46%	B	身近な消費生活に関するテーマで実施し、参加者アンケート結果の満足度も高かった。自立した消費者育成が図られた。	継続		16	21	16	消費生活センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
101		2-①	身近で多様な学習機会の充実	親子見学会	親子で消費生活に深く関わる施設見学を行い、消費者教育の推進を図る。	親子・保護者	1	親子10組 20人	8	市単独	参加者の満足度	市民のニーズにあったテーマを用いた見学会を実施する。	おおいに満足50% 満足50%	B	実際に商品テストの施設で研修と見学を行うことで小学生の消費者力の向上と消費者教育の推進が図られた。	継続		2	2	2	消費生活センター
102		2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費者団体企画提案講座	消費者団体と連携し、消費生活に関わる講座を開催し、効果的な啓発を図る。	どなたでも	0	25	0	共催	協働事業の推進	関係団体と連携し、効果的な啓発を実施する。	未開催の為実績値なし	D	平成30年度は消費者団体からの講座開催希望が無かった。今後は各団体により積極的に講座開催への説明・周知を行っていく。	継続		6	0	6	消費生活センター
103		2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費生活講演会	東京都と共催し消費生活に関わる講演会を開催し消費者への啓発を図る。	どなたでも	1	70	36	共催	参加者の満足度	東京都と連携し、効果的な啓発を実施する。	参加者からは参考になったとの声が聞けた。	B	東京都等との共催により、市民に身近な消費生活に関する内容の講演会で、参加者からの感想も好評であった。	継続		7	7	7	消費生活センター
104		2-①	身近で多様な学習機会の充実	介護人材養成研修	介護職に必要な基礎的な知識を学ぶ機会を提供し、介護人材の確保を図る。	どなたでも	12	定員50名 ／回	55	委託	受講者数・就職者数	受講者数100人 就職者数25人	受講者55人 就職者5人(正規0人)	C	受講者及び就職者ともに、目標に達することができなかった。次年度は、障害者福祉課と共催で、福祉のしごと相談会を開催する。	継続		4,178	4,178	5,643	高齢者いきいき課
105		2-①	身近で多様な学習機会の充実	介護の日事業	介護についての理解と認識を深め、地域社会における支え合いの精神の高揚と介護の日の周知を図る。	どなたでも	1	200	260	共催	応募者・参加者の人数	300人	260人	B	人数としては目標に到達できなかったが、学生団体の活用や一般企業の参入など、新しい取り組みを行った。次年度は介護情報の発信に注力し、事業を行う。	継続		101	62	141	高齢者いきいき課
106		2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民食育講座	食育月間である6月の取り組みとして、「周知」から「実践」へと食育を更に進めるきっかけとする。	どなたでも	1	200人	70	市単独	参加者の満足度	若年層の増加	20代～40代の参加者割合 約4割	B	20代～40代の参加割合の増加は達成できた。参加人数は予定より下回ったため、来年度はより気軽に参加しやすいテーマを設定し周知していきたい。	継続		196	81	128	健康政策課
107		2-①	身近で多様な学習機会の充実	成人健康教育	健康増進・健康寿命の延伸のため、生活習慣病が重症化するリスクの高い方に知識の普及と生活習慣の改善を促す。	成人	124	20	4,870	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	アンケートの結果、満足度が96%であった	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		321	264	295	南大沢保健福祉センター
108		2-①	身近で多様な学習機会の充実	平和展	戦争の悲惨さや平和の尊さを多くの方に伝える。	どなたでも	1	1,500	1,328	実行委員会	応募者・参加者の人数	来場者数1,500人	H30年度 1,328人	B	参加者が1,328人であり、目標を達成できなかったが、戦争の悲惨さや平和の尊さを多くの方に伝えるという平和展の目的は果たせたため。	継続		2,092	1,630	2,241	総務課
109		2-①	身近で多様な学習機会の充実	分譲マンション管理セミナー	分譲マンションの維持管理等の支援	市内の分譲マンションの居住者または管理組合の方	2	50	第1回32名 第2回31名	共催	応募者・参加者の人数	定員50名に達すること	第1回32名 第2回31名	B	○定員の50名に達しなかったが、参加者アンケート結果で「参考になった」と回答した割合が全体の95%に達したため。 ○今後は、マンション台帳に登録している管理組合に対し、年間のマンションに関する市の事業予定(管理セミナーや個別相談事業等)一覧を送付し、積極的な活用を啓発する。	継続		64	64	64	住宅政策課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
110		2-①	身近で多様な学習機会の充実	戸吹クリーンセンター施設見学	施設の役割やごみ処理の現状を理解してもらい、ごみの減量・資源化・分別の大切さを学ぶ機会を提供する。	どなたでも	90回	3,080人 (平成28年度実績)	1,966	市単独	応募者・参加者の人数	見学者の増加	1,966	B	H30年度は延命化対策工事の影響により4～6月まで清掃工場の見学を中止したため数値減となっているがその他の時期は概ね例年通りの数値となっているため	継続		0	0	0	戸吹クリーンセンター
111		2-①	身近で多様な学習機会の充実	交通安全教室	幅広い世代に交通ルールやマナーの教育を行うことで、交通事故の防止を図る。	どなたでも	389	30,000 28433 (H28実績)	33,546	市単独	応募者・参加者の人数	前年度以上の参加者とする。	33,546	B	高齢者向自転車実技教室を、新たに開催するなど子どもから高齢者まで幅広い世代を対象にした交通安全教室を開催することができた。	継続		なし	0	0	交通事業課
112		2-①	身近で多様な学習機会の充実	親子で学ぶ交通安全、自転車教室	親子で交通ルールやマナー、安全な自転車の乗り方を学ぶことにより、交通事故の防止を図る。	どなたでも	7	300	417	市単独	事業の実施	前年度以上の参加者とする。	417	B	各種イベント等で自転車シミュレータ教室を開催し、自転車の正しいルールやマナーの遵守を啓発することができた。	継続		なし	0	0	交通事業課
113		2-①	身近で多様な学習機会の充実	成年後見制度学習会	成年後見制度の普及啓発を図るために学習会を開催する	どなたでも	6	120人 (1回あたり20～30人)	183人	委託	応募者・参加者の人数	成年後見制度の普及・利用促進	6回開催 183人	A	参加者が183人となり、予定人数を大幅に上回ることができた。また、参加者の90%近くから学習会について満足との回答を得ることもできた。	継続		120	124	176	福祉政策課 (社会福祉協議会)
114		2-①	身近で多様な学習機会の充実	八王子市地球温暖化防止活動推進センターにおける講座の実施	地球温暖化に関する講座を開催し、市民・事業者の地球温暖化に対する意識向上を図る。	どなたでも	22	500 (25人/1回)	523	委託	応募者・参加者の人数	未定 (平成36年度目標:環境学習室を含む講座の受講者数6,800人)	未定につき実績なし	B	市内各所の市民センターで講座を実施したことにより、市内全体での地球温暖化防止の意識向上が図れた。	継続		—	—	-	環境政策課 (特定非営利活動法人環境活動センター八王子)
115		2-①	身近で多様な学習機会の充実	地球温暖化防止普及啓発イベント	地球温暖化問題について市民の意識や関心を高め、具体的な行動を起こすきっかけとする。	どなたでも	1	1500	742	委託	地球温暖化問題に関心がある人の割合	未定 (平成36年度目標:地球温暖化問題に関心がある人の割合89%)	未定につき実績なし	B	参加者数は目標を下回ったが、多くの市民が参加し、地球温暖化防止の意識啓発・向上に繋げることができた。	継続		—	—	-	環境政策課 (特定非営利活動法人環境活動センター八王子)
116		2-①	身近で多様な学習機会の充実	エコひろばでの環境講座	環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育・環境学習の講座を実施する。	どなたでも	112	6,000	9,795	委託	応募者・参加者の人数	6,000人	9,795	A	参加者が9,795であった。イベントへの出展も行ったことにより参加者数を伸ばした。	継続		-	—	-	環境政策課 (エコひろば)
117		2-①	身近で多様な学習機会の充実	環境学習リーダー養成講座	市民が自発的に環境保全活動を行う際のリーダー役となる「八王子市環境学習リーダー」を養成する。	どなたでも	22	35	27	委託	応募者・参加者の人数	35人	27人	C	参加者が27人であった。受講者募集を広報、チラシ配布で行っているが、環境学習リーダーは小学校等への学校教育支援も行うことから、学校を通じた募集などを検討する。	継続		-	—	-	環境政策課 (エコひろば)
118		2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯の健康教室	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を啓発する。	成人	6	60人	22人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	22人、6回、おおいに満足・満足と回答した人80%	B	アンケート集計結果で満足度は80%であった。講義と実習により、歯科疾患予防の理解を深められた。	継続		33	0	7	大横保健福祉センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

①		②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
119		2-①	身近で多様な学習機会の充実	成人健康教室(保健・栄養)	食事・運動などの生活習慣改善について講話や実習を行い、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発する。	成人	3	256人	85	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	85人、3回、大変満足・満足と回答した人82%	B	アンケート集計結果で82%であった。受診や生活改善を始めた市民もあり、意識・行動変容という成果が得られた。	継続		143	63	60	大横保健福祉センター
120		2-①	身近で多様な学習機会の充実	糖尿病重症化予防教室(運動実践)	糖尿病の未治療者の重症化予防に向けて生活改善への支援を図る。	成人	2	40	39	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	88.2%	B	目標値を達成している。	継続		33	33	33	東浅川保健福祉センター
121		2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯の健康教育	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	成人	6	60	22	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	90%	A	目標値を達成 歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及に努めた。	継続		0	0	0	東浅川保健福祉センター
122		2-①	身近で多様な学習機会の充実	北野清掃工場施設見学	施設見学者を受入れ実施することで、可燃ごみ処理と余熱利用の方法と現状を理解してもらい、ごみの減量・分別の大切さを理解してもらう。	どなたでも	55	2,700人(H29実績)	2,939	市単独	応募者・参加者の人数	3,000人	2,939人(8.8%増)	B	工場見学の他、収集車による収集体験や再生可能エネルギー(バイオマスボイラーを使用した足湯)についても体験する機会を提供した。	継続		0	0	0	北野清掃工場
123		2-①	身近で多様な学習機会の充実	北野環境教育・学習委員会	環境教育・学習への市民参加の推進・環境啓発を目的に環境に関する各種講座・講師派遣、情報発信等市民との連帯を図る。(官民協働事業)	どなたでも	23	市民協働者100人	580	市単独	協働事業の推進	市民協働者100人	580人(580%増)	A	北野地区に位置する環境関連施設を有効活用し、環境教育・学習への市民参加(小中学生含む)・情報提供や市民との連携事業も実施できた。	継続		626	366	626	北野清掃工場
124		2-①	身近で多様な学習機会の充実	再生可能エネルギー(木質バイオマスボイラー・足湯併設)の普及啓発	木質バイオマスの活用を図り、再生可能エネルギーの普及促進及び環境啓発について市民の意識や関心を高める。	どなたでも	184日	足湯利用者6,500人(H29.4～H30.2実績)	8,995	市単独	環境啓発者数(市民)の人数	7,000人	8995人(38.3%増)	B	社会科見学時のツールとしても活用。導入当初より利用者が減少しているものの前年からは大幅増となった。再生可能エネルギー普及及びCO2削減などの啓発活動のさらなる充実と足湯の周知、宣伝活動の拡大を図る。	継続		4,576	4,574	5532	北野清掃工場
125		2-①	身近で多様な学習機会の充実	あったかホール社会科見学	隣接する北野清掃工場のごみ焼却余熱を利用し館内設備に活用しているあったかホールの見学を実施することで、余熱利用を体感してもらう。	どなたでも	10	750人(H29実績参考)	762	指定管理者	応募者・参加者の人数	1,000人	762人(1.6%増)	B	あったかホール単独の見学だけではなく、学校の要望に応えながら環境関連施設が協働して、学校見学を行うことにより子供たちや市民に施設の重要性を伝える。	継続		0	0	0	北野清掃工場
126		2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民法律講座「相続」	トラブルになりがちな相続を円滑に進められるよう、市民の知識向上を図る。	どなたでも	1	100	72	共催	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度が80%以上	満足度88%	A	わかりやすくユーモアを交えつつ、法改正による変更点も含めた内容であり、多くの参加者に満足いただいた。市民法律講座は平成21年度より行っており、今回で10回目の開催。	継続		0	0	0	市民生活課
127		2-①	身近で多様な学習機会の充実	動物の適正飼養講演会	動物の飼育に関する法令、しつけ方、マナー、狂犬病などの人と動物の感染症などについて講演会を実施し、動物の飼い主の意識向上を目指す。	どなたでも	1	70人程度	141人	共催	参加者の満足度	アンケートを実施し、満足度を高めるとともに、ニーズを探り次回の講演会のテーマを適切に設定する。	参加者全員にアンケートを実施したところ131人から回答があり、そのうち約7割の91人が次回も参加したいとの回答であった。	A	参加予定数の70人を大幅に上回る141人の参加があった。また、参加者アンケートにおいても、多くの好意的な意見をいただき、市民に対する本事業への期待の高さが感じられた。	継続		249	40	74	生活衛生課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
128		2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民自由講座	歴史・文学等、多種多様な分野の講座を開催し、生涯学習のきっかけとする。	どなたでも	101	12,000	7,273	共催	参加者の満足度	満足度80%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合80.8%	B	開催回数は充実したが、個々の講座の参加者の減少傾向が見られた。	継続		2,206	2,203	2203	学習支援課
129		2-①	身近で多様な学習機会の充実	女性のための健康講座	女性の健康増進につながる講座を実施、女性が自らの健康について考える機会を提供する。			300		市単独	参加者の満足度	満足度80%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合%	B	市民自由講座に統合して女性向けの講座を実施する。	継続	都補助金の扱い変更のため	167		-	学習支援課
130		2-①	身近で多様な学習機会の充実	八王子学園都市大学	高度で専門的な学習機会を継続的に提供することにより、市民の生きがいがづくりや地域の活性化に貢献することをめざす。	成人	307 【内訳】 一般講座 237 公開講座 73	5,000	7,217 【内訳】 一般講座 2,632 公開講座 4,585	委託	参加者の満足度	95%以上	アンケート結果 満足とやや満足を含めた合計の平均： 97.6%（一般講座： 97.8% 公開講座： 97.5%）	B	開講している講座が多様で、受講者のニーズに沿った講座が選択できる。	継続		55,642	55,642	61,542	学園都市文化課 (八王子学園都市大学事務局 (（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団))
131		2-①	身近で多様な学習機会の充実	東京交響楽団PJ ヴェルディレクイム公演と合唱ワークショップ	市民に身近な場所で優れた芸術文化活動に参加・体験する機会をつくる。	どなたでも	【公演】1回 【合唱WS】18回 【発声レッスン】延べ146回	参加者数144 入場者数1,600	【合唱団所属】138 【公演】750 【合唱WS】延べ2425 【発声レッスン】延べ146	補助	参加者の満足度	合唱技術のレベルアップを通じた満足度の向上	アンケート結果： 満足度はおおむね良好	B	満足度向上の目標が達成できたため。 アンケート結果より、技術的な指導に対する満足度は向上しているといえる。	継続		12,015	11,252	3,315	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
132		2-①	身近で多様な学習機会の充実	東京交響楽団PJ フォーレクイム合唱オフトレーニングとワークショップ	市民に身近な場所で優れた芸術文化活動に参加・体験する機会をつくる。	どなたでも	【WS】10回 【発声】延べ79回	参加者数150	【合唱団所属】106 【WS】延べ957 【発声】延べ79	補助	①3校以上の応募数 ②実施校の要望と楽団とのスムーズなマッチングと着実な実施	・参加者数100人以上 ・合唱技術のレベルアップ	・参加者数：106人 ・合唱技術は向上してきている	B	参加者数の目標値が達成できたため。 次年度、初めて合唱団単独でのコンサートを実施することもあり、合唱団としての技術レベルは徐々に向上している。	休止	鑑賞事業数の増、市民参加事業数の減を目的とし、H32年度に向けたオフトレーニングは休止とする。	1,732	1,058	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
133		2-①	身近で多様な学習機会の充実	初心者のための茶道教室	長い歴史を通して洗礼され伝承してきた「茶道」のなお一層の普及を図る。	どなたでも	24	120人	延べ396	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 各期15名以上	参加者数 各期を通して年平均33人	A	目標を大幅に越え、年間で400名近い参加者を迎え実施することができたため。	継続		786	773	450	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
134		2-①	身近で多様な学習機会の充実	初心者のための煎茶道教室	茶の湯の影響をうけながら、洗礼されてきた「煎茶道」の普及を図る。	どなたでも	24	120	延べ133	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 各期15名以上	参加者数 各期を通して年平均11人	B	各回の目標値に届かなかったたが、煎茶同の普及に寄与した。(年間では130名強) 次年度は、チラシなどのPRを強化し、より多くの参加者数を目指す。	継続		369	370	191	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
135		2-①	身近で多様な学習機会の充実	さくらそうの楽しみ	日本古来の植物であるさくらそうの魅力・育て方を伝える	どなたでも	1	20	10	指定管理者	協働事業の推進	参加人数20人	参加人数10人	B	アンケートでは「他の人にもお勧めしたい」という人が89%という成果が得られた。江戸園芸品種の保存・普及に携わる団体との協働により参加者の啓発・活性化につながった。来年度は市広報での周知を図る。	継続		15	10	15	公園課 (駒木野庭園アーツ)
136		2-①	身近で多様な学習機会の充実	モリアオガエルの会	庭園内に生息するモリアオガエルの生態講演会	どなたでも	1	20	19	指定管理者	参加者の満足度	参加人数20人	参加人数19人	B	アンケートでは満足との回答が89%という成果が得られた。	継続		15	9	15	公園課 (駒木野庭園アーツ)
137		2-①	身近で多様な学習機会の充実	庭園ガイド	駒木野庭園の解説を通して日本庭園の魅力を知る	どなたでも	1	不定	5	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加人数10人	参加人数5人	B	目標人数を達成できなかったものの、アンケートでは満足との回答が100%という成果が得られた。来年度は市広報での周知を図る。	継続		0	1	0	公園課 (駒木野庭園アーツ)
138		2-①	身近で多様な学習機会の充実	夏休み工作イベント	日本の伝統的な工作を紹介、制作	どなたでも	3	10	29	指定管理者	参加者の満足度	参加人数10人	参加人数29人	A	実施回数が3回、参加人数も29人という成果が得られた。アンケートでは満足の回答が96%という成果が得られた。	継続		10	51	15	公園課 (駒木野庭園アーツ)
139		2-①	身近で多様な学習機会の充実	秋の鳴く虫の音を楽しむ会	秋の風物詩である鳴く虫について学ぶ	どなたでも	1	20	29	指定管理者	参加者の満足度	参加人数20人	参加人数29人	A	参加人数29人、アンケートでは満足の回答が100%という成果が得られた。	継続		15	24	20	公園課 (駒木野庭園アーツ)
140		2-①	身近で多様な学習機会の充実	庭園ガイド	駒木野庭園の解説を通して日本庭園の魅力を知る	どなたでも	3	不定	11	指定管理者	参加者の満足度	参加人数10人	参加人数19人	A	参加人数19人、アンケートでは満足の回答が100%という成果が得られた。	継続		0	1	0	公園課 (駒木野庭園アーツ)
141		2-①	身近で多様な学習機会の充実	庭師養成講座	庭師による庭木の手入れ実習	成人	1	10人	10	指定管理者	参加者の満足度	参加人数10人	参加人数10人	B	参加人数10人、アンケートでは満足の回答が90%という成果が得られた。	継続		10	5	10	公園課 (駒木野庭園アーツ)
142		2-①	身近で多様な学習機会の充実	ミニ門松作り	伝統文化である正月飾りの制作	成人	1	15	16	指定管理者	参加者の満足度	参加人数15人	参加人数16人	A	参加人数16人、アンケートでは満足の回答が100%という成果が得られた。	継続		10	15	15	公園課 (駒木野庭園アーツ)
143		2-①	身近で多様な学習機会の充実	春のスワッグづくり	日本の伝統的な工作を紹介、制作	成人	1	10人	10	指定管理者	参加者の満足度	参加人数10人	参加人数10人	B	参加人数10人、アンケートでは満足の回答が90%という成果が得られた。	継続		10	16	16	公園課 (駒木野庭園アーツ)
144		2-①	身近で多様な学習機会の充実	ネイチャークラフト	公園の自然から得られるさまざまな素材を集め、草木染や工作を体験し、自然に親しんでもらう。	どなたでも	4	60	62	指定管理者	応募者・参加者の人数	予定定員を満たす申込み数を得られること。	応募者、参加者ともに定員数を上回った。	B	参加者が62人であった。応募者ともに予定数を上回るという成果が得られた。	継続		151	151	118	公園課 (ひとまちみどり由木)
145		2-①	身近で多様な学習機会の充実	ちょこつとさんぽ	年齢にかかわらず気軽に参加できる、申込み不要のガイド付き園内散策。長池公園の魅力をもっと多くの人に知ってもらう。	どなたでも	6	未定	39	指定管理者	参加者の満足度	車いすやベビーカーなどでも参加できるようなイベントを実施することで、障害者への合理的配慮も含めた、多様な方々への学習機会提供を増やし、満足度の向上を目指す。	39人 6回 満足と回答した人80%	B	満足と回答した人が80%を上回る成果を得られた。	継続		8	6	8	公園課 (ひとまちみどり由木)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
146		2-①	身近で多様な学習機会の充実	母子家庭等就業・自立支援センター事業（就業支援セミナー）	母子家庭の母及び父子家庭の父の自立を促進すること。	親子・保護者	8	160 (500部)	98人	委託	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが80%以上とする。	参加者アンケートのうち、満足したものが92%だった。	B	参加者アンケートの満足度が高かったため	継続		6,325	4,320	10827	子育て支援課
147		2-①	身近で多様な学習機会の充実	母子家庭等就業・自立支援センター事業（パソコン講習会）	母子家庭の母及び父子家庭の父の自立を促進すること。	親子・保護者	16	160 (500部)	123人	委託	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが80%以上とする。	参加者アンケートのうち、満足したものが96%だった。	B	参加者アンケートの満足度が高かったため	継続		6,325	4,320	10827	子育て支援課
148		2-①	身近で多様な学習機会の充実	健康入浴講座	目的別の入浴方法を学ぶことで、ヒートショック予防や施設の利用促進につなげる。	どなたでも	4	15	29	指定管理者	応募者・参加者の人数	施設利用者数の増加	イベント実施日の利用者 実績1,610人 (目標1,463人)	B	参加者がのべ1,610人であり、施設利用者の増と、館の運営目的である健康増進に寄与できた。	継続		未定	0	0	地域医療政策課 (日本環境マネジメント株式会社)
149		2-①	身近で多様な学習機会の充実	ヨガ教室	リラックス効果のあるヨガ教室を定期開催することで、施設の利用促進につなげる。	どなたでも	23	72	299	指定管理者	応募者・参加者の人数	施設利用者数の増加	イベント実施日の利用者 実績5,368人 (目標5,177人)	B	参加者がのべ5,368人であり、施設利用者の増と、館の運営目的である健康増進に寄与できた。	継続		未定	168	168	地域医療政策課 (日本環境マネジメント株式会社)
150		2-①	身近で多様な学習機会の充実	幼児食講習会	幼児期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	親子・保護者	2	36組	30組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	30組、2回、おおいに満足・満足と回答した人100%	B	アンケート集計結果でおおいに満足・満足と回答した人100%であった。グループワークや講話が悩み軽減になったという成果が得られた。	継続		33	10	9	大横保健福祉センター
151		2-②	読書のまち八王子の推進	学校図書館ボランティア研修会	学校図書館の環境整備及び読書活動の推進に必要な技術及び知識の習得	どなたでも	2	108人 (1人/1学校)	109	市単独	応募者・参加者の人数	108人	100%	B	学校図書館の環境整備や本の修理など研修内容の工夫も行っていきたい。	継続		0	0	54	指導課
152		2-②	読書のまち八王子の推進	地区図書室・読み聞かせ等行事	地区図書室の活性化を図る。	子ども	131	-	3,394	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす	131回 3,394人	B	前年度の参加人数(3,626人)を下回ったが、大規模改修に伴い休館していた市民センターがあったことを考慮すると、全体的には地区図書室の活性化に寄与したものと考えられるため。	継続		地区図書室運営事業補助の中で実施	地区図書室運営事業補助の中で実施	地区図書室運営事業補助の中で実施	協働推進課 (各地域住民協議会)
153		2-②	読書のまち八王子の推進	高齢者施設読書活動支援事業(出張図書館)	図書館への来館が困難な高齢者の入居施設を対象に、図書の出張貸出しなどを実施し、だれもが身近に読書に親しめる環境の整備を行う。	高齢者	出張17団体12	210冊/回	貸出数3,890冊	共催	参加者の満足度及び利用の促進	貸出しを行うとともに、本の読み聞かせなどを行うことで、多くの入居者が読書に親しみ、読書を楽しめるようにする。	ボランティアの訪問を楽しんでおり、本のリクエストがあるなど読書への積極的な動きが見られる。	B	入居者の満足度も高く、来館が困難な高齢者の読書機会を提供できている。今後は、資料を充実し、さらなる利用施設の拡大に取り組む。	継続		3,974	3,922	3951	中央図書館
154		2-②	読書のまち八王子の推進	対面朗読	視力障害等で読書に親しむ機会の少ない市民に対し、図書館の対面朗読室で図書の朗読を行うなど、読書環境を整備する。	障害者	478	400	478	共催	実施回数	400回以上	478回	B	視覚障害者など活字をそのままでは読むことが困難な方の要望に応え、朗読により読書できる支援を行うことができた。	継続		450	437	450	中央図書館

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

①		②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】						今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)						
								予定	実績												
155		2-②	読書のまち八王子の推進	高齢者・障害者への図書宅配サービス	寝たきり高齢者・障害者等で図書館に来館することが困難な方に対して、図書を宅配するなど読書環境を整備する。	高齢者・障害者	188	200	188	共催	実施回数	200回以上	188人	B	利用者の増加に向けて、PRやボランティアの育成に取り組み、図書館に来館することが困難な高齢者・障害者の読書環境向上を図った。	継続		125	54	120	中央図書館
156		2-②	読書のまち八王子の推進	朗読会	ボランティアが本等の朗読を行い、高齢者が読書することへのきっかけを創出する。	高齢者	2	70/回	121	共催	参加者の人数	各回60人以上	春76人 秋45人	B	読書離れが進む傾向にある高齢者を主な対象として実施し、本に親しむきっかけとなった。多くの方に読書の楽しみを伝え図書館利用の促進にもつながった。	継続		0	0	0	中央図書館
157		2-②	読書のまち八王子の推進	読書感想画コンクール	読書による印象や感動を絵で表現し、感動をさらに深めるとともに、本に親しみ読書習慣を身に付ける。読書感想画の、入賞作品を展示する。海外友好都市台湾の作品も展示する。 募集期間:8～9月	子ども	1	1000	981	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	981人	B	30年度は市内小中学校への周知・応募依頼のほか、市内の書店や地下通路にポスターを掲示するなど、チラシやポスターを増やし募集を行った。感想画の応募数が減少傾向にあることから、市内学校への働きかけや作品展示の機会を増やすなどしてPRする。	継続		501	494	174	生涯学習センター図書館
158		2-②	読書のまち八王子の推進	読書感想文コンクール	読書による印象や感動を文章で表現し、感動をさらに深めるとともに、本に親しみ読書習慣を身に付ける。入賞作品を展示する。	子ども	1	4,000	4,345点	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	小学校1・2・3学年の部 1,048作品、小学校4・5・6学年の部 1,805作品、中学校の部 1,492作品 合計4,345作品 (昨年度4,028点)	B	30年度は市内の書店や地下通路にポスターを掲示するなど、チラシやポスターへの掲示場所を追加し募集を行ったところ、応募者が増えた。今年度も、市内学校などへの働きかけの機会や周知媒体を増やすなどしてさらにPRする。	継続		1,144	No.158と合算	805	川口図書館
159		2-②	読書のまち八王子の推進	一日図書館員 (小学生向け)	図書館業務の実体験を通して、図書館への理解を深める。 実施日:8/1,2,8,9	子ども	10 (3館合計) 生涯:4 南大沢:4 川口:2	120	104 (3館合計) 生涯:45 南大沢:42 川口:17	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	104人(10回) 生涯:45人 4回 南大沢:42人 4回 川口:17人 2回	B	図書館の仕事は貸出等の接客業務だけでなく、内部業務も多くあることを知ってもらえ、体験を通して図書館をより身近な存在に感じてもらうことができ、図書館利用の促進にもつながった。今年度から窓口またははがきでの申し込みから、メールでの申し込み方法を追加したことにより、申込数が増加した。	継続		0	0	0	図書館3館 (生涯、南大沢、川口)
160		2-②	読書のまち八王子の推進	一日図書館員 (中高生向け)	図書館業務の実体験を通して、図書館への理解を深める。 実施日:8/15,16	子ども	6 (3館合計) 生涯:2 南大沢:2 川口:2	36	29 (3館合計) 生涯:14 南大沢:12 川口:3	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	29人(6回) 生涯:14人 2回 南大沢:12人 2回 川口:3人 2回	B	中学生ボランティア体験を廃止し、図書館に親しみ、本を好きになり、自主的な読書活動へつなげることを目的とした「一日図書館員」として高校生も参加できる新規事業として実施したことにより、参加者が増加した。	継続		0	0	0	図書館3館 (生涯、南大沢、川口)
161		2-②	読書のまち八王子の推進	としょかんたんけんたい	図書館窓口や内部業務等の幅広い業務の図書館を探検するなど、図書館をより身近な存在に感じてもらい、利用促進に努める。 実施日:7/25,26	子ども	2	40	41	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	41人 2回	B	予定以上の応募があったが、受け入れ可能な範囲で柔軟に対応できた。多く子どもたちが参加できるよう、次年度もPRを十分に行い、募集人数や実施体制の検討も行う。	継続		0	0	0	生涯学習センター図書館

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
162		2-②	読書のまち八王子の推進	図書館まつり	図書館の利用促進や図書館に関連した活動を市内で行っている団体の発表や紹介をする機会とするため、10月27日の「はちおうじ読書の日」・全国「読書週間」に合わせ、毎年10月に市内4図書館にて図書館まつりを開催し、図書のリサイクルやテーマ展示の他、各種イベントを行う。	どなたでも	1	2,500	3,176	実行委員会	参加者への満足度及び利用の促進	図書館の利用促進や「読書のまち八王子」の推進	3,176人	B	期間中3,000名を超える方の来場があった。各図書館では図書・雑誌のリサイクル、共通テーマ展示を行ったほか、中央図書館では、秋の朗読会、図書館いろいろ体験、ビブリオバトルなど、図書館に関連した活動を市内で行っている団体によるさまざまなイベントを実施した。	継続		95	63	100	生涯学習センター図書館
163		2-②	読書のまち八王子の推進	図書等のリサイクル	所蔵期限の過ぎた本や雑誌資料を有効活用してもらうため、市施設・関連団体、市民に提供する。 実施日：図書館まつりや生涯学習フェスティバルに合わせ10月	どなたでも	4 (3館合計) 中央館：1 生涯：1 南大沢：1 川口：1		中央館：795 生涯：535 南大沢：612 川口：786	市単独	配布冊数	配布施設・団体を増加し、さらに本や雑誌資料を有効活用する。	中央館：8,203冊 生涯：4,634冊 南大沢：2,508冊 川口：1,131冊	B	市民への無料配布に先だち、市内の小中学校、学童保育所、保健福祉センターなど市施設のほか、リサイクル資料の有効活用のため、地域文庫や地区図書室へ提供した。図書館まつり等において、開館前に行列ができるなど誘引効果にもつながった。	継続		0			図書館4館
164		2-②	読書のまち八王子の推進	図書のテーマ展示(児童・一般)	図書館から様々な種類の図書を紹介し、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図るほか、行政からの情報発信の機会として活用する。 実施日：通年	どなたでも	169 (4館合計) 中央：45 生涯：48 南大沢：49 川口：27		(生涯：1,452)	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	図書館から様々な種類の図書を紹介することで、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図る。市の各所管との連携を拡大する。	中央：45回(一般32、児童13) 生涯：49回 南大沢：一般30テーマ 児童19テーマ 川口：一般27テーマ	B	(南大沢)南大沢図書館では、児童テーマ展示を毎月行っているが、テーマの内容が似ていたり、範囲が狭かったりすることも多かったので、内容を精査したうえで、より多くの図書を紹介できるようにする。	継続		0			図書館4館
165		2-②	読書のまち八王子の推進	おはなし会	親と子を対象に、読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、物語や本の楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図るとともに、読書習慣を身につけるきっかけとする。 各館で毎月定期的に実施しており、広報はちおうじや図書館通信などでお知らせしている。	どなたでも	115 (4館合計) 中央：36 生涯：26 南大沢：39 川口：14	各10名	1,976 (4館合計) 中央632 南大沢：594 生涯：332 川口：418	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	中央：48回(586人) 生涯：15回(332人) 南大沢：42回(692人) 川口：12回(416人)	B	平日開催と土日開催により参加人数は大きく異なるものの、参加される親子の満足度は高く、読書習慣を身につけるきっかけとなっていることから今後も継続して実施していく。	継続		0			図書館4館
166		2-②	読書のまち八王子の推進	子ども読書の日記念事業(としよかん子どもまつり)	子ども読書の日にちなみ、本に親しむ機会を設けて、子どもの読書活動を推進する。	子ども	4 (4館合計) 中央：1 生涯：1 南大沢：1 川口：1	315	277 (4館合計) 中央：211 生涯：26 南大沢：20 川口：20	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	中央：211人 生涯：26人 南大沢：20人 川口：20人	B	4月23日のこども読書の日にちなみ連休前後に開催。おはなし会や工作を行い図書館利用のきっかけとした。チラシ配布等により周知したが、さらなる参加者の増を目指していく。	継続		15			図書館4館
167		2-②	読書のまち八王子の推進	七夕行事の実施	児童と本・図書館が身近になるように、七夕行事を行う。 (7月に各館1回)	子ども	3 (3館合計) 中央：1 生涯：1 南大沢：1	各25名	232 (3館合計) 中央：不明 生涯：191 南大沢：41	市単独	応募者・参加者の人数	短冊の配布枚数の達成	中央館 225枚 生涯：191枚 南大沢：500枚 川口：186枚	B	短冊飾りや、七夕にちなんだ本の読み聞かせを行った結果、想定を上回る参加があった。	継続		0			図書館4館

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
168		2-②	読書のまち八王子の推進	クリスマス行事の実施	児童と本・図書館が身近になる機会を設け、児童の読書推進と親子の触れ合う場を提供する。(12月に各館1回)	子ども	3 (3館合計) 中央:1 生涯:1 南大沢:1	各30	110 (3館合計) 中央:35 生涯:38 南大沢:37	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	中央:35人 生涯:38人 南大沢:37人 川口:26人	B	絵本の読み聞かせと工作会を行った。その結果、前年を上回る参加があった。	継続		0			図書館4館
169		2-②	読書のまち八王子の推進	「八王子に関する新聞記事索引」の発行	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	どなたでも	1	250	250	市単独	作成者	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	250部	B	地域の歴史の一部として、記事索引を作成・保存し、市民の利用に供することができたほか、市外近隣図書館など関係各所に配布し、所蔵してもらうことで、郷土の資料をより多くの方に利用していただくことができた。	継続		0	0	0	中央図書館
170		2-②	読書のまち八王子の推進	夏休み手づくりの絵本	夏休みに、世界に一冊しかない絵本作りを行い、本や読書に親しむ機会の促進を図る。	子ども	4	100	96	共催	参加者の満足度	80%以上	94%	B	満足度が90%を超え毎年好評である。市民団体と共催で実施し、本の製作を通じて本や図書館に親しむきっかけづくりの役割も果たしている。	継続		41	40	41	中央図書館
171		2-②	読書のまち八王子の推進	手づくりの本展	手づくりの本を公募・展示し、本に親しみと愛着を持つ機会とする。	どなたでも	1	198	195	共催	応募者・参加者の人数	195人	230	B	目標は達成できなかったが、様々な創意工夫のある作品が今年も出品され好評であった。引き続き、市民団体との協力体制で取り組む。	継続		0	0	0	中央図書館
172		2-②	読書のまち八王子の推進	地域子ども文庫育成事業	地域での読書環境の充実を図るため、地域文庫との連携を強化する。	どなたでも	3	6	6	補助	協働事業の推進	継続	地域子ども文庫からの希望本を図書館で購入し、団体貸出を行った。 6文庫へ323冊貸出	B	文庫からの希望図書を提供することで、地域に根ざした子どもの読書環境の向上を図った。	継続		430	406	427	中央図書館
173		2-②	読書のまち八王子の推進	地区図書室への支援	地域における読書活動の推進を図るため、地区図書室の充実及びサービス向上への支援を行う。	どなたでも	随時			補助	助事業の推進	継続	コミュニティ振興財団から各地区図書室の希望図書の提示を受け、図書館で購入し団体貸付を行った。 16室:2,768冊	B	地域からの希望図書を提供することで、地域に根ざした読書環境の向上を図った。	継続		4,303	3,948	390	中央図書館
174		2-②	読書のまち八王子の推進	八王子千人塾	高齢者の調べ学習に対する場所の提供と情報収集を支援する。	高齢者	1	30人	参加者11名 内修了者10名	共催	参加者数 修了者数	参加者10名 内修了者9名	参加者:11 修了者:10	B	予定参加者数には達しなかったものの、調べ学習の成果が全国規模のコンクールで入賞したほか、図書館総合展フォーラムで優良事例として紹介されるなど、千人塾受講終了後の自主的なグループ活動「塾生の会」を含め高く評価された。	継続		0	0	0	中央図書館
175		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	施設見学会	公共施設等の見学をとおし、市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	どなたでも	3	1回40名位	47	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	1回目は参加者全員が「満足」「ほぼ満足」と回答した。 2、3回目は参加者全員が「また参加したい」と回答した。	A	多くの参加者の方に、市内の観光地や歴史文化に触れていただくことができ、市の施策に有効な多くの意見を聴取できたと同時に、アンケートでも満足度の高さが伺えるため。 来年度はテーマを変え、小学生から高校生を主な対象とする若者の市民参加の推進に関連した企画を加える。	継続		管財課が計上バス 借り上げ費	管財課が計上バス 借り上げ費	管財課が計上バス 借り上げ費 施設使用料19千円	広聴課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
176		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	文化財見て歩き	本市固有の歴史文化について学芸員が現地で解説・紹介することで、その理解を深める。	どなたでも	4	120	79	市単独	応募者・参加者の人数	参加者120人	79人	B	募集人員120人のところ、応募者数は98人、当日参加者は79人で目標を達成できなかったが、アンケートを2回実施し、その結果「満足」の回答が約8割という成果が得られたため。	継続		5	5	5	文化財課
177		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	第16回八王子車人形と民俗芸能の公演	本市に伝わる民俗芸能の公演及び展示を行い普及を図ることで、市民全体で保存継承する意識の醸成を行う。	どなたでも	1	1,200	747	委託	応募者・参加者の人数	参加者1,200人	747人	C	参加者が747人で目標を達成できなかった。31年度は若い世代に伝統芸能に親しんでもらうため、今まで以上に市内小中学校に周知する。	継続		1,650	1,650	1650	文化財課
178		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	伝統文化ふれあい事業「説経節体験・発表講座～三味線・語り～」	伝統芸能の後継者の発掘及び育成支援を行う。	成人	1	10	10	実行委員会	参加者の満足度	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	88.80%	A	アンケートに回答した参加者が9名で、「満足」(とてもよい・よいと回答した者を満足したと計算した)と答えた人数が8名であった。	継続		-	-	0	文化財課 (伝統文化ふれあい事業実行委員会)
179		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	伝統文化ふれあい事業「民俗芸能講座」	民俗芸能の保護及び普及を図る。	どなたでも	3	-	-	実行委員会	参加者の満足度	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	71%	B	「獅子舞講座」「木遣」「説経節講座」の3講座で41人が参加し、アンケート回答者の7割から「満足」と回答が得られた。	継続		-	-	0	文化財課 (伝統文化ふれあい事業実行委員会)
180		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	文化財年報	文化財の調査及び研究活動を発表することで、八王子の文化財に対する市民の理解を深めてもらう。	どなたでも	1	250	250	市単独	発行時期	12月まで	3月	C	12月の発行には間に合わなかったが、今年度内に発行できたため。平成31年度は目標達成できるよう業務の見直しを含め処理を進めていく。	継続		137	135	170	文化財課
181		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	体験学習「まゆ人形づくり」	蚕のまゆを使った工作を実施し、八王子の養蚕の歴史について理解を深める	どなたでも	1	20	51	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	全アンケート回答者から「満足」の回答を得た。	B	全回答者から満足との回答を得ることができた。 八王子の養蚕の歴史について市民が理解を深める機会とすることができた。	継続		9	2	郷土資料館で実施する全ての体験学習の予算として合計48千円	文化財課 郷土資料館
182		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	体験学習八王子かるたとお正月あそび」	羽根つきやコマ回しなど昔のお正月あそびについての体験を通じて八王子の文化への理解を深める。	どなたでも	1	20	31	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	アンケート回答者の9割以上から「満足」の回答を得た。	B	アンケート回答者の9割以上から満足との回答を得ることができた。 遊びを通じて八王子の文化について市民が理解を深める機会とすることができた。	継続		9	2	郷土資料館で実施する全ての体験学習の予算として合計48千円	文化財課 郷土資料館
183		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	体験学習「火おこし」	縄文時代について、講義と体験を通じて生活・文化への理解を深める。	どなたでも	1	20	43	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	全アンケート回答者から「満足」の回答を得た。	B	全回答者から満足との回答を得ることができた。 縄文時代の生活・文化について市民が理解を深める機会とすることができた。	継続		9	5	郷土資料館で実施する全ての体験学習の予算として合計48千円	文化財課 郷土資料館

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
184		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	講座「明治維新の古文書を読んでみよう」	初心者向けの古文書解説講座を開催し、歴史に興味を持つきっかけを作る。	どなたでも	1	20	20	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	全アンケート回答者から「満足」の回答を得た。	B	目標値を上回り、全回答者から満足との回答を得ることができた。市民が歴史に興味を持つきっかけとすることができた。	継続		-	0	0	文化財課 郷土資料館
185		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	講座「八王子空襲と戦時下の生活」	体験談を通じ戦中・戦後の市民生活について理解を深める。	どなたでも	2	20～30	56	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	アンケート回答者の8割以上から「満足」の回答を得た。	B	アンケート回答者の8割以上から満足との回答を得ることができた。戦争を知らない幅広い世代の市民に戦争の悲惨さを伝えることができた。	継続		-	0	1	文化財課 郷土資料館
186		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	講座「歴史資料をひもとく～永禄4年の八王子市域」	初心者向けの古文書解説講座を開催し、歴史に興味を持つきっかけを作る。	どなたでも	1	20	23	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	アンケート回答者の8割以上から「満足」の回答を得た。	B	アンケート回答者の8割以上から満足との回答を得ることができた。市民が歴史に興味を持つきっかけとすることができた。	継続		-	0	0	文化財課 郷土資料館
187		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	企画展「八王子と明治維新―黒船来航から土族反乱まで―」	維新150周年に合わせ、明治維新期における八王子について当時の資料を展示する。	どなたでも	1	-	入館者数3,520人	市単独	応募者・参加者の人数	入館者3,000人以上	入館者数3,520人	B	目標値を達成できた。平成30年は明治維新150周年の記念の年であり、時局に合わせた企画展を実施することで郷土八王子の歴史に理解や関心を高めることができた。	継続		-	0	0	文化財課 郷土資料館
188		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	企画展「戦争と八王子」	夏休みと終戦記念日に合わせ過去の戦争の悲惨さを語り継ぎ戦争と平和を考える機会とする。	どなたでも	1	-	入館者数4,170人	市単独	応募者・参加者の人数	入館者3,000人以上	入館者数4,170人	B	入館者数が4,170人であり、目標値を達成できた。戦争を知らない幅広い世代の市民に戦争の悲惨さを伝えることができた。	継続		-	0	0	文化財課 郷土資料館
189		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	企画展「七福神 八王子の恵比寿・大黒」	市内旧家および館所蔵の七福神像や縁起物などを展示する。	どなたでも	1	-	入館者数1,583人	市単独	応募者・参加者の人数	入館者2,000人以上	入館者数1,583人	B	入館者数が1,583人であり、目標値を達成できなかった。しかし、アンケートでは約9割の方が本企画展に対して「よかった」と回答しており、多くの市民に対して八王子の文化について理解と関心を高めることができた。	継続		-	0	0	文化財課 郷土資料館
190		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展「近世八王子 文芸の息吹―学問と芸術の世界―」	近世の八王子における在村文化について当時の資料を展示する。	どなたでも	1	-	入館者数2,912人	市単独	応募者・参加者の人数	入館者3,000人以上	入館者数2,912人	B	入館者数が2,912人であり、概ね目標値を達成することができた。アンケートからも好評価が多く寄せられ、多くの市民に対して八王子の文化について理解と関心を高めることができた。	継続		83	53	84	文化財課 郷土資料館
191		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展「八王子のおまじない」	八王子における「おまじない」をテーマに当時の資料を展示する。	どなたでも	1	-	入館者数3,444人	市単独	応募者・参加者の人数	入館者3,000人以上	入館者数3,444人	A	入館者数が3,444人であり、目標値を達成することができた。本特別展については会期後半につれて評判が広まり、入館者数が伸びた。会期最終の土曜日には、平成30年度最多となる来館者数389人を記録した(参考:平成29年度一日平均来館者数は85人)。	継続		83	56	84	文化財課 郷土資料館

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
192		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展「近世八王子 文芸の息吹―学問と芸術の世界―」図録	特別展の一環として展示図録を発行する。	どなたでも	1	1000	1000部印刷	市単独	応募者・参加者の人数	年度内に400冊販売する	年度内に148冊販売した。	B	年度内の販売数は148冊となり、目標値を下回る結果となってしまった。しかし、市内外の方々に八王子の歴史や文化に理解や関心ををもってもらうために、図書館・博物館その他関係者・関係機関等に計262部配布したことで、販売分と合わせて計410部配布することができた。	継続		519	421	605	文化財課 郷土資料館
193		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展「八王子のおまじない」図録印刷	特別展の一環として展示図録を発行する。	どなたでも	1	1000	600部印刷	市単独	応募者・参加者の人数	年度内に200冊販売する	年度内に352冊販売した。	A	年度内に352冊販売し、目標値を達成することができた。 また、過去開催した類似の特別展「家内安全・無病息災～庶民の願い」の図録も本特別展が開催された2月～3月に155冊販売することができた。	継続		519	332	605	文化財課 郷土資料館
194		2-③	#N/A	郷土資料館資料シリーズ第58号「鈴木日記三」印刷	郷土資料館の所蔵する古文書を翻刻したものを発行する。	どなたでも	1	400	400部印刷	委託	その他	12月末までに発行する	3月に発行した	B	3月に発行したため、目標値を達成することができなかった。しかし、これまで郷土資料館内に保管されていた貴重な古文書を翻刻して刊行することで、市民が八王子の歴史について理解を深めるための有用なツールが完成することができた。	継続		260	201	260	文化財課 郷土資料館
195		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	郷土資料館研究紀要「八王子の歴史と文化」第31号印刷	郷土資料館の調査・研究の成果を発表する。	どなたでも	1	400	400部印刷	市単独	その他	1月末までに発行する	3月に発行した	B	3月に発行したため、目標値を達成することができなかった。しかし、郷土資料館学芸員による研究成果を3件の論文として公表することができ、市民が八王子の歴史の周知や八王子の歴史に興味を持つきっかけ作りとなった。	継続		195	130	198	文化財課 郷土資料館
196		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展展示図録増刷	在庫切れとなっている図録を再発行する。	どなたでも	-	1000	-	市単独	応募者・参加者の人数	年度内に200冊販売する	特別展展示図録増刷を行わなかった。	評価なし	特別展「八王子と鉄道」展示図録の増刷を予定していたが、平成31年(2019年)に八王子駅開業130周年を迎えることや、それに合わせて当館でも企画展「八王子と鉄道」を実施することから、本増刷は平成31年(2019年)に実施することとした。	継続		519	-	605	文化財課 郷土資料館
197		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子市郷土資料館だより	郷土資料館の調査・研究・展示などの活動をわかりやすく紹介する。(年2回)	どなたでも	2	各500	初版各500部配布	市単独	応募者・参加者の人数	初版各500部を年度内に配布する	初版各500部を年度内に配布した	B	目標値を達成した。郷土資料館だよりの配布により、八王子の歴史や文化を広く市内外に伝えることができた。	継続		-	0	-	文化財課 郷土資料館

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)			
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)	
予定	実績																					
198		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2018～	街中を中心に市民に身近な場所で八王子に伝わる文化や芸術に親しむ機会を提供する。	どなたでも	1	35,000	来場者 35,302	共催	応募者・参加者の人数	・事業の認知度向上 ・参加者及び来場者数の増	来場者 35,302人	B	目標を達成することができたため。 来場者数が前年35,181人に比べ増となり、多摩地域の伝統文化・芸能を次世代に継承するきっかけを作ることができた。	継続		4,000	4,000	4,000	学園都市文化課	
199		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子市民文化祭	市民が文化芸術に触れたり、参加する機会を提供し、市民文化の向上・発展を目的とする。	どなたでも	34	4,000	参加者 3,435 来場者 20,996	共催	応募者・参加者の人数	参加者 3,400人 来場者 20,700人	参加者 3,435人 来場者 20,996人	B	目標を達成することができたため。 参加者数は、前年3,990人に比べ減となったが、来場者数は前年21,384人に比べ増となり、市民文化の振興に寄与することができた。	継続		6,244	6,211	6,442	学園都市文化課 (市民文化祭実行委員会)	
200		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	クリスマスジャズ	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	140	69	指定管理者	①3校以上の応募数 ②実施校の要望と楽団とのスムーズなマッチングと着実な実施	チケット完売	チケット販売 69% (69枚/100枚)	C	玄人向けの企画であったため、来場者数が伸び悩んだ。次年度は、スタンダードな内容で企画を進めるとともに八王子音楽祭の一環として実施し、PRを拡大していく。	継続		361	427	472	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)	
201		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子音楽祭2018(誰でも体感コンサート・街中カフェコンサートほか)	音楽の鑑賞・参加・体験を通じて、芸術文化の普及を図るとともに人と人のふれあい・つながりを深め、また八王子への関心・愛・誇りを育み、芸術の薫る街づくりに寄与する。	どなたでも	1	3,300	参加者 199 入場者 4,249	補助	事業の実施	・事業の認知度向上 ・参加者及び来場者数の増	・事業の認知度はあがった ・参加者及び来場者数は昨年度(市制100周年記念大音楽祭)と比較し減となった。	B	目標を達成することができたため。 市内カフェ等での八王子音楽祭の認知度が高まってきており、街での音楽祭定着が伺えた。 参加者数は、街中コンサートの実績が高く、目標値を達成することができた。	継続		9,026	8,433	8,590	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)	
202		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	東京交響楽団PJアフタヌーンコンサートVol.15(八王子音楽祭)	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	180	158	指定管理者	応募者・参加者の人数	チケット販売 90%以上 (180枚/200枚)	チケット販売 79% (158枚/200枚)	C	出演者の決定が遅く、PR期間が充分に取れないなどの課題があり、目標値に到達することができなかったため。	廃止・終了	事業不調につき、今後は本シリーズに代わるより魅力的な公演を展開していくため、廃止とする。	537	531		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)	
203		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	東京交響楽団PJアフタヌーンコンサートVol.16	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	180	120	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売 90%以上 (180枚/200枚)	チケット販売 60% (120枚/200枚)	C	出演者の決定が遅くPR期間が充分に取れないなどの課題があり、目標値に到達することができなかったため。 一方、開演前にロビーでチェロ体験のコーナーを実施し、充実したプログラムを提供することができた。	廃止・終了	事業不調につき、今後は本シリーズに代わるより魅力的な公演を展開していくため、廃止とする。	300	255		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)	
204		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	東京交響楽団PJアフタヌーンコンサートVol.17	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	100	90	指定管理者	応募者・参加者の人数	チケット販売 90%以上 (100枚/110枚)	チケット販売 81% (90枚/110枚)	C	委託先の都合により出演者の決定が遅く、チラシ等に反映してPRする期間が短かったことなどの理由から、入場率の目標を達成することができなかった。	廃止・終了	事業不調につき、今後は本シリーズに代わるより魅力的な公演を展開していくため、廃止とする。	300	3,977		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)	

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
205		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	東京交響楽団PJ 第3回八王子定期演奏会 (八王子音楽祭)	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	1,100	942	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売 70%以上 (1,100枚/1,570枚)	チケット販売 60% (942枚/1,570枚)	C	目標値を達成できなかったため。公演の目玉でもあった今回の指揮者の演奏が他市でも多くあり、特別感を出せず、来客数が割れたと考えられる。次回は、エリアバッティング等に留意しながら、PRの強化を図る。	継続		9,453	8,209	9,420	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
206		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	学生演劇関連 キャラメルボックス公演	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	2	1,280	720	指定管理者	応募者・参加者の人数	チケット販売 80%以上 (1,280枚/1,600枚) ※2回公演	チケット販売 45% (720枚/1,600枚)	C	目標値を大幅に下回ったため。若手に人気のあるこの類の演劇公演は八王子では新規の企画であり、演劇ファンの醸成がない中、目標の設定が高すぎたと考えられる。	廃止・終了	幅広いジャンルおよびアーティストの公演の鑑賞機会を提供するため、連続での実施を避け、他のアーティストの公演を検討する。	7,325	7,196		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
207		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	野村萬斎狂言	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	640	776	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売 80%以上 (640枚/800枚)	チケット完売 100% (776枚/776枚)	B	目標値を達成することができたため。出演者がオリンピック総合統括に選ばれるなど話題を呼んだが、チケット代は抑えめに設定した。	休止	幅広いジャンルおよびアーティストの公演の鑑賞機会を提供するため、連続での実施を避けるが、反響が大きかったため今後も実施を検討する。	4,150	4,149		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
208		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	すぎやまこういち×東京交響楽団ドラゴンクエストコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	1,600	1,544	補助	応募者・参加者の人数	チケット完売	チケット完売 (1,544枚)	B	チケット完売の目標を達成することができたため。プログラム(曲目)の選定を関係者と慎重に吟味したことにより、集客することができたと考ええる。	継続		7,993	7,847	8,081	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
209		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子車人形 集大成シリーズ	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	2	300	677	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売 70%以上 (300枚/430枚) ※古柳座の席数は予定数	チケット販売 70% (677枚/962枚) ※2事業計	B	目標値を達成することができたため。ラララでタイミングよく4回掲載し、PRをすることができた。	継続		211	29	85	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
210		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	2	1,600	1,270	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売 70%以上 (1,600枚/2,280枚) ※2回公演	チケット販売 56% (1,270枚/2,280枚) ※2回公演	C	発売時に作成したチラシデザインで魅力を伝えきれず、目標値を達成することができなかったため。今後類似事業を実施する際は、客層を考慮したチラシデザインを心がける。	廃止・終了	事業不調により廃止とする。他の最近の演出力のあるサーカスより購買力がないため、今後はより魅力の高い公演を検討していく。	3,190	3,212		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
211		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	なごみーず公演	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	1,000	1,304	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売 70%以上 (1,000枚/1,420枚)	チケット販売 78% (1,304枚/1,680枚)	B	同類のポピュラーコンサート等にチラシの挟み込みを多く実施し、目標値を達成することがきたため。	廃止・終了	幅広いジャンルおよびアーティストの公演の鑑賞機会を提供するため、連続での実施を避け、他のアーティストの公演を検討する。	5,500	6,241		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
212		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	日本音楽集団邦楽公演	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	500	403	指定管理者	応募者・参加者の人数	チケット販売 70%以上 (500枚/710枚)	チケット販売 57% (403枚/710枚)	C	目標値を下回ったが、PRを多様に展開したため。市内の着物店等に営業に行ったほか、出演者のWEBページ掲載、ラララでの特集ページ掲載などを実施した。次回以降は、より公演の内容が伝わり易いプロモーションを徹底していく。	廃止・終了	幅広いジャンルおよびアーティストの公演の鑑賞機会を提供するため、連続での実施を避け、他のアーティストの公演を検討する。	2,204	1,532		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
213		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	岸谷香コンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	600	468	指定管理者	応募者・参加者の人数	チケット販売 80%以上 (600枚/750枚)	チケット販売 63% (468枚/750枚)	C	チラシが訴求力に欠け、目標を達成できなかったため。委託先(興行元)の事情で、チラシに出演者が所属していた有名なバンド名(プリンセスプリンセス)を大きく掲載できなかった。次回以降は、より公演の内容が伝わり易いプロモーションを徹底していく。	廃止・終了	幅広いジャンルおよびアーティストの公演の鑑賞機会を提供するため、連続での実施を避け、他のアーティストの公演を検討する。	2,855	4,165		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
214		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	避難訓練コンサート	地域の小学校と協働し防災意識を高めるとともに、芸術文化を鑑賞する機会を提供する。	子ども	1	200	277	指定管理者	協働事業の推進	複合ビル管理者、地域の複数小学校との協働実施	複合ビル管理者、地域の複数小学校と協働実施をした	B	複合ビル管理者、地域の複数小学校と協働実施をし、参加者の満足度が99%だった。	継続		230	236	249	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
215		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	南大沢モーニングコンサート	市民に身近な場所で優れた文化・芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	4	120	394	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度 90%以上	アンケート満足度 平均94.6%	B	入場者数が目標を下回る回もあったが、DM発送等集客に努め、アンケートの満足度は比較的高かった。	継続		573	489	480	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
216	◎	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	南大沢文化祭2018	地域で醸成された地域文化の拠点としてその安定を図り、南大沢地域全体の文化活動の一層の発展を目指す。	どなたでも	1	600	1,388	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度 90%以上	満足度100%	B	初めての取組。活動実績のある文化芸術団体との協働により、文化祭として地域文化芸術に資する活動をおこなった。	継続		108	17	50	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
217		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	SUN☆KANラリー	市内美術館が共同し市民に芸術文化に触れる機会を提供する。	どなたでも	1	800	848	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 800人以上	848人	B	実績値が目標値の106%の達成率となり目標を達成する結果となった。	継続		289	503	435	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
218		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	ギャラリートーク	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を充実させる。	どなたでも	14	240	1,388	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 240人以上	1,388人	A	実績値が目標値の578%の達成率となり目標を大幅に上回る結果となった。増加の要因は実施回数の増(6→15回)及び1回ごとの参加者が予想を大幅に上回ったため。	継続		220	126	164	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
219		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	常設展(収蔵品展示)	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	9	17,185	31,089	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 17,185人以上	31,089人	A	実績値が目標値の181%の達成率となり目標を上回る結果となった。増加の要因は入場者数が目標を上回った4つの特別展と併設された常設展(収蔵品展示)だったため。	継続		234	214	41,803	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
220		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	6	35,900	46,998	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 35,900人以上	46,998人	A	実績値が目標値の131%の達成率となり、目標を上回る結果となった。	継続		43,567	43,120	591	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
221		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	BOXギャラリー	市民の芸術活動の発表の場を提供する。	どなたでも	1	未定	58	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 48人以上	58人	B	実績値が目標値の121%の達成率となり、ほぼ目標を達成する結果となった。	継続		0	0	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
222		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	大学共催事業	地域、大学と連携した芸術・文化を活用した地域の活性を目指す。	どなたでも	2	2回	2回	指定管理者	協働事業の推進	2回開催	2回	B	市内美術大学と連携した事業を2回実施した。フラックギャラリープロジェクトは15回目を迎え、東京造形大学と商店街との連携のもと全国都市緑化プロジェクトの一環として「みどり」をテーマにした作品をユーロード及び夢美術館に掲出した。小島善太郎研究では帝京大学と提携し、学生が収蔵品の調査をおこなった。	継続		787	778	807	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
234		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	陽春庭園ぼんさい展	盆栽の展示、紹介、鑑賞	どなたでも	1	不定	441	共催	参加者の満足度	参加人数200人	参加人数441人	B	アンケートの実施は無いが、参加人数441人という成果が得られた	継続		0	4	1	公園課(庭園ぼんさい展実行委員会)
235		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	アースイベント	NPOアート多摩による土器野焼きワークショップで、火を使うことのできる環境を活かした特徴あるイベントとして実施する。	親子・保護者	2	15	18	共催	協働事業の推進	市民団体との共催事業を積極的に推進する。	18人 2回 実施回数を予定通り開催した。	B	実施回数を満たし、目標を達成した。加えて参加者数も予定を上回る成果を得られた。	休止	主催の市民団体の活動が継続困難なため	12	10	0	公園課(ひとまちみどり由木)
225		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	木嶋真優ヴァイオリンリサイタル(八王子音楽祭)	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	480	217	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売 63%以上 (500枚/800枚)	チケット販売 27% (217枚/802枚)	C	入場者数の目標を大きく下回ったため。(目標達成率43%)今後の八王子音楽祭の公演のPRIについては、パンフレットの納品を早めるなど強化していく。	廃止・終了	幅広いジャンルおよびアーティストの公演の鑑賞機会を提供するため、連続での実施を避け、他のアーティストの公演を検討する。	2,045	1,726		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
226		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	弾こう！聴こう！誰でもユース(八王子音楽祭)	市民が文化芸術に触れたり、参加する機会を提供し、市民文化の向上・発展を目的とする。	どなたでも	1	20	参加者 56 入場者 50	補助	応募者・参加者の人数	外部参加者数 20名以上	外部参加者数 20名	A	目標値を達成し、音楽祭の中で、ユースオーケストラの公開稽古の見学などを盛り込みつつ、演奏体験もできる貴重な機会を提供できたため。	休止	次回音楽祭はジャズがテーマであるため、見合わせるが、再来年度以降実施を検討する。	451	239		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)	
予定	実績																					
227			2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	赤ちゃんチャカチャコンサート(八王子音楽祭)	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	2	120	参加者8 入場者228	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売 60%以上 (120枚/200枚)	チケット販売 100%以上 (228枚/200枚)	A	目標値を達成し、八王子FMでの宣伝等の取り組みにより、公演のコンセプト等を周知することができたため。想定していた以上の反響があり、予定より座席数を増やし、満員御礼となった。	休止	次の音楽祭のテーマに合う出演者の選定・検討に時間を要するため休止とする。本事業の客層からのニーズがあるため、今後の実施も検討する。	364	405		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
228			2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八人の王子たち(八王子音楽祭)	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	2	358	367	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売 63%以上 (358枚/576枚)	チケット販売 64% (367枚/576枚)	B	目標値を超える入場者数となったため。	継続		835	992	884	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
229			2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	桃月案白酒・春風亭一之輔二人会	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	600	613	指定管理者	応募者・参加者の人数	チケット販売 75%以上 (600枚/800枚)	チケット販売 77% (613枚/800枚)	B	目標値を達成することができた。チラシに訴求力があり、配布してから販売が加速した。市民センターなどのほか、スーパー等にも配布した。	廃止・終了	他社の「いちよう寄席」が始まったことを受け、自主事業での落語会は見合わせる。	2,000	1,478		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
230			2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	王子、ピアノにハマる	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	180	177	指定管理者	参加者の満足度	チケット完売 (180枚/180枚)	チケット完売	A	開催決定時期が直前だったにもかかわらず、タンゴを取り上げ企画性を高めたことにより、多くの方に関心をもっていただき充分な集客を得ることができたため。	廃止・終了	幅広いジャンルおよびアーティストの公演の鑑賞機会を提供するため、連続での実施を避け、他のアーティストの公演を検討する。	140	358		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
231			2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	七夕飾り	庭園内の七夕の飾りつけ	どなたでも	1	不定	139	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加人数100人	参加人数139人	A	参加人数139人という成果が得られた。	継続		1	1	1	公園課(駒木野庭園アーツ)
232			2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	松の雪吊り見学会	日本の伝統的作庭技術を見学し、日本文化への理解を深める	どなたでも	1	不定	118	指定管理者	参加者の満足度	参加人数100人	参加人数118人	B	参加人数118人という成果が得られた。アンケートの実施は無いが、幅広い年齢層からの質問や関心が寄せられた。	継続		0	200	200	公園課(駒木野庭園アーツ)
233			2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	錦秋庭園ぼんさい展	盆栽の展示、紹介、鑑賞	どなたでも	1	不定	351	共催	協働事業の推進	参加人数700人	参加人数351人	B	参加人数は351人であったが、昨年同様に4日間の実施という成果が得られた。	継続		0	1	1	公園課(庭園ぼんさい展実行委員会)
234			2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	陽春庭園ぼんさい展	盆栽の展示、紹介、鑑賞	どなたでも	1	不定	441	共催	参加者の満足度	参加人数200人	参加人数441人	B	アンケートの実施は無いが、参加人数441人という成果が得られた	継続		0	4	1	公園課(庭園ぼんさい展実行委員会)
235			2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	アースイベント	NPOアート多摩による土器野焼きワークショップで、火を使うことのできる環境を活かした特徴あるイベントとして実施する。	親子・保護者	2	15	18	共催	協働事業の推進	市民団体との共催事業を積極的に推進する。	実施回数を予定通り開催した。	B	実施回数を満たし、目標を達成した。加えて参加者数も予定を上回る成果を得られた。	休止	主催の市民団体の活動が継続困難なため	12	10	0	公園課(ひとまちみどり由木)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】						今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)						
								予定	実績												
236		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ネオテニス親子教室	親子参加型のスポーツの場を提供し、八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を目的に開催する。	親子・保護者	6	30	151	市単独	応募者・参加者の人数	180	151	B	参加者が151名であったものの、ネオテニスの普及啓発を図ることができた。	継続		7	7	7	スポーツ振興課
237		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民ネオテニス大会	八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を目的に開催する。	どなたでも		200		市単独	応募者・参加者の人数	200	-	評価なし	-	廃止・終了	今後は障害者スポーツ「ボッチャ」の普及啓発に努めるため	11		-	スポーツ振興課
238		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民体育大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	1	17,000	19,787	委託	応募者・参加者の人数	17,000	19,787	B	目標どおり達成できた	継続		2,700	2,700	2,700	スポーツ振興課
239		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	陸上競技大会兼陸上選手権大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	1	1,300	1,474	委託	応募者・参加者の人数	1,300	1,474	B	目標どおり達成できた	継続		193	193	193	スポーツ振興課
240		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民水泳大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	1	350	335	委託	応募者・参加者の人数	350	335	B	参加者が335名あったものの、競技の普及、競技力の向上を図ることができた。	継続		340	340	340	スポーツ振興課
241		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民スキー大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	1	40	37	委託	応募者・参加者の人数	40	37	B	参加者が37名あったものの、競技の普及、競技力の向上を図ることができた。	継続		330	330	330	スポーツ振興課
242		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ロードレース大会	市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供するとともに、競技の普及、競技力の向上を目的に開催する。	どなたでも	1	400	434	委託	応募者・参加者の人数	400	434	B	目標どおり達成できた	継続		385	385	373	スポーツ振興課
243		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民レクリエーション大会	市民のレクリエーション活動の日頃の練習の成果を発揮する場を提供するとともに、市民の生涯学習活動を支援すること絵を目的に開催する。	どなたでも	1	1000	1,041	委託	応募者・参加者の人数	1,000	1,041	B	目標どおり達成できた	継続		602	602	732	スポーツ振興課
244		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民スポーツレクリエーション大会	市民のスポーツレクリエーション活動の日頃の練習の成果を発揮する場を提供するとともに、市民の生涯学習活動を支援することを目的に開催する。	どなたでも	1	3000	2,599	委託	応募者・参加者の人数	3,000	2,599	B	参加者が2,599名であったものの、市民の生涯学習活動を支援することができた。	継続		275	275	305	スポーツ振興課
245		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ネオテニス教室	八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を目的に開催する。	成人	6	30	122	委託	応募者・参加者の人数	180	122	B	参加者が122名であったものの、ネオテニスの普及啓発を図ることができた。	継続		80	80	80	スポーツ振興課
246		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民いきいきリフレッシュ体操	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。	どなたでも	138	3500	3,699	市単独	応募者・参加者の人数	3,500	3,699	B	目標どおり達成できた	継続		3,031	3,030	3,077	スポーツ振興課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
247		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	やさしいフィットネス	団体を対象とした、健康体操教室を開催することにより、市民の健康維持・増進を図る。	成人	158	2,000	2,635	市単独	応募者・参加者の人数	2,000	2,635	B	目標どおり達成できた	継続		3,030	3,030	3,076	スポーツ振興課
248		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ヘルシーウォーキング	市内の名所や自然を感じる施設を巡るウォーキング大会。本事業により、市民の体力、健康増進意識の向上を図る。	どなたでも	1	1,000	767	実行委員会	応募者・参加者の人数	1,000	767	B	参加者が767名であったものの、市民の体力、健康増進意識の向上を図ることができた。	継続		743	743	743	スポーツ振興課
249		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	全関東夢街道駅伝競走大会	公道がコースとなる大会では日本最大級の駅伝大会。本事業により、八王子市の魅力を市内外へ発信し、地域の活性化とスポーツ振興を図る。	どなたでも	1	2,000	1,988	実行委員会	応募者・参加者の人数	2,000	1,988	B	目標どおり達成できた	継続		14,404	14,396	18,429	スポーツ振興課
250		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジュニア育成事業	トップアスリート等から指導を受けることにより、子どもたちの競技力と意識の向上を図る。	子ども	9	360	340	委託	応募者・参加者の人数	360	340	B	目標どおり達成できた	継続		1,500	1,500	1,500	スポーツ振興課
251		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	オリンピック・パラリンピックに向けた普及啓発	オリンピックが直接指導するスポーツ教室。本事業によりオリンピックを身近に感じてもらい、スポーツに対する意識と競技力の向上を図る。	子ども	4	230	341	委託	応募者・参加者の人数	230	341	A	柔道教室、走り方教室、バドミントン教室に加え、野球教室を追加実施した。	継続		3,374	2,932	4,850	スポーツ振興課
252		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	地区運動会・スポーツ大会	スポーツ大会を通じ、地域コミュニティの活性化やスポーツ実施率の向上を図るため、地域スポーツクラブや旧体力づくりへ補助金を交付する。	どなたでも	17	8000	7,953	補助	応募者・参加者の人数	8000	7,953	B	目標どおり達成できた	継続		2,079	1,782	2,079	スポーツ振興課
253		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	少年野球大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	子ども	7	500	520	共催	応募者・参加者の人数	500	520	B	目標どおり達成できた	継続		0	-	0	スポーツ振興課
254		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	卓球選手権大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	どなたでも	1	300	258	共催	応募者・参加者の人数	300	258	B	参加者が258名であったものの、市民の体力向上を図ることができた。	継続		0	-	0	スポーツ振興課
255		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民サイクリング	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	どなたでも	1	50	65	共催	応募者・参加者の人数	50	65	B	目標どおり達成できた	継続		0	-	0	スポーツ振興課
256		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	夏山登山入門	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	成人	5	50	28	共催	応募者・参加者の人数	50	28	B	参加者が28名であったものの、市民の体力向上を図ることができた。	継続		0	-	0	スポーツ振興課
257		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民インディアカ大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	成人	1	100	191	共催	応募者・参加者の人数	100	191	B	目標どおり達成できた	継続		0	-	0	スポーツ振興課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
258		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市長杯ネオテニス大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	どなたでも	1	100	114	共催	応募者・参加者の人数	100	114	B	目標どおり達成できた	継続		0	-	0	スポーツ振興課
259		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民ネオホッケー大会	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	どなたでも	1	100	43	共催	応募者・参加者の人数	100	43	B	参加者が43名であったものの、市民の体力向上を図ることができた。	継続		0	-	0	スポーツ振興課
260		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民スケート教室	競技の普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。	親子・保護者	2	50	105	共催	応募者・参加者の人数	50	105	B	目標どおり達成できた	継続		0	-	0	スポーツ振興課
261		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	TOKYO八峰マウンテントレイル	東京都自然公園利用ルールに基づき、マナー啓発を目的に開催するトレイルランニング大会	成人	1	900	930	実行委員会	応募者・参加者の人数	900	930	B	目標どおり達成できた	継続		0	-	0	スポーツ振興課
262		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	健康フェスタ 食育フェスタ	体験型ニュースポーツや体力測定・ゲームなどを通じ、健康づくりのきっかけづくりとする。	どなたでも	1	10,000人	10,579	実行委員会	参加者の満足度	参加者数の増 アンケート集計結果による「健康づくりのきっかけ」の回答5%増	参加者数 昨年度比横ばい 「健康づくりのきっかけ」のアンケート集計結果89%	B	平成29年度の84.6%から89%に延び、ほぼ達成できた。また、参加人数も1万人を超え、健康づくりのきっかけを広く市民に伝えることが出来た。	継続		2,563	1,869	2,050	健康政策課
263		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	フィットネス一般開放	気軽に運動を行うきっかけ作りを提供し、市民の健康・体力の維持向上に寄与する。	高校生以上	277	100人(1回)	26,045	市単独	応募者・参加者の人数	参加者の継続的参加及び参加人数の増加	平均参加人数 94人	B	平均参加人数が94人であり、概ね目標人数通りであった。	継続		単独予算なし	単独予算なし	単独予算なし	スポーツ施設管理課
264		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	競技一般開放	各種競技の市民の技術の習得や向上を図るとともに、安全性の高い体力増進の機会を提供する。	どなたでも	350	50人(1回)	16,973	委託	応募者・参加者の人数	参加者の継続的参加及び参加人数の増加	平均参加人数 48人	B	平均参加人数が48人であり、概ね目標人数通りであった。	継続		3,103	3,066	3,028	スポーツ施設管理課
265		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジュニア体操	初心者向けスポーツ教室の位置付けで実施する。小学生低学年向けにスポーツを始めるきっかけをつくるもの。	子ども	26	50人(1回)	前期 48人 後期 47人	委託	応募者・参加者の人数	参加者の継続的参加及び参加人数の増加	前期 48人 後期 47人	B	定員50人に対し、前期48人、後期47人の参加があり、概ね目標人数通りであった。	継続		624	624	624	スポーツ施設管理課
266		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民体力テスト	自己の体力、運動能力を測定する機会、場所等を提供し、市民の健康・体力の増進を図る。	小学1年生以上	4	50人(1回)	250	委託	応募者・参加者の人数	参加者の継続的参加及び参加人数の増加	平均参加人数 63人	B	平均参加人数が63人であり、目標人数を上回った。	継続		210	210	210	スポーツ施設管理課
267		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	一般開放	申込み不要で参加でき、自らスポーツを行うきっかけづくりと、地域交流の場を提供する。	どなたでも	1120	45	46,896	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者の継続的参加及び参加人数の増加	平均参加人数 42人	B	一般開放利用者がコース型教室へとシフトしている。今後は新規利用者獲得に向けて告知活動に力を入れる。	継続		3,000	3,955	3048	スポーツ施設管理課
268		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	コース型教室	一般開放で興味の出た種目や初めたい種目を専門的に学ぶ場を提供する。	募集内容による	852	20	18,291	指定管理者	事業の実施	定員に達する応募があること	平均参加人数 21人	B	実施回数、平均参加人数ともに目標人数を上回った。	継続		3,000	3,764	3208	スポーツ施設管理課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
269		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	日本卓球リーグと遊ぼう	施設のPR及び利用者サービス向上を目的に地域連携を図り、市民の方へ日ごろの還元イベントを行う。	子ども	1	100	92	指定管理者	参加者の満足度	参加者多数であること	定員100人のところ 参加者92人	B	参加人数は目標未達成であったが、参加者からは満足の声を多数いただいた。	継続		300	311	311	スポーツ施設管理課
270		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	体組織測定会	施設のPR及び利用者サービス向上を目的に体組組織計測を行い筋肉量、骨量等を計測し運動や食事のアドバイスをを行う。	どなたでも	0	50	0	指定管理者	参加者の満足度	参加予定人数に達する参加があること	実施なし	D	指導員の調整がつかず実施できなかった。	休止	担当職員(指導員)が異動したため。	0	0	単独予算なし	スポーツ施設管理課
271		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	各種大人向けプログラム	ミズノ(スポーツ) エスフォルタ(フィットネス) 多種多様なプログラムで、皆様の健康づくりに寄与する。	成人	580		5,097	指定管理者	応募者・参加者の人数	多くの参加者に参加していただく。 効果的なプログラムを提供する。	計画・目標通りに達成できた	B	昨年度参加総数4,124名/504回 平均参加人数8.18名→8.78名 実施回数及び、参加人数増の為	継続		単独予算なし	20915 ※14と 271合算	単独予算なし	スポーツ施設管理課
272		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	あったかホール健康教室	子どもから高齢者まで、それぞれのニーズに合った健康教室を実施し、市民の健康づくり、健康増進に寄与する。	子ども・成人	684	14,000人 (H29実績参考)	13,746	指定管理者	応募者・参加者の人数	15,000人	13,746人	B	複合施設として、環境以外に健康促進講座を継続して開催し、市民のニーズに応えている。	継続		0	0	0	北野清掃工場
273		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア元気塾ボランティア入門講座	ボランティア活動のきっかけをつくり、高齢者の社会参加促進を図る。	高齢者	8	60	25	委託	応募者・参加者の人数	修了者65人	修了者22人	B	修了者が22人であり、目標を達成できなかったものの、参加者に対しての修了者率が88%と高い数値だった。また、受講者アンケートでも好評だった。	継続		3,246 (他事業あり)	3,246 (他事業あり)	3,771 (他事業あり)	高齢者いきいき課(八王子センター元気)
274		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア元気塾コーディネーター養成講座	高齢者活動コーディネーターを養成し、高齢者の社会参加促進を図る。	高齢者	6	60	36	委託	応募者・参加者の人数	修了者65人	修了者35人	B	修了者が35人であり、目標を達成できなかったものの、参加者に対しての修了者率が97%と高い数値だった。また、受講者アンケートでも好評だった。	継続		3,246 (他事業あり)	3,246 (他事業あり)	3,771 (他事業あり)	高齢者いきいき課(八王子センター元気)
275		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護従事者育成研修	介護職員の質的向上を図る。また、介護職の魅力を学ぶ機会を提供し、介護人材の確保を図る。	成人	11	定員30名／回	42	委託	応募者・参加者の人数	延べ参加者数 人250人	述べ参加人数 227人	B	研修の内容が良かった、身についたという受講者アンケートの感想が多く、効果的な研修を行うことができた。	廃止・終了	平成31年度(2019年度)より、「介護事業所研修」として、事業の見直しを行う。	392	3,586	7,379	高齢者いきいき課
276		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	いきいき体操教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	20	284(延べ)	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度 100%	施設利用者満足度 96.3%	B	満足度は96.3%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	継続		10500 (平成30年度指定管理料)	10,500 (平成30年度指定管理料)	10,500 (平成31年度(2019年度)指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
277		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	健康体操教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	20	294(延べ)	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度 100%	施設利用者満足度 96.3%	B	満足度は96.3%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	継続		10500 (平成30年度指定管理料)	10,500 (平成30年度指定管理料)	事業番号 276に含む	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
278		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	書道教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	24	336(延べ)	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度100%	施設利用者満足度97.5%	B	満足度は97.5%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	継続		10500 (平成30年度指定管理料)	10,500 (平成30年度指定管理料)	10,500 (平成31年度指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
279		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初級ウクレレ教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	20	314(延べ)	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度100%	施設利用者満足度97.5%	B	満足度は97.5%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	継続		10500 (平成30年度指定管理料)	10,500 (平成30年度指定管理料)	10,500 (平成31年度指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
280		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	将棋入門教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	高齢者	18	20	145(延べ)	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度100%	施設利用者満足度97.5%	B	満足度は97.5%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	継続		10500 (平成30年度指定管理料)	10,500 (平成30年度指定管理料)	10,500 (平成31年度指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)
281		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	トリム体操教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・障害者	4	20	73	市単独	参加者の満足度	高齢者の生きがいづくり	毎回平均90%の参加率であった	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	継続		20	20	20	南大沢保健福祉センター
282		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	らくらくヨガ	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・障害者	4	20	79	市単独	参加者の満足度	高齢者の生きがいづくり	毎回平均98%の参加率であった	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	継続		20	20	20	南大沢保健福祉センター
283		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティアレクリエーション	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	高齢者・障害者	12	25	138	市単独	参加者の満足度	高齢者の生きがいづくり	毎回平均45%の参加率であったが、参加者の満足度は高かった	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	継続		0	0	0	南大沢保健福祉センター
284		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初めてのパソコン教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・障害者	6	5	32	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	修了者が100%であった	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	継続		190	200	210	南大沢保健福祉センター
285		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	楽しい歌声教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・障害者	12	60	652	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	毎回平均90%以上の参加率であった	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	継続		60	60	60	南大沢保健福祉センター
286	◎	2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティアパソコン初級教室	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	高齢者・障害者	1	5	6	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	修了者が100%であった	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	継続		0	0	0	南大沢保健福祉センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
287		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア絵手紙教室(前期・後期)	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	高齢者・障害者	2	24	51	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	修了者が100%であった	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。新規の受講者でも無理なく上達できることで満足度が高い。	継続		0	0	0	南大沢保健福祉センター
288		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア囲碁入門(前期・後期)	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	高齢者・障害者	2	30	61	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	修了者が100%であった	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	継続		0	0	0	南大沢保健福祉センター
289		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア子ども将棋教室	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者の生きがいの高揚、また小学生に将棋を教えることにより交流を促進する。	高齢者・こども	23	35	175	市単独	参加者の満足度	高齢者と子供の交流と将棋の普及。	毎回平均60%の参加率であった	B	ボランティアで指導している方と生きがいの高揚に効果があった。子どもからの人気も根強く、続けて参加をして上達しようという意欲を持った子どもが多数参加している。	継続		138	156	138	南大沢保健福祉センター
290		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	歌って楽しく健康づくり(前期・後期)	音楽療法を通して、一般高齢者の心身の健康を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	高齢者	2	50	56	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	終了後のアンケートで満足度が95%であった	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		288	288	288	南大沢保健福祉センター
291		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	体力アップ運動教室(前期・中期・後期)	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	高齢者	3	75	73	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	終了後のアンケートで満足度が93%であった	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		396	231	396	南大沢保健福祉センター
292		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	若さアップ運動教室(前期・中期・後期)	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	高齢者	3	75	74	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	終了後のアンケートで満足度が93%であった	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		231	224	231	南大沢保健福祉センター
293		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	健康づくりサポーター養成講座	健康づくり活動を支援する地域の人材を育成する。 (フォローアップ及びスキルアップ)	健康づくり、介護予防運動ボランティア養成講座登録者	7 9 8 120	90	107 210 185 185	市単独	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	体力測定や体操の出張講座、及び地域活動支援の回数が大横711回、東浅川681回、南大沢605回であった。	B	左記の活動回数のとおり、地域での活動の場は一定程度拡大できた。来年度はさらなる地域での活動の場を拡大を進めていきたい。	継続		72	72 60 57 34	84 41 65 72	健康政策課 大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉センター
294		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座・講演会	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	高齢者	22	110	559	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	アンケートの結果、満足度が86%であった	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		130	61	130	南大沢保健福祉センター
295		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア向けいきいき健康講座	高齢者の健康増進に寄与する	高齢者	12	240	240	指定管理者	応募者・参加者の人数	多くの参加者に参加していただく。 効果的なプログラムを提供する。	参加者240人	B	定員を超える申し込みがあった為、来年度は定員を20名→40名に変更し実施予定。参加者からは好評。	継続		120	120	240	スポーツ施設管理課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
296		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	100歳まで元気アップ運動教室	身体機能の維持、向上を図るとともに、日常生活の中に体操を取り入れ、要介護に陥ることを防ぐ。教室終了後は地域での自主化を図り、運動習慣を継続していく。	高齢者	6	120	24人	市単独	応募者・参加者の人数	申し込み者数の増加	110人、利用率91.7%	B	利用者が110人であった。教室後も運動を継続する者が多く、参加者同士の繋がりがもできた。	継続		120	120	72	大横保健福祉センター
297		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ヘルスアップ運動教室	介護が必要となる状況を予防するために、運動器の機能低下予防や、健康維持増進の具体的な運動方法を学び、運動習慣を身に付ける。	高齢者	11	330人	20人	市単独	応募者・参加者の人数	申し込み者数の増加	198人、利用率60%	B	内容に個別の理学療法士の相談があるため、教室の人数を20人に変更したため、利用者が198人で、目標を達成できなかった。しかし、満足度が高く、運動の継続化へ繋がられた。	継続		222	222	72	大横保健福祉センター
298		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	高齢者	3	120	127人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	127人、利用率105.8%	B	利用者が127人であった。講義と実習を通して、予防の必要性について理解できた。また、自身の習慣の見直しという成果が得られた。	継続		45	45	45	大横保健福祉センター
299		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	男の料理教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者	2	40	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	アンケート結果「よかった」が前後期とも100%	A	参加者の満足が得られた。料理サークルの参加希望者や今後継続的に料理をしたい人が多かった。	継続		222	222	222	大横保健福祉センター
300		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	はじめてのタブレット教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者	4	48	44	委託	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	アンケート結果「わかりやすかった」が88%	B	参加者の満足が得られた。今後タブレットを利用したい人が多かった。	継続		1,061	907	1081	大横保健福祉センター
301		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	はつらつトリム	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者	12	240	149	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	アンケート未実施	B	単発の講座につきアンケートは取っていないが、申込者は多い	継続		60	60	60	大横保健福祉センター
302		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	気軽にヨガ	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供(27年度から開始)	高齢者	10	200	156	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	アンケート未実施	B	単発の講座につきアンケートは取っていないが、申込者は多い	継続		50	50	60	大横保健福祉センター
303		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	おりがみ教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者	2	48	47	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	「よかった」と回答92%	B	90%以上の人が「よかった」と回答。	継続		100	100	100	大横保健福祉センター
304		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	トリム健康体操教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者	2	40	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	「よかった」と回答97%	A	「よかった」と回答した人が100%に近	継続		95	95	100	大横保健福祉センター
305		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ボールペン習字教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者	2	48	46	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	「よかった」と回答93%	B	90%以上の人が「よかった」と回答。	継続		100	100	100	大横保健福祉センター
306		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	らくらくヨガ教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者	2	40	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	「よかった」と回答100%	A	「よかった」と回答した人が100%	継続		100	100	130	大横保健福祉センター
307		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	太極拳教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者	1	20	20	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における「満足」の回答割合80%以上	「よかった」と回答72%	C	「受講の心得」を各回に配布し、周知を図り、満足度を高める。	継続		124	121	130	大横保健福祉センター
308		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初めてのパソコン教室	高齢者・障害者の生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者	2	20	20	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	81.3%	B	目標値を達成している。	継続		100	100	100	東浅川保健福祉センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
309		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	スキルアップパソコン教室	高齢者・障害者の生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者	2	20	20	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	86.7%	B	目標値を達成している。	継続		100	100	100	東浅川保健福祉センター
310		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	健康体操	高齢者・障害者を対象としてストレッチ体操・リズム体操を中心に、健康の維持増進と社会参加の促進を図る。	高齢者	2	240	240	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	89.9%	B	目標値を達成している。	継続		180	155	180	東浅川保健福祉センター
311		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	さわやか運動教室	高齢者・障害者を対象として、ウォーキングやボールを用いた運動を行い、健康の維持増進と社会参加の促進を図る。	高齢者	2	200	200	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	98.3%	A	目標値を達成 さらに、参加者の健康維持促進に確実につなげられた。	継続		204	203	204	東浅川保健福祉センター
312		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	水中ウォーキング	高齢者に対して、腰や膝への負担が軽い水中運動によって肩こりや腰痛予防につながると共に、健康の維持増進と社会参加の促進を図る。	高齢者	3	75	75	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	93.0%	A	目標値を達成 さらに、参加者の健康維持促進に確実につなげられた。	継続		156	156	158	東浅川保健福祉センター
313		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	はじめてのヨガ教室	高齢者の生きがいの高揚や社会参加の促進、健康の維持増進を図る。	高齢者	2	50	50	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	93.7%	A	目標値を達成 さらに、参加者の健康維持促進に確実につなげられた。	継続		100	100	100	東浅川保健福祉センター
314		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ロコモ測定会	高齢者に自らの身体機能の現状を知ってもらい、機能維持に対する普及啓発を行う。	高齢者	3	150	218	市単独	応募者・参加者の人数	利用者数の増加	145.30%	A	参加者が大幅に上回り、測定を契機に自らの健康状態を意識する機会を提供できた。	廃止・終了	「ロコモ」についての周知が達成でき、今年度より「フレイル」に力を入れるため	0	0	—	東浅川保健福祉センター
315		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座・講演会	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	高齢者	4	200	159	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	「誤嚥性肺炎予防」：95% 「女性の排泄ケア」：90% 「脳トレ講座」：100% 「健康長寿の食生活」：74%	B	目標値を達成している。	継続		90	50	90	東浅川保健福祉センター
316		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ロコモ予防講座	高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	高齢者	2	40	41	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	100%	A	目標値を達成 また、「ロコモ」が十分に周知されたので、平成31年度からセンター事業として「フレイル予防」に内容を変更する。	廃止・終了	「ロコモ」についての周知ができ、平成31年度より「フレイル」事業としに展開していく	24	14	—	東浅川保健福祉センター
317		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ゆうゆうシニア講座	健康維持やパソコンなど生活に必要な学習を提供する。	高齢者	28	1,400	1,346	市単独	参加者の満足度	満足度80%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合79.2%	B	回数の減は現役世代も受講可能なテーマについて、市民自由講座への組み替えを行ったことによる。講座満足度をおおむね達成したため左記評価とする。	継続		1,131	714	714	学習支援課
318		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	機能回復訓練	身体障害者の四肢体幹機能の回復・維持を専門的に指導訓練する。	障害者	90	750	670	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	概ね予定通り実施(90回)	B	参加者数が予定を下回ったが、リハビリを受ける利用者の体調等によるものであり、本事業を必要とする利用者は多い。	継続		2,744	4,944	2,657	障害者福祉課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
319		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ことばの教室	基本的言語発声を軌道に載せる助けとなることばの訓練	障害者	22	300	249	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	講師の外科的入院に伴い実施回数減(22回)	B	講師の体調不良により、回数が減ってしまったが、利用者への説明等をしっかりと行ったため問題なく実施ができた。	継続		434	367	450	障害者福祉課
320		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	失語症言語リハビリ教室	言語機能の障害を受けた人に対して言語訓練を実施する	障害者	60	500	424	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	概ね予定通り実施(60回)	B	失語症者にとって必要な場となっており、当事者のみならず、家族支援も行った。	継続		1,869	1,868	1,840	障害者福祉課
321		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	聴覚障害者の集い	聴覚障害者の交流と情報交換の場として開催し、併せて教養の向上を図る	障害者	4	250	270	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:291名 前年度比:92.8%	B	参加者数が昨年度に比べ少し減少したものの、年4回講師を招き、時事的な話題をテーマとしたし講演と交流会を開催し、聴覚障害者の交流と教養の向上を図った。	継続		152	155	184	障害者福祉課
322		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	七宝焼教室	豊かな色彩感覚と指先の細かな動作を通して、手先を訓練するとともに豊かな生活を築く	障害者	23	150	181	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:132名 前年度比:137.1%	B	前年度に比べ、利用者が増加した。機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	継続		36	69	36	障害者福祉課
323		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	陶芸教室	てびねりによる和陶芸を行うことで、手先の巧緻性を養うと共に土の感触を通して、情緒の安定を図る。また、色付けや絵付けを通して創造の喜びを味わう。	障害者	21	300	252	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:366名 前年度比:68.9%	C	前年度に比べ、参加者数は減となったものの、機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	継続		169	162	169	障害者福祉課
324		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	折り紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、目と手の供応動作の訓練になると共に、つくりあげる楽しさを味わう。	障害者	11	120	121	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:136名 前年度比:89.0%	B	前年度に比べ、参加者数は減となったものの、機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	継続		0	0	0	障害者福祉課
325		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	染め紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、手先の良い訓練になると共に、偶然にできる模様の面白さ、色彩の組み合わせを楽しむ。	障害者	11	60	94	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:62名 前年度比:151.6%	B	前年度に比べ、利用者が増加した。機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	継続		0	0	0	障害者福祉課
326	◎	2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ちりめん細工教室	伝統的な手芸である、ちりめん細工に親しみながら、小物などの創作活動に取り組むことで、指先の訓練と集中力や色彩感覚を養う。	障害者	4	20	37	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:39名 前年度比:94.9%	B	前年度に比べ、参加者数は減となったものの、機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	継続		78	78	78	障害者福祉課
327		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	囲碁教室	囲碁という知的ゲームを通し、知的操作力を維持、向上させる。加えて孤独になりがちな障害者に交流の場を提供し、社会性の向上に寄与する。	障害者	23	200	293	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:306名 前年度比:95.8%	B	基を通じた交流機会の提供により、豊かなコミュニケーションを図ることができた。	継続		72	69	72	障害者福祉課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
328		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	精神障害者の絵画教室	絵画制作を通じて、自然な形で話し合ったり、行動を共にすることで孤独がちであった人が再び元の生活へと自信を取り戻していくための支援をしていく	障害者	21	110	100	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度99名 前年度比:101.0%	B	「障害者文化展」に作品を出展するなど、参加者は意欲的である。他者との関わりが少ない精神障害者にコミュニケーションの場を提供できた。	継続		156	136	149	障害者福祉課
329		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	フラワーアレンジメント教室	フラワーアレンジメントを通じて、生活に潤いと明るさをもたせる。	障害者	10	180	168	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:205名 前年度比:82.0%	B	参加者は昨年度に比べ減少したものの、内容は好評であり、満足度が高かった。	継続		107	152	143	障害者福祉課
330		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	リリアン編み教室	手製の道具を使ってリリアンを編み、小物を制作し、手先の細かな動作訓練を行う。	障害者	12	60	62	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:46名 前年度比:134.8%	B	昨年度に比べ参加者も増え、障害の有無に関係なく、作品作りを通して、豊かなコミュニケーションを図ることができた。	継続		0	0	0	障害者福祉課
331		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	茶道教室(江戸千家)	日本の伝統文化にふれながら、礼儀作法や日常のマナーを身につけて、生活にゆとりと豊かさをもてるように茶の精神と技を学ぶ。	障害者	20	200	275	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:217名 前年度比:126.7%	B	前年度より多くの方が参加。肢体の不自由な障害者も参加できるよう、座ってお茶を点てられる、「立礼棚」を活用し、肢体不自由者の参加があった。	継続		120	105	120	障害者福祉課
332		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	書道教室	かな書道の基礎を着実に学習し、更に創造性と表現力を会得することで心豊かな生活を築けるよう書の心と技を学ぶ。	障害者	12	150	162	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:143名 前年度比:113.3%	B	参加者の障害は様々であるが、講師と調整し、本人の障害特性、レベルに合わせた事業実施に努めた。	継続		78	78	78	障害者福祉課
333		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ハーモニーのタペ	市民と障害者の「ふれあいの場」として行い、障害者福祉に対する理解を深めると共に、正しい発声と唱歌の技術を身につけ、日本の四季を折り込んだ心に沁みる歌をうたうことで、生活の一部として豊かな音楽性を学ぶ。	どなたでも	30	470	343	指定管理者	応募者・参加者の人数	580	343	C	目標の人数には達しなかったものの、障害の有無に囚われず、歌を通して、コミュニケーションを図ることができた。	継続		264	264	264	障害者福祉課
334		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	中途失聴・難聴者のための手話講習会(入門)	途中で失聴した人や難聴者がコミュニケーションの一手段として手話を習得し生活の中で生かしていく	障害者	20	210	317	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:300名 前年度比:105.7%	B	多くの方が参加した。講師と調整し、手話によるコミュニケーション方法の習得に加え、生活上の不安や悩みについても相談できる環境整備に努めた。	継続		370	368	410	障害者福祉課
335		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	中途失聴・難聴者のための手話講習会(中級)	途中で失聴した人や難聴者がコミュニケーションの一手段として手話を習得し生活の中で生かしていく	障害者	19	240	297	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:319名 前年度比:93.1 悪天候のため1回休講(19回)	B	悪天候により、参加者数が目標を下回ったものの、手話によるコミュニケーション方法の習得に加え、生活上の不安や悩みについても相談できる環境整備に努めた。	継続		224	250	266	障害者福祉課
336		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	中途失聴・難聴者のための手話講習会(上級)	途中で失聴した人や難聴者がコミュニケーションの一手段として手話を習得し生活の中で生かしていく	障害者	20	140	227	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:225名 前年度比:100.9%	B	多くの方が参加した。講師と調整し、手話によるコミュニケーション方法の習得に加え、生活上の不安や悩みについても相談できる環境整備に努めた。	継続		274	200	200	障害者福祉課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
337		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	見えにくくなった方の学習会	途中で視覚に障害を負った方を主な対象として、点字の学習、歩行訓練、ADL訓練を行い、日常生活の向上を図る	障害者	31	300	499	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:433名 前年度比:115.2%	B	昨年度に比べ参加者も増え、継続的に点字の学習を希望する受講生の声に応えた。	継続		393	385	463	障害者福祉課
338		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	パソコン・タブレット講習会（視覚・上肢・知的・精神・聴覚）	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す 視覚、肢体不自由、知的、精神、聴覚、中途失聴・難聴の各障害に対応	障害者	45	200	725	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	概ね予定通り実施 (45回実施)	A	予想をはるかに上回る参加者があった。 IT機器の活用方法を知りたいという障害者のニーズに対応できた。 利用者からも好評であった。	継続		1,124	1,158	1,164	障害者福祉課
339		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	パソコン・タブレット学習会	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す	障害者	36	600	996	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:545名 前年度比:182.6%	A	予想をはるかに上回る参加者があった。 IT機器の活用方法を知りたいという障害者のニーズに対応できた。 利用者からも好評であった。	継続		756	630	630	障害者福祉課
340		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	福祉講演会	講演会や映画上映会などを通して、障害者の福祉に貢献をしている方々を講演者として招き、障害者福祉の向上に寄与する	どなたでも	1	50	22	指定管理者	応募者・参加者の人数	45	22	C	目標の人数には達しなかったものの、日本語字幕、音声ガイド付きで映画上映を行い、障害者福祉の啓発に努めた。	継続		68	53	79	障害者福祉課
341		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	パソコン訪問相談	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す。 実施場所(心身障害者福祉センター)への来所が困難な障害者に対応し、ご自宅へ訪問する。	八王子市心身障害者福祉センターへの来所が困難な障害者	5	12	18	指定管理者	その他	利用者の満足度が高い	相談者からの依頼により 5回実施	B	来所が困難な方のご自宅等へ伺っての本事業は、利用者にとって必要であり、また満足度が高い。	継続		84	38	84	障害者福祉課
342		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ふれあいコンサート	「障害者週間」のイベントとして、障害者の音楽愛好家の発表の場として、また一般からの参加も促し、広く交流することで障害者福祉の啓発を図る	障害者	1	100	110	指定管理者	応募者・参加者の人数	132	110	B	音楽愛好家の障害者、福祉施設利用者、健常者等が出演し、音楽を通して交流を図った。	継続		35	33	35	障害者福祉課
343		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	夕涼み会	すぎな愛育園と共催で実施、それぞれの施設の事業と障害者福祉に果たす役割を地域に伝え、障害児・者を交えて交流を図る	どなたでも	1	400	365	指定管理者	応募者・参加者の人数	440	365	B	昨年度は緑化フェアにより中止したが、今年度の実施に喜びの声も多かった。目標人数には達しなかったが、大変好評であった。	継続		40	27	40	障害者福祉課
344		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	障害者作業所等作品展示即売会	市内作業所等の作品を展示・紹介をしながら福祉作業所等について理解を深めてもらう。また、施設で製作されたお菓子や小物の販売も行う。	どなたでも	1		約120	指定管理者	協働事業の推進	障害者施設、ボランティア団体との協力により事業周知をはかり、来場者数の増大を図る	予定通り実施(13日間)	B	開催が毎年楽しみという、市民が多数いる。出店施設の作品も多様である。	継続		0	1	0	障害者福祉課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
345		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	障害者文化展	障害当事者に対し作品発表の機会を提供すると共に、広く障害者福祉の啓発につなげる。また賞を贈り、今後の創作を奨励する	障害者	1	600	618	指定管理者	応募者・参加者の人数	660	618	B	目標には達しなかったが、出展作品は学園都市センターにて5日間展示し、618名が来場した。	継続		132	120	136	障害者福祉課
346		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	プール開放	プールを一日開放し、盛夏のひとときを楽しく過ごし、心身障害者(児)およびその介助者等の交流を深める。	障害者	1	150		市単独	応募者・参加者の人数	165	125名	B	前年度に比べ、大幅な参加者数増となった。毎年楽しみにしている障害者が多く、「来年も楽しみにしている」「続けてほしい」との声が多数挙がっている。	継続		10		10	障害者福祉課
347		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ふれあい運動会	障害者と市民との交流を通して、障害に関する理解を促進する。	障害者	1	1,000	1,200	実行委員会	応募者・参加者の人数	1,320	約1650名	B	多くの障害者、ボランティアが参加し、目標を上回った。 平成29年度からエスフォルタアリーナでの開催となっているが、雨天の心配がなく安心という声もあった。	継続		400	200	400	障害者福祉課
348		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	図画工作(知的障害者・児教室)	絵画・工作を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、知的障害者・児の生きがいと自立支援を促進する。	障害者 (愛の手帳をもつ小学生～40歳位)	1	20	20	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	毎回平均78%の参加率であった	B	センターまつりと作品展において、作品を展示し、意欲的に活動され、満足度が高い。	継続		94	91	94	南大沢保健福祉センター
349		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	リズム(知的障害者教室)	音楽療法を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、知的障害者・児の生きがいと自立支援を促進する。	障害者 (愛の手帳をもつ18歳～40歳位)	1	15	17	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	毎回平均78.1%の参加率であった	B	センターまつりでの舞台発表を行うなど意欲的であり、満足度が高い。	継続		110	98	11	南大沢保健福祉センター
350		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ぶる一む(身体障害者運動教室)	運動を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立支援を促進する。	障害者	1	15	8	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	終了時のアンケートの満足度が86%であった	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		180	165	180	南大沢保健福祉センター
351		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援のための支援者を要請する。	日本語ボランティア希望者・活動者	9	延45人	延76人	委託	応募者・参加者の人数	参加者数延45人	参加者数延76人	A	参加者数が目標を上回ったほか、参加者のアンケートにおいても良い評価を得ているため。	継続		245	245	404	多文化共生推進課
352		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	学習支援事業	学習支援指導者等に対し、基本的な知識の習得及び指導力の向上に資するために研修会を実施する。	学習支援指導者等	1	30人	17人	委託	応募者・参加者の人数	参加者数30人	参加者数17人	B	YSCで開発された指導方法や子ども達の学習成果のまとめ方など、当学習支援教室にも応用できるアドバイスをいただき好評であったが、参加者数が目標を下回ったため。	継続		52	57	94	多文化共生推進課
353		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	障害者教室	障害者の生きがいと社会参加を促進する。	障害者	21	15	106	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	100%	A	目標値を達成 また、満足度が高く、参加者の社会参加への意欲を高めることができた。	継続		174	147	174	東浅川保健福祉センター
354		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	トリム体操	障害者の生きがいづくりと社会参加を促進する。	障害者	24	1,680	延1,616人	市単独	参加者の満足度	継続して利用したい団体の割合80%	ほとんどの団体が継続を希望	B	目標値を達成している。	継続		180	161	180	東浅川保健福祉センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
355		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	国際理解講座	外国の文化への理解と外国人との交流を深め、多文化共生の推進を図る。	どなたでも	3	200	112	市単独	参加者の満足度	満足度80%以上	受講者アンケートでの「大変満足」「満足」の割合73.6%	C	おおむね予定通りの事業を実施できたが、満足度が目標値に届かなかったため。	継続		114	27	114	学習支援課
356		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	外国人のための日本語教室	市内在住・在勤・在学の外国人に初級の日本語を学ぶ機会を提供し、共生社会の推進を図る。	外国人	3	800	1,132	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。 (平成29年度 延参加者978名)	3コースの教室を103回開催 延参加者1,132名	B	目標値を達成し、日本語学習を希望するニーズに応えることができた。	継続		484	446	484	学習支援課
357		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	第28回女と男のいきいきフォーラム八王子	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すためのフォーラム	どなたでも	7	300	181	実行委員会	協働事業の推進	市民に男女共同参画について啓発する	181	B	市民実行委員と共にフォーラムを開催し、広く市民に男女共同参画について啓発することができた。	継続		300	233	289	男女共同参画課(女と男のいきいきフォーラム八王子実行委員会)
358		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	男女共同参画週間記念講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会	どなたでも	2	200	360	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	97%	A	満足度が97%と非常に高かった。講演会だけでなく、映画会も開催したことで、延べ360人と多くの方に参加していただき、男女共同参画をより効果的に啓発することができた。	継続		58	111	49	男女共同参画課
359		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	「女性に対する暴力をなくす運動」講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会	どなたでも	1	60	50	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びDVIについて啓発する	97%	A	DV講演会は例年集客が難しいが、テーマを若年層のデートDVに絞って開催したところ、昨年を上回る参加と満足度となった。	継続		35	29	39	男女共同参画課
360		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	男女共同参画の啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	どなたでも	6	470	685	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	89.4%	B	満足度は概ね90%であり、全体的に好評であった。特に、国際女性デーを記念して開催した映画会には定員を上回る申込みがあり、男女共同参画について理解を広めることができた。	継続		185	278	166	男女共同参画課
361		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	DVの啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	成人	2	315	132	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びDVIについて啓発する	87%	B	満足度は昨年度より低下したが、DVについて必要な知識を啓発することができた。	継続		161	0	32	男女共同参画課
362		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	健康・メディア	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	親子・保護者	5	184	185	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	98.2%	A	満足度が98.2%と非常に高かった。参加希望の多い講座については、再度開催することで対応し、より多くの方に参加していただけるよう工夫した。	継続		113	103	141	男女共同参画課
363		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ワーク・ライフ・バランスの啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	成人	2	260	87	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びワーク・ライフ・バランスについて啓発する	89.5%	B	毎年大人気の「父子料理」が台風のため開催でなかったこともあり、参加者数が減ってしまったが、満足度は概ね90%以上であり、好評であった。	継続		145	83	167	男女共同参画課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
364		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	就労支援	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	成人	5	239	310	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	97.2%	A	満足度が97.2%と非常に高かった。特に「女性リーダー養成講座」は今年で3年目になるが、年々申込者が増加しており、定着してきたと感じている。	継続		344	299	344	男女共同参画課
365		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	市民団体による講座	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	どなたでも	0	120	0	共催	協働事業の推進	市民団体が主体となり、市民に男女共同参画について啓発する		評価なし	共催先の団体より、今年度の開催を見送られ、実施することができなかった。	継続		48	0	48	男女共同参画課
366		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	「チャレンジ企画」支援事業	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	親子・保護者	1	48	16	共催	協働事業の推進	市民団体が主体となり、市民に男女共同参画について啓発する	100%	A	満足度は100%であった。「パパと一緒に工作と楽しい昔遊び」を開催し、父と子で一緒に楽しい時間を共有できる機会となった。	継続		32	16	32	男女共同参画課
367		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	男女共同参画情報紙「ぱれっと」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供	どなたでも	1	282,000部	281,545部	市単独	男女共同参画についての啓発	「ぱれっと」を通して、市民に男女共同参画について啓発する	281,545部発行	B	「防災対策」を特集し、広く市民に男女共同参画の視点での防災を周知することができた。	継続		1,264	1,264	1,342	男女共同参画課
368		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	「男女共同参画センターだより」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供	どなたでも	3	710	2,130部	市単独	男女共同参画についての啓発	「センターだより」を通して、市民に男女共同参画について啓発する	2,130部発行	B	「女と男のいきいきフォーラム」、「男女共同参画週間」、「DV」と各号ごとにテーマを決めて、効果的に市民に男女共同参画の啓発を行うことができた。	継続		0	0	0	男女共同参画課
369		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	学習支援のための託児	育児中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	親子・保護者	273	1,066	789	市単独	乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充	乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充	273回	B	予定どおり、乳幼児を育児中の保護者の学習機会を設けることができた。	継続		3,055	6,599	6,793	男女共同参画課
370		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	生涯学習コーディネーター養成講座	市民の生涯学習活動を支援する人材を養成する。	どなたでも	1	24人	14	共催	参加者の満足度	受講者アンケートでの満足度80%以上	100%	A	参加者全員に、満足度の高い講座を提供できた。	継続		82	82	82	生涯学習政策課
371		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話ボランティア養成	成人	34	1,100	763 17(修了)	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度:28名(修了) 前年度比:60.7%	C	目標には達しなかったが、地域の手話ボランティアを増やすため実施した。	継続		503	503	537	障害者福祉課
372		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	手話通訳者養成講座入門	手話通訳者を目指すボランティア養成	成人	68	1,400	1,704 修了者数 昼の部:21名 夜の部:25名	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度 昼の部19名 夜の部16名 前年度比 昼の部110.5% 夜の部156.3%	B	昨年度に比べ、多くの方が手話通訳者を目指し、手話によるコミュニケーションを学び修了できた。	継続		666	666	700	障害者福祉課
373		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	手話通訳者養成講座	手話通訳者統一試験合格を目指す方のための講座	手話通訳者養成講座入門修了者であり、選考試験に合格した者	30	220	257 修了者7名	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度:8名 前年度比:87.5%	B	目標値には達しなかったが、本講座を修了した方が手話通訳者統一試験に合格した。	継続		285	285	285	障害者福祉課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
374		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	入門点字講習会	視覚障害者への理解を深め、視覚障害者のための点字本等の製作の要望に応えられるボランティアを養成する(昼の部と夜の部あり)	成人	30	200	255	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:218名 前年度比:117.0%	B	昨年度に比べ参加者が増加した。地域で活躍する点字ボランティア養成のために実施した。	継続		493	493	493	障害者福祉課
375		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級点字講習会	視覚障害者への理解を深め、視覚障害者のための点字本等の製作の要望に応えられるボランティアを養成する(昼の部と夜の部あり)	成人	30	200	195 修了者4名 (昼、夜の部 各2名)	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度:6名 前年度比:66.7%	B	目標値には達しなかったが、地域で活躍する点字ボランティア養成のために実施した。	継続		493	493	493	障害者福祉課
376		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会(初級)	視覚障害者が利用する録音図書や対面朗読で対応できる朗読ボランティアの養成(初級と中級を隔年で実施)	成人	13	170	193	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	前年度:(初級)12名 前年度比:108.3%	B	市内の音訳サークルの協力のもと、講習会を実施した。	休止	平成31年度 中級実施のため休止	97	97		障害者福祉課
377		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会(中級)	視覚障害者が利用する録音図書や対面朗読で対応できる朗読ボランティアの養成(初級と中級を隔年で実施)	成人	実施なし	0		指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数		評価なし	音訳講習会の初級と中級を隔年で実施。平成30年度は初級を開講したため、中級は実施せず。	継続			120	障害者福祉課	
378		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	要約筆記者養成講習会	手話を使えない中途失聴・難聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得	成人	6	50	73	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	前回の修了者数の95%以上の修了者数	二カ年にわたる講座のため、実績値は算出できず。	B	二カ年にわたる講座のため、修了者数が現時点では不明なため、目標値に対する実績が出ないが、他自治体からも問合せがあるほど、高評価の講座である。	継続		未定	160	1,333	障害者福祉課
379		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	盲ろう通訳者・介助者養成講座	盲ろう通訳介助者の養成	どなたでも	7	60	28	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	前年度:84名 前年度比:33.3%	C	昨年度に比べ、参加者が減少した。しかし、盲ろう者支援者養成のための重要な講習となっている。	継続		619	534	633	障害者福祉課
380		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	16歳以上の初心者	1	48	35	市単独	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	終了時のアンケートでほぼ全員が理解を得られたと回答	B	講座終了後のアンケートで今後も手話の知識を深めたいという参加者が多数であった。	継続		537	537	528	南大沢保健福祉センター
381		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	初級修了者または同程度の技術を持つ方	1	24	19	市単独	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	終了時のアンケートでほぼ全員が理解を得られたと回答	B	講座終了後のアンケートで今後も手話の知識を深めたいという参加者が多数であった。	継続		350	350	350	南大沢保健福祉センター
382		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	16歳以上の初心者	1	16	19	市単独	参加者の満足度	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	終了時のアンケートで87%が理解を得られたと回答	B	音訳を通じて、視覚障害者への理解が深まり、より高度な技術を習得しようとする次のステップの講座を受講したいという声が多数あった。	継続		86	86	124	南大沢保健福祉センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
383		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成する。	成人	4	30	37	市単独	協働事業の推進	毎年30名養成していく	37名	B	30名養成目標のところ、37名の養成を達成できた。地域で健康づくりを推進する人材が増加した。	休止	サポーターが131名となり、隔年で活動支援の年を設け、サポーターの底上げを行う。	0	327	464	健康政策課 大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉センター
384		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	住民主体サービス担い手養成研修	地域の互助による生活支援を推進するため、その担い手となる住民を対象に、前提となる基礎知識等を習得する研修を実施することで、安心かつ信頼性のあるサービス提供を行うとともに、活動の周知や担い手の拡充を図る。	どなたでも	5	40	160	市単独	応募者・参加者の人数	・養成研修 4回 40人 ・フォローアップ研修 1回 100人	・養成研修 4回 49人 ・フォローアップ研修 1回 111人	A	年4回の研修に加え、これまでの受講者を対象にフォローアップ研修を開催し、互助活動への参加や活動内容の充実を図った。	継続		852	401	765	高齢者福祉課
385		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地域包括ケアシステムシンポジウム	シンポジウムの開催を通じて地域の自助・互助による生活支援体制の必要性について普及啓発するとともに、住民の地域活動への参加意識の醸成を図り、地域包括ケアシステムを推進する。	どなたでも	1	150	260	市単独	応募者・参加者の人数	1回 150名	1回 260名 (前年度から125名の増)	B	効果的な事業実施の観点から、高齢者いきいき課で行う「介護の日」のイベントと合同で開催したため、来場者が増加した。	継続		115	38	118	高齢者福祉課
386		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	交通安全市民の集い	全国交通安全運動の一環として開催し、交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故防止を図る。	どなたでも	1	1,000	600	共催	協働事業の推進	前年度以上の参加者とする。	600人	B	平成31年(2019年)春の全国交通安全運動が5月に実施されることとなり、事前運動である春の交通安全市民の集いの開催が1ヶ月前の平成31年4月になったため、実施回数が1回となったものの、1回あたりの参加人数としては例年並みとなった。	継続		151	127	153	交通事業課
387		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	傾聴ボランティア講座	傾聴ボランティアの養成	成人	3	180人	141人	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果における「講座内容」について「よい」の回答90%以上	90%	B	アンケート集計結果において「よい」との回答が90%であった。講座内容の充実を通じて、傾聴ボランティアの養成という成果が得られた。	継続		135	126	478	福祉政策課 (社会福祉協議会)
388		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民センターまつり、福祉まつり、手作り作品展への参加	ボランティア活動をPRし、活動に対する市民の関心と参加を高める	どなたでも	9		約800人	補助	参加者の満足度	作品数を充実させる	ボランティアグループの手芸作品の作品数を増やした。	B	ボランティア活動PRグッズとしてボランティアグループの手芸作品の作品数を増やすことで、活動に対する市民の関心を高めるという成果が得られた。	継続		5	9	10	福祉政策課 (社会福祉協議会)
389		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	精神保健福祉ボランティア講座	精神障害者を支援するボランティアの養成	成人	2	50名	54人	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果における「講座内容」について「よい」の回答90%以上	79%	B	アンケート集計結果において「よい」との回答が79%であり、目標を達成できなかったものの、受講者数は予想を上回る54名であったことからボランティアの裾野の拡大という成果が得られた。	継続		168	103	176	福祉政策課 (社会福祉協議会)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】						今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)						
								予定	実績												
390		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの円滑な運営	どなたでも	1	100人	88人	補助	応募者・参加者の人数	町会・自治会へのPRを行い参加者を増やす	町会・自治会へのチラシを配布した	B	町会自治会へのチラシ配布をした。参加者は88人であったが、災害ボランティアリーダーの養成という目的は一定程度達成できた。この他にも広報はちおうじに初めて募集記事を掲載し、周知拡充に努めた。	継続		78	28	71	福祉政策課 (社会福祉協議会)
391		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	里山サポーター育成講座	戸吹第二最終処分場用地を、環境意識啓発の学習の場として活用し、環境保全活動に携わる人材育成を行う。	どなたでも	1	15	10	委託	協働事業の推進	講座修了者の里山保全活動の継続	環境保全団体新規加入者1名 フォロー講座2回実施、延べ8名参加	B	修了者向けのフォロー講座を2回実施し、里山保全活動の継続を促した。来年度は修了者向けのステップアップ講座を開催し修了生の更なる技術向上を図る。	継続		886	886	1788	環境政策課
392		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	外国人のための防災訓練 (立川防災館)	地震などの災害に不慣れな外国人に、防災訓練を体験し、災害への対応を身につける機会を提供する。	外国人	1	23人	7人	市単独	応募者・参加者の人数	参加者数23人	参加者数7人	C	参加者が少なく、実施時期及び周知方法を検討する必要がある。	継続		2	0	0	多文化共生推進課
393		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成する。	健康づくり、介護予防運動ボランティア養成講座登録者	1	30人	8	市単独	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	健康に関する知識の幅が広がり、地域での活動の場が拡大	B	健康に関する知識の習得という成果が得られた。活動の場での知識の活用が広がっている。	継続		0	0		健康政策課 大横・東浅川・南大沢保健福祉センター
394		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会 (夜間)	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	成人	1	50	44	市単独	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	受講者の70%以上	28人(63. 6%)修了	B	70%の達成率であるが、60%超の修了者を出すことができ、聴覚障害者に対する理解を深めることができた。	継続		537	537	537	東浅川保健福祉センター
395		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	成人	1	40	33	市単独	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	受講者の70%以上	29人(87. 9%)修了	B	目標値を達成している。	継続		537	537	537	東浅川保健福祉センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
396		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	健康づくり活動を支援する地域の人材を育成する。 (フォローアップ及びスキルアップ)	健康づくり、介護予防運動ボランティア養成講座登録者	8	220	185	市単独	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	体力測定や体操の出張講座及び、地域活動支援の回数が669回であった。	B	目標値を達成している。	継続		85	57	85	東浅川保健福祉センター
397		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	あったかホール職場体験	館内施設スタッフの就業体験を通じて、働く事の意義や尊さを学び、社会性、協調性を養う場を提供する。	成人	7	35人 (H29実績参考)	37	指定管理者	応募者・参加者の人数	40人	37人 (5.7%増)	B	学校のニーズに基づく事前準備や調整についてほぼ予定通り実施できた。	継続		0	0	0	北野清掃工場
398		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地域防犯リーダー養成講習会(フォローアップ研修会)	地域の防犯活動の充実	成人	1	212(本講習100+フォロー92)	99	委託	応募者・参加者の人数	町会等当たりの平均防犯リーダー数がH34年度までに3人	30年度実施時点で、町会等当たりの平均防犯リーダー数 2.0人	B	地域防犯の強化のため、引き続き町会、自治会に参加の働きかけを行う。	継続		516	409	477	防犯課
399		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	八王子城跡ガイドボランティア	市民と協働の場を設けて文化財の活用を行うことで、郷土愛の醸成及び本市文化財の普及を図る。	どなたでも		-		共催	協働事業の推進	ガイド案内延人数1,200人	5,295人	A	目標を大きく達成するとともに、ガイドに関する問い合わせや受付件数の増加、見学者からお礼のメールをいただくこともあり、見学者から好評を得ていると判断したため。	継続		9	9	13	文化財課
400		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	ガイドボランティアによる自主事業	ガイドボランティアが中心となり、館内展示・イベントの充実を図る。	どなたでも	-	未定		市単独	協働事業の推進	ボランティアとの協働事業を増やす	ボランティアとの協働事業を増やした。	A	常設展について、ガイドボランティアの意見を反映した展示替えを実施することで、よりよい展示を実現した。ガイドボランティアの有志が結成している紙芝居会が、紙芝居「大久保長安」を完成させた。史実の確認等で郷土資料館学芸員が協力することができた。	継続		12	0	0	文化財課 郷土資料館

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
401		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	郷土資料館ガイドボランティア	郷土の歴史を学んだ市民に実践の場を提供し、郷土愛の醸成を図る。	成人	-	21	23	市単独	参加者の満足度	ボランティアにより多くの活動の場を提供する	ボランティアにより多くの活動の場を提供した。	B	日々の活動で得た知識・スキルを発揮する場として、常設展示ガイドの内容検討や体験学習の企画提案や運営に参加する機会を提供するなど郷土資料館で得た知識や経験を発揮する場を提供した。	継続		-	7	12	文化財課 郷土資料館
402		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	はちおうじ市民塾	これから定年される方や定年を迎えた方を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりとする。	概ね50歳以上の方	1	25	21	委託	その他	平成29年度末で、102人が市民活動に参加。	平成29年度末で、111人が市民活動に参加。	A	講座の受講者は毎年度入れ替わり、町会・自治会をはじめ、市民活動の中心的な役割を担う人材を生み出している。	継続		3,789	3,771	3,812	協働推進課
403		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動スキルアップ講座	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	1	未定	53	指定管理者	応募者・参加者の人数	50人	53	A	「NPO法人設立の基礎」をテーマに講座を行い、多くの参加者があり、市民活動に対する関心の高さが伺え、センター設置の趣旨に合致するため。	継続		指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
404		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動入門講座(アクティブ市民塾)	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	6	180	105	指定管理者	応募者・参加者の人数	180人	105	B	参加者は、目標人数を下回ったが、講座の定員を上回る申し込みと受け入れを行ったため。	継続		指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
405		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	お父さんお帰んなさいパーティー	主にシニア世代を対象に、市民活動に関する講演や団体の紹介を行うなど、地域での活動に参加するきっかけづくりとする。	どなたでも	2	500	420	実行委員会	その他	①74名 ②372団体	①地域活動を見つけるために、初めてイベントに参加した人数 ②地域活動に興味を持った団体数	A	イベント参加者は、当初計画を下回ったものの、地域活動を探す、新規のイベント参加者が多かったため。	継続		200	200	215	協働推進課(八王子市民活動協議会、市民活動団体等)
406		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動支援講座	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	11	未定	221	指定管理者	その他	受講者のレベルアップを図る	受講者のレベルアップを図った。	A	団体ニーズに応えた講座により、団体のレベルアップが図られたため。	継続		指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
407		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	コミュニティ講座	地域住民の交流の場づくり、地域コミュニティの育成を図る。	どなたでも	8	100	422	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす	8回 422人	A	前年度の参加人数(349人)を大きく上回り、地域コミュニティの活性化が図られたため。	継続		215	215	270	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団)
408		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	各地域住民協議会運営助成	センターまつり等を通じ、コミュニティ活動の育成・活性化を目指す。	どなたでも	18	-	96,128	補助	応募者・参加者の人数	17協議会 90,000人	17協議会 96,128人	B	目標値を達成したため。	継続		14,794	14,794	14,794	協働推進課(各地域住民協議会)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
409		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地区図書室運営事業	地域の住民参加により、読書活動と地域住民の交流促進を目指す。	どなたでも	—	—	—	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	47,657人	B	前年度の利用者数(52,831人)を下回ったが、①石川市民センターの大規模改修工事に伴う地区図書室の閉室(平成30年8月27日～平成31年1月14日)②恩方市民センター地区図書室が図書館化のため、平成30年末で閉室しており、全体的には地区図書室の活性化に寄与したものと考えられるため。	継続		15,656	15,656	15,329	協働推進課 (各地域住民協議会等)
410		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	第7回東京都高等学校吹奏楽の響演～響き渡る～	都内の高校を代表する吹奏楽団を有する街、八王子。その高校生達と協働して質の高い音楽公演の提供をする。	どなたでも	1	1,600	来場者1,426人 出演者440人	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度80%以上	アンケート満足度97.1%	A	目標値を超える実績値であり、高い水準であったため。	継続		1,600	1,638	1,600	学園都市文化課(共立・NTTファシリティーズ共同事業体)
411		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	サタデーパークボランティア	幅広い世代を対象に里山の管理体験を経験してもらい、みどりの保全管理技術の習得を目指す。	成人	21	76	119	指定管理者	協働事業の推進	里山が抱える問題意識を共有する市民を一人でも多く育てること。	予定回数、参加者ともに上回る成果を得られた。	A	参加者が119人であった。加えて、事業目標についても、里山の保全活用を担う市民の育成を推進した。	継続		2	0	2	公園課(ひとまちみどり由木)
412		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	職場訪問、職場体験、その他研修の受け入れ	科学館事業や運営実務の学び・体験を通じて、訪問者の知識の向上を図る。	子ども	7	20	27人	市単独	参加者の満足度	体験や実習の内容に対する満足度の割合80%以上	満足と回答した人の割合85%	B	満足度は目標値を超え85%であった。職場体験・職場訪問(中学生)、インターンシップ・博物館実習(大学生)、教員研修で計18名を受け入れたほか、市と東京工科大学との協定による学生ボランティア9名を受け入れた。職場体験では「プラネタリウムを操作したことが記憶に残った。」などの感想をいただいた。	継続		0	0		こども科学館
413		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など子どもたちの健全育成を図る。	子ども	1	128人	136人	委託	応募者・参加者の人数	128人	136人	B	各学校から集まった参加者と対局することにより、勝つ喜び、負けるくやしさを、相手を思いやる気持ちや礼儀作法を体得するとともに、伝統文化の普及に一助を担った。	継続		473	471	484	生涯学習政策課
414		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	第15回生涯学習フェスティバル	市民が自ら学習活動を行うきっかけづくりと、学びあう交流の場を提供する。	どなたでも	1	5,500人	4808人	共催	応募者・参加者の人数	5,000人	4808	B	おおよそ目標通りの人数を集客できた。	継続		63	23	63	生涯学習政策課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)			
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)	
予定	実績																					
415			3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	市内高等学校吹奏楽部等の練習成果の発表会を市民を対象に実施し市民文化活動・文化交流の一助とする。	どなたでも	1	2,300名	2,300人	共催	応募者・参加者の人数	2,300人	2,500人	B	目標を超える市民の来場があった。高校生が演奏だけではなく、司会や裏方など多方面で活躍し、日ごろの成果を発表した。	継続		321	321	321	生涯学習政策課
416			3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市消防団音楽隊演奏会	消防団員の日頃の訓練成果を披露し、消防・防災意識の高揚を図る。	どなたでも	1	800	800	市単独	応募者・参加者の人数	800名	800	A	いちょうホールで満員の入場があった	継続		233	227	233	防災課 八王子市消防団
417			3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市消防団出初式	消防団員の日頃の訓練成果を披露し、消防・防災意識の高揚を図る。	どなたでも	1	2000	2000	市単独	応募者・参加者の人数	2000名	2000	A	天候が心配された中多くの来場者があった	継続		4,016	3,962	4057	防災課 八王子市消防団
418			3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市総合防災訓練	各機関相互の協力体制確立及び地域住民の防災対策の習慣化を図る。	どなたでも	1	2000	2058	共催	事業の実施	多摩ニュータウン地域の特性を考慮した訓練を実施し、地域住民の防災意識の向上を図る。	2058	A	庁内、防災関係機関及び町会・自治会等からの参加があった。	継続		2,250	1,988	2243	防災課
419	◎		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	公開講座【生活に役立つシリーズ：自分を知ることから始まる人との付き合い方】	現代社会において、自分の性格を分析し、認識することにより相手との円滑な関係を構築する。	どなたでも	1	20人	8	市単独	参加者の満足度	アンケート集計表からの高評価	参加者8名中、6名の方からアンケートで「満足」の評価 75%	A	実際に講座に参加した方は、予定者数と比べ少ないが、講座に参加された方からは、「興味深い講座である」との声が多くあり、この講座へのニーズが確認できた。次年度は、参加者数を更に増やしていきたい。	継続		計上無	計上無	計上無	八王子市立看護専門学校
420			3-②	学びの成果を活かす機会の充実	農業体験事業 (①親子農業ツアー、②じゃがいも掘り、③さつまいも掘り、④農業にふれあう稲作体験)	農業にふれあう場を提供し生産者と市民との交流促進を図り、都市農業に対する理解を深める。	親子・保護者	1	①40名 ②60名 ③60名 ④50名	① 42名 ②137名 ③ 62名 ④121名	補助	応募者・参加者の人数	①40名 ②60名 ③60名 ④50名	① 42名 ②137名 ③ 62名 ④121名	B	目標を達成できた。	継続		①12千円 ②0 ③0 ④186千円	① 10 ② 0 ③ 0 ④182	197	農林課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
421		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	林業体験事業(クリスマス作り)	林業にふれあう場を提供し、八王子市林業研究会と市民との交流促進を図り、林業に対する理解を深める	どなたでも	1	20	28名	委託	応募者・参加者の人数	20名	28名	B	目標を達成できた。	継続		130	130	132	農林課
422		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市立小中学校合同作品展「おおるい展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。	どなたでも	1	来場者集12,000人程度	12,430	共催	参加者の満足度	90%	99%	A	参加者へのアンケートの結果、おおり展を鑑賞して「とても良かった」71.5%、「良かった」27.9%となっており、99.4%が満足しているため	継続		2,740	2,193	2769	指導課
423		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	スマホ・タブレットとパソコン祭り	ボランティア団体と連携して初心者向けの講座を実施することにより、市民のICT利活用促進を図る。	どなたでも	1回	200人程度	200人程度	共催	応募者・参加者の人数	参加者数200人	参加者数200人	B	IT関連講座の回数を増やしたことにより、講座への参加者が増加した。しかし、実演コーナーへの来訪者は減少したことから、講座への参加者数を確保しつつ、実演コーナーへの来訪者をいかに確保するかが課題である。	継続		36	36	36	情報管理課 (ボランティア団体)
424		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	あさかわ写真コンクール	浅川の魅力についての認知度向上及び水辺に近づく動機づけ	どなたでも	1	150	144	共催	応募者・参加者の人数	200	144	B	毎回多くの作品が応募され、今回も昨年度と同様に407点の作品から、市長賞、最優秀賞、優秀賞等が決定され、市役所本庁舎ロビーや八王子駅南口総合事務所などで、多くの市民の方たちに浅川の魅力を写真をとおして伝えることができた。	継続		367	430	650	水環境整備課
425		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	青年ライブステージ	若者が日頃取り組んでいる音楽活動などの学びの成果を発表をとおし、団体や来場者との交流を深める。	青年	1	800	789	共催	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。 (平成29年度 参加21団体254名、観覧者674名)	参加21団体215名、観覧者574名)	B	台風接近日という不可抗力があったものの、おおむね目標値を達成できた。	継続		0	0	0	学習支援課
426		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	フレスコギャラリー	生涯学習センター南大沢分館を利用している団体が日頃の成果を発表するとともに、来館者の生きがいにつなげる。	どなたでも	展示スペース2か所で年間延141日利用	0	-	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。 (平成29年度 8団体が延べ112日間利用。)	展示スペース2か所で9団体 年間延141日利用	B	施設利用者の学習成果の発表の場として、前年度と同様の事業水準を維持したため。	継続		0	0	0	学習支援課
427		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	ギャラリー川口	主に生涯学習センター川口分館を利用している団体が日頃の学習成果を発表することで、生きがいにつなげるとともに、来館者の学習のきっかけづくりを図る。	どなたでも	展示スペース2か所で年間延439日利用	0	-	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。 (平成29年度 24団体延538日利用)	展示スペース2か所で19団体 年間延439日利用	B	施設利用者の学習成果の発表の場として、前年度と同様の事業水準を維持したため。	継続		0	0	0	学習支援課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
428		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	南大沢コミュニティオペラコンサートとワークショップ	市民に身近な場所でオペラを作り上げる機会を提供し、芸術への市民参加と芸術の普及を促進する。	どなたでも	公演2回 ミニ公演2回 合奏WS22回	参加者140人 入場者800	公演入場者881 公演参加者124 ミニ公演入場者延べ110 その他WS等延べ1,052	補助	応募者・参加者の人数	・参加者が体験できる機会の増 ・チケット販売80%以上 (800枚/1,000枚) ※2回公演	・参加者が体験できる機会の増 ・チケット販売88% (881枚/1,000枚) ※2回公演	A	目標を超える入場者数であったため。 制作を学ぶプログラムを充実し、制作への大学生の参加機会を増やした。 (制作インターン29年度延16人⇒30年度22人)	継続		9,667	9,586	3,184	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
429		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	シアターPJ演劇公演	財団のワークショップから誕生した市民劇団を支援する。	どなたでも	2	未定	出演者8人 入場者339	補助	応募者・参加者の人数	収支の安定に十分なチケット販売 ※販売可能席数未定	チケット販売342枚につき、全体支出の31%充当	B	目標が満足度90%以上であるのに対し、82%であったため。 さらにPRをして市民のファン層を広げる。	継続		268	205	268	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
430		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子地域合同学園祭学生天国	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生で構成する学生委員会が、学生同士や市民の方々との交流を目的とし開催する。	どなたでも	1	来場者数30,000人	23,000人	補助	応募者・参加者の人数	来場者数30,000人以上	23,000人	B	例年同様に、コンソーシアムのWebサイトの他、フェイスブック等のSNSで周知、前回参加団体に参加依頼を行うとともに、加盟校、市関係施設、町会、商店街等にポスター・チラシを配布した他、大学等連携部会や産学公連携部会で各大学等に案内した。当日午後の天候急変の影響により、途中で中止となり、来場者数は例年よりも少ない結果となった。	継続		2,588	2,588	2,588	学園都市文化課(八王子学生委員会)
431		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	いちようホールロビーコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	44	2,000	出演者256人 入場者2,952	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数2,000人以上	入場者数2,694人	A	目標値を達成することができた。 リピーターが増え、定着化が進んだ。	継続		69	51	147	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
432		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	ステップアップコンサート	ロビーコンサート出演者の活動の場を広げる一助とするとともに、市民に様々なジャンルの音楽に親しめる機会を提供する。	どなたでも	1	180	出演者12人 入場者117	指定管理者	参加者の満足度	参加者(入場者)満足度95%以上	無回答を除き、97%がとても良かった・良かったと回答	B	目標を達成することができたため。 出演者の知人やロビーコンサートのリピーターが来場してくれたため、満足度が高かったと考えられる。	継続		140	155	142	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
433		3-②	学びの成果を活かす 機会の充実	南大沢文化会館ロビーコンサート	日頃より研鑽を積んでいる演奏者に活動の場を提供するとともに、市民に気軽に良質な音楽を楽しめる機会を提供する。	どなたでも	44	50	2952	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 延べ2,000人以上	参加者数 延べ2,952人	A	地域の方々に馴染みの事業になっており、楽しみにしていただいている方も増えてきた。	継続		無料	無料	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
434		3-②	学びの成果を活かす 機会の充実	青少年のための南大沢音楽祭	地域の児童・学生に日頃の音楽活動の発表の場を提供し、地域の住民に芸術文化を鑑賞する機会を提供する。 また、ホール舞台上での演奏体験により文化芸術への意識醸成を図る。	どなたでも	1	1,500	1,700	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度 90%以上	アンケート満足度 99%	B	青少年地区委員会Fブロックと協働し、地域ぐるみの音楽祭を実施した。 また、延べ1,700名を超える観客動員があった。	継続		396	395	392	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
435		3-②	学びの成果を活かす 機会の充実	写真展 東由木の365日	多摩ニュータウンとは縁遠いと思ってしまうような言葉「さと」、探してみればたくさんの「さと」がここにありました。 公募により東由木地区の公園や緑地で撮影された、みなさまの作品を展示する。	どなたでも	1	未定	2024	指定管理者	参加者の満足度	長池公園の付加価値として、一定程度の新規の来園者が集うこと。	2024人 アンケートにて満足と回答した人 80%	B	参加者は目標を達成できたものの、新規の来園者の獲得には繋がらない結果となった。	休止	継続事業であるが31年度(2019年度)については展示企画を変更	3	0	0	公園課(ひとまちみどり由木)
436		3-②	学びの成果を活かす 機会の充実	ヴェルディレクイエムプレコンサート(八王子音楽祭)	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	どなたでも	1	250	参加者122 入場者270	補助	応募者・参加者の人数	入場率 68%以上 (340人/500人)	入場率 92% (461人/500人)	A	目標値を大幅に超える入場率となり(達成率135%)、多くの市民に合唱団の活動を周知することができたため。 練習時から参加者に声掛けを頻繁に行い、家族・知人等呼びこんだ。	継続		536	461		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
437		3-③	市民との協働による地域の活性化	消費生活フェスティバル	消費生活に関する情報を体験や遊びを通して消費者に提供し、消費者団体等とともに交流と啓発を図る。	どなたでも	1	1000	498	共催	協働事業の推進	関係団体と連携し、効果的な啓発を実施する。	アンケート回答者の85%が高評価	B	関係団体と連携し、充実した内容となった。来場者のアンケートも概ね好評であった。来場者も予定より多く幅広い年代の市民に対して消費生活に関する情報提供と啓発が図られた。	継続		165	89	99	消費生活センター
438		3-③	市民との協働による地域の活性化	地区まちづくりフォーラム	「地区まちづくり推進条例」の周知及び条例の活用促進を図る。	成人	1	20～30	84	市単独	その他(地区まちづくりについて、協議会等が成果を発表し、相互交流する機会の獲得。条例の周知活用を促す)	参加予定者のうち、半程度新規参加者の獲得増	84人 アンケートの満足度97% 参加者による作品への「いいね!シール数」の合計110	A	参加予定数を大幅に上回る参加があった上に、アンケートにおける満足度も大変高かったため。	継続		87	66	87	まちなみ景観課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】						今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)						
								予定	実績												
439		3-③	市民との協働による地域の活性化	都市景観セミナー	市民と行政の協働による魅力ある景観づくりを推進する。	成人	1	30	15	市単独	参加者の満足度	参加予定者のうち、半分程度新規参加者の獲得増	15人 アンケートの満足度93%	C	アンケートにより、周知方法に一部足りない情報があつたと知った。今後の周知に反映させたい。	継続		47	46	47	まちなみ景観課
440		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子市防犯・防災フェア	市民の防犯・防災意識向上を目的として開催する。	どなたでも	1	1,600	1,600	市単独	応募者・参加者の人数	1,600名(前回1,500名)	1600名	A	スタンプラリーへの参加や各種イベントの観覧など多くの来場者があつた。	継続		328	193	339	防災課
441		3-③	市民との協働による地域の活性化	戸吹クリーンフェスタ	地元企業・町会、戸吹地域関連所管が一体となって環境啓発をし、清掃処理施設への理解を深める機会を提供する。	どなたでも	1回	1,490人 (平成29年度実績)	2,000名	実行委員会	応募者・参加者の人数	参加者の増加	2000名	B	目標値を達成できたため	継続		114千円	114千円	216	戸吹クリーンセンター
442		3-③	市民との協働による地域の活性化	ダンボールコンポスト講習会の開催	可燃ごみの約半分を占める生ごみの減量・資源化を図る	どなたでも	36回	500人	420人	委託	応募者・参加者の人数	年間30回開催 参加者500人	年間36回開催 参加者420人	B	講習会の回数を増やし、参加者の増加を図ったが、目標人数には届かなかった。	継続		5,526	5,460	5670	ごみ減量対策課
443		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子環境フェスティバル	市民及び事業者の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、その活動を行う意欲を高める	どなたでも	1	57,000	58,000	実行委員会	応募者・参加者の人数	57,000人	58000人	B	来場者数が目標値を上回り、より多くの方に環境について関心を持つ機会を提供することができたため。	継続		800	800	700	環境政策課 (八王子環境フェスティバル実行委)
444		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子国際交流フェスティバル	国際理解を深めることを目的に、気軽に国際交流の場として、多くの方に異文化に接する機会を提供する。	どなたでも	1	1,350人	1350人	補助	応募者・参加者の人数	来場者数1,350人	来場者数1,350人	A	昨年に引き続き多くの来場者があり、また、スタッフとして外国人や学生が活躍した。異文化交流やグリーンツェン市学生交流報告、JICAの海外技術協力の報告のほか、外国人支援を行う市内のボランティア団体などの活動成果の展示などもあり盛況であつた。	継続		390	393	330	多文化共生推進課 (八王子国際交流フェスティバル実行委員会)
445		3-③	市民との協働による地域の活性化	外国人留学生の高齢者施設訪問	外国人留学生が高齢者施設を訪問し、自国の文化を紹介しながら交流を深める。	外国人留学生	3	15人	13人	市単独	応募者・参加者の人数	参加者数15人	参加者数13人	B	高齢者施設参加留学生には好評であつたが、参加者数が目標を下回つたため。	継続		4	4	4	多文化共生推進課
446		3-③	市民との協働による地域の活性化	海外友好交流都市写真展	本市の海外友好交流都市の写真等の展示により、各友好交流都市について、市民へ周知を図り、知識を深める。	どなたでも	1	4,000人	3482人	市単独	応募者・参加者の人数	来場者数4,000人	来場者数3,482人	B	写真展の内容はおおむね好評であつたが、来場者数が目標を下回つたため。	継続		165	94	129	多文化共生推進課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
447		3-③	市民との協働による地域の活性化	あったかホールまつり	あったかホールまつりに参加してもらい、見学・工場の仕組み(廃棄物の処理)・環境教育全般(社会・自然環境)についての学習機会の提供を図る。	どなたでも	1	20,000人 (H29実績)	16,478	実行委員会	応募者・参加者の人数	18,000人	16,478人 (8.5%減)	B	市民との協働・連携によるまつり運営の充実が図られている。(30年度は降雨により来場者が減少した。)	継続		0	0	0	北野清掃工場
448		3-③	市民との協働による地域の活性化	あったかホールフリーマーケット	出品物を家庭の不用品のみとすることで、市内のごみ削減を目指し、市民の自主的なリユースを推進。	どなたでも	16 (屋内12・屋外4)	17,000人 (H29実績参考)	12,866 (屋内:2,882、屋外:9,984)	指定管理者	応募者・参加者の人数	18,000人	12,866人 (28.6%減)	C	指定管理者の環境啓発事業として実施。集客のために同時開催のイベントや市内事業者の模擬店を誘致する等、充実を図っている。(屋外フリーマーケットは天候の影響により目標を下回った)	継続		0	0	0	北野清掃工場
449		3-③	市民との協働による地域の活性化	南大沢総合センターまつり	生涯学習センター南大沢分館を利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表することで、地域の活性化につなげる。	どなたでも	1(2日間)	1,600	1,577	共催	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。 (平成29年度 2日間開催 延参加者1,490名)	2日間開催 延参加者1,577名	B	施設利用者の学習成果の発表の場として、前年度と同様の事業水準を維持したため。	継続		0	0	0	学習支援課
450		3-③	市民との協働による地域の活性化	川口やまゆり館まつり	生涯学習センター川口分館を利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表することで、地域の活性化につなげる。	どなたでも	1(2日間)	2,000	1,840	共催	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。 (平成29年度 2日間開催 延参加者2,016名)	2日間開催 延参加者1,840名	B	施設利用者の学習成果の発表の場として、前年度と同様の事業水準を維持したため。	継続		0	0	0	学習支援課
451		3-③	市民との協働による地域の活性化	地区図書室運営研修講座	中央図書館と連携(共催)し、地区図書室の活性化を図る。	地区図書室担当者	1	32	28	補助	その他	中央図書館職員を講師とする研修への参加者数	28人	B	前年度の参加者数(26人)を上回ったため。	継続		地区図書室運営事業補助の中で実施	地区図書室運営事業補助の中で実施	地区図書室運営事業補助の中で実施	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団)
452		3-③	市民との協働による地域の活性化	住民協議会主催講座等助成	住民協議会が主催する講座の開催を助成し、コミュニティの活性化につなげる。	どなたでも	8	—	463	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	463人	B	前年度の参加者数(816名)を下回ったが、大規模改修に伴い休館していた市民センターがあったことを考慮すると、コミュニティの活性化が図られたと考えるため。	継続		389	389	360	協働推進課(各地域住民協議会)
453		3-③	市民との協働による地域の活性化	住民協議会連携事業	地域住民協議会の活動を周知し、地域の活性化を目指す。	どなたでも	1	1,200	985	共催	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	985人	A	前年度の参加者数(79人)を上回ったため。	継続		211	211	261	協働推進課(各地域住民協議会・学園都市文化ふれあい財団)
454		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子まつり	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚 市制100周年に向けた環境整備	どなたでも	1	775,000	730,000	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	730,000人	B	猛暑のため、前年度の参加人数(850,000人)よりも減少したが、地域コミュニティの育成・活性化に寄与したため。	継続		41,950	41,950	41,950	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・八王子まつり実行委員会)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
455		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子いちよう祭り	「甲州街道のいちよう並木」を活かし市民の熱意と創意工夫により開催されるお祭り	どなたでも	1	522,000	520,000	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	520,000人	B	前年度の参加人数(503,000人)よりも増えたため。	継続		6,000	6,000	7,000	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・いちよう祭り祭典委員会)
456		3-③	市民との協働による地域の活性化	フラワーフェスティバル由木	由木地域の活性化とコミュニティづくり	どなたでも	1	119,000	118,000	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	118,000人	B	前年度の参加人数(115,000人)よりも増えたため。	継続		4,000	4,000	4,000	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・フ
457		3-③	市民との協働による地域の活性化	踊れ西八夏まつり	商店会、町会が一体となり、地域コミュニティの育成・活性化を目指す	どなたでも	1	48,000	47,000	補助	応募者・参加者の人数	前年度より参加人数を増やす。	47,000人	B	雨天のため、前年度の参加人数(65,000人)よりも減少したが、地域コミュニティの育成・活性化に寄与したため。	継続		1,500	1,700	1,500	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・踊れ西八
458		3-③	市民との協働による地域の活性化	野草観察会	小仏川沿いの野草の観察を通して、野草の保護活動の推進	どなたでも	3	30	75	共催	協働事業の推進	参加人数60人	参加人数88人	A	地域団体との協働を推進し、3回実施、参加人数88人という成果が得られた。	継続		3	1	1	公園課(駒木野/野草を守る会)
459		3-③	市民との協働による地域の活性化	野草写真・原画展	小仏川沿いの野草の写真・イラスト原画の展示を通して、野草の保護活動の推進	どなたでも	1	不定 (チラシ300枚)	821	共催	協働事業の推進	参加人数700人	参加人数821人	A	地域団体との協働を推進し、参加人数821人という成果が得られた。	継続		3	0	1	公園課(駒木野/野草を守る会)
460		3-③	市民との協働による地域の活性化	「高尾の花を描く」展	高尾の花の絵の展示を通して、高尾の魅力を伝える	どなたでも	1	不定	436	共催	協働事業の推進	参加人数300人	参加人数436人	A	地域団体との協働を推進し、参加人数436人という成果が得られた。	継続		0	0	0	公園課(高尾花を描く会)
461		3-③	市民との協働による地域の活性化	ジャズコンサート	音楽鑑賞と地域住民の交流	どなたでも	1	50	49	指定管理者	協働事業の推進	参加人数50人	参加人数49人	B	参加人数49であったが、市民アンケートと地域の交流を推進し、アンケートでは満足の回答が100%であった。	継続		60	73	60	公園課(駒木野庭園アーツ)
462		3-③	市民との協働による地域の活性化	こまぎのフェスティバル	地域交流の推進	どなたでも	1	不定	153	共催	協働事業の推進	参加人数100人	参加人数153人	A	参加人数153人という成果が得られ、地域交流、振興を推進できた。	継続		0	0	0	公園課(こまぎのフェスティバル実行委員会)
463		3-③	市民との協働による地域の活性化	秋の野草写真と原画展	小仏川沿いの野草の観察を通して、野草の保護活動の推進	どなたでも	1	不定	516	共催	参加者の満足度	参加人数300人	参加人数516人	B	アンケートの実施は無いが、参加人数516人という成果が得られた	継続		0	1	0	公園課(駒木野/野草を守る会)
464		4-①	生涯学習情報の収集と発信	消費生活ニュース・くらしのレポートの発行	消費者問題や環境など消費生活に関わる情報提供を行う。	どなたでも	15	300	300	共催	協働事業の推進	関係団体と協働でタイムリーな情報を提供する。	消費生活ニュース月1回くらしのレポート年3回発行	B	定期的に消費生活に関する情報の提供を実施し、消費者に啓発が図られた。	継続		0	0	0	消費生活センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
465		4-①	生涯学習情報の収集と発信	広報「はちおうじの教育」の発行	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	どなたでも	4	282,000部/回	4回合計1,128,368部	委託	学校教育から生涯学習情報まで、教育情報を幅広く掲載し充実化を図る	具体的な目標値はなし	なし	B	学校教育から生涯学習情報まで、教育情報を幅広く掲載し、内容の充実を図ることができたため。	継続		4,125	2,120	4,071	学校教育政策課
466		4-①	生涯学習情報の収集と発信	学校フォトニュースの更新	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	どなたでも	月平均2回程度	ホームページ、学校ホームページ、教育委員会フェイスブックページでの提供	ホームページ、学校ホームページ、教育委員会フェイスブックページでの提供	市単独	更新回数	月2回以上	月1.5回程度	B	学校の教育活動や生涯学習講座、図書館のイベントなど、教育委員会の取組を広く市民に周知することができたため。	継続		0	0	0	学校教育政策課
467		4-①	生涯学習情報の収集と発信	はちおうじっ子フォトニュースの更新	子ども向けに、市の教育行政情報や学校、教育施設の情報提供しに教育施策を周知する。	どなたでも	月平均2回程度	ホームページ、学校ホームページ、教育委員会フェイスブックページでの提供	ホームページ、学校ホームページ、教育委員会フェイスブックページでの提供	市単独	更新回数	月2回以上	月1.5回程度	B	学校の教育活動や生涯学習講座、図書館のイベントなど、教育委員会の取組を小・中学生向けに分かり易く情報発信することができたため。	継続		0	0	0	学校教育政策課
468		4-①	生涯学習情報の収集と発信	小冊子「国民健康保険のしおり」	国民健康保険制度の趣旨を普及・啓発すること。	どなたでも	1回	21,000部	20,000部	市単独	制度の趣旨の普及・啓発	設定なし(情報提供)	小冊子「国民健康保険のしおり」を作成、窓口配付。	B	事業目的である「国民健康保険の仕組みや保険給付内容の説明及び趣旨普及」を行うことができた。	継続		953	867	864	保険年金課
469		4-①	生涯学習情報の収集と発信	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ健康づくり支援をする。	どなたでも	295	5780	5743	市単独	参加者の満足度	生活習慣の改善	相談後の満足度が80%であった	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		0	0	0	南大沢保健福祉センター
470		4-①	生涯学習情報の収集と発信	歯の健康相談	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	どなたでも	5	60人	15	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	相談後の満足度が80%であった	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		0	0	0	南大沢保健福祉センター

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	⑱	⑳
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
471		4-①	生涯学習情報の収集と発信	「市税白書」の発行	市税の状況について、市民の理解を深める。	どなたでも	通年・随時	600部	600部	市単独	本事業は、税に関する市民の理解を深めることを目的に冊子を発行しているため、具体的な数値目標はそぐわない。	市税の状況について、市民の理解を深める。	-	B	より見やすいものとするために、項目ごとの要旨を追加するなど工夫を行った。	継続		91	0	0	税制課
472		4-①	生涯学習情報の収集と発信	「税金の手びき」の発行	税金のしくみなどについて、市民の理解を深める。	どなたでも	通年・随時	800部	800部	市単独	税金のしくみについての市民の理解	アンケートで「役に立った」という回答の割合50%	— (29年度の回答が0件で、30年度はアンケート自体を廃止したため)	B	ほぼ前年度と同じ内容で計画通り作成し、配布することができた。	継続		0	0	0	税制課
473		4-①	生涯学習情報の収集と発信	広報「ごみゼロ通信」の発行	ごみの減量・リサイクルについて、市民に周知・意識啓発を行う	どなたでも	1回	約282,000部	280,770部	委託	ごみの減量・リサイクルについての市民意識の高揚	ごみの減量・リサイクルについての市民意識の高揚	280,770部	B	予定どおりに市内全域に周知することができた。	継続		832	530	847	ごみ減量対策課
474		4-①	生涯学習情報の収集と発信	パンフレット「成年後見制度を活用しよう」	成年後見制度の知識・普及啓発を行う	どなたでも	1	2,000部/1回あたり	2,000部	委託	事業の実施	成年後見制度の普及・利用促進	チラシを2,000部配付した	B	予定通り2000部のパンフレットを発行し、成年後見制度の普及・利用促進のために活用することができた。	継続		170	168	135	福祉政策課 (社会福祉協議会)
475		4-①	生涯学習情報の収集と発信	ボランティアセンターだよりの発行	登録ボランティアや市民に対し、ボランティア活動の情報提供や啓発を目的に発行する	どなたでも	6	4,500部	6,500部	補助	事業の実施	誌面をカラー印刷し、PR効果を高めて市民の認知度向上	誌面をカラー印刷した	B	予定を上回る6500部を発行し、誌面についてはカラー印刷で読みやすい・見やすい誌面作成に努め、ボランティア活動の情報提供や啓発のため活用できた。	継続		1,469	1,871	1880	福祉政策課 (社会福祉協議会)
476		4-①	生涯学習情報の収集と発信	外国人向け情報誌「Ginkgo」	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実をめざす。	どなたでも	6	延13,200部	延13,608部	市単独	掲載内容の充実	掲載内容の充実を図るため、各所管からの記事掲載希望の収集に努める。	市政情報、外国人市民の生活に必要な情報の提供に努めた。(発行部数:延13,608部)	A	市政情報、外国人市民の生活に必要な情報の提供に努めたため。	継続		480	216	480	多文化共生推進課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】					今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
477		4-①	生涯学習情報の収集と発信	歯の健康相談	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を啓発する。	どなたでも	5	24	13人	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	13人。個別に時間をかけて対応することにより、相談者の満足度は高い	B	個別相談であり、十分な時間をとって対応することで相談者の満足度は高い。 医療機関では相談しづらくても、身近な相談の場として提供できている。	継続		14	0	0	大横保健福祉センター
478		4-①	生涯学習情報の収集と発信	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ、健康づくりを支援する。	どなたでも	347	5,100人	3,803人	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	3,803人。個別に時間をかけて対応することにより、相談者の満足度は高い	B	個別相談であり、十分な時間をとって対応することで相談者の満足度は高い。 医療機関では相談しづらくても、身近な相談の場として提供できている。	継続		0	0	0	大横保健福祉センター
479		4-①	生涯学習情報の収集と発信	歯の健康相談	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	どなたでも	25	48	31	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	個別に時間をかけて対応することにより、相談者の満足度は高い	B	個別相談を通し、対象者に合わせた具体的なアドバイスをを行い、意識を高めることができた。	継続		0	0	0	東浅川保健福祉センター
480		4-①	生涯学習情報の収集と発信	環境報告書	事業概要、環境への取り組み及び環境コミュニケーションの社会的な公表、説明責任を果たし、住民との信頼関係を築く。	どなたでも	1	予定発行数 100部	予定発行数 100部	市単独	事業の実施	配布数 100部	配布数 100部	B	継続的に報告書を公表・公開することにより、社会的説明責任を果たし、市民への信頼関係の構築、理解を得た。	継続		0	0	0	北野清掃工場
481	◎	4-①	生涯学習情報の収集と発信	はちコミねっと	市民活動に関する情報発信を行う。	どなたでも	通年	未定	417団体	指定管理者	登録件数	前年度より登録団体数を増やす	42団体増	A	通年で、団体への登録を呼びかけ、団体の情報発信の場の提供を行ったため。	継続		1,469	1,469	1,483	協働推進課(市民活動支援センター)
482		4-①	生涯学習情報の収集と発信	「SUPPORT802」の発行	市民活動に関する情報発信を行う。	どなたでも	6	5000/1回あたり	5000部/1回	指定管理者	紙面の充実	市民活動支援センターの広報担当と協力して紙面の充実をはかる。	広報部会を月に1回開催するなど、紙面の充実を図った。	B	各分野の市民活動団体へ直接取材したり、助成金情報や市民活動イベント情報の掲載をしたりするなど読み手が興味を持つ紙面づくりができた。	継続		指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
483		4-①	生涯学習情報の収集と発信	市民センターだより発行助成	各地域住民協議会の活動を周知し、地域の活性化を目指す。	どなたでも	32	3600/1回あたり	3600/1回あたり	委託	紙面の充実	住民協議会の広報担当と協力して紙面の充実をはかる。	各住民協議会で特色ある紙面づくりを行い、紙面の充実を図った。	B	発行回数は予定回数に届かなかったが、住民協議会の活動を広く周知できたため。	継続		1,360	1,232	1,252	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・学園都市文化ふれあい財団)

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
484		4-①	生涯学習情報の収集と発信	「らいぶらり」の発行	図書館のイベントやお知らせなどの最新情報を、図書館の窓口で、利用者に提供する。	どなたでも	4	2200	8,800	市単独	配布部数	図書館のイベントやお知らせなどの最新情報を提供することで、利用者の促進を目指す。	8,800	B	市民センター図書館の開館など最新の情報を発信することができた。また、ホームページに掲載することで、多くの利用者に情報を提供することができた。	継続		0	0	0	中央図書館
485		4-①	生涯学習情報の収集と発信	「八王子市図書館」(利用案内)の発行	図書館を利用するための案内	どなたでも	通年	20000	25,000	市単独	作成部数	配布を通じて、利用者の、より有効な図書館利用を促進する。	25,000	B	図書館の利用案内を配布しホームページにも掲載することで、図書館の利用促進を図ることができた。また、内容の見直しにより、図やQRコードも記載され、利便性が向上した。	継続		0	0	0	中央図書館
486		4-①	生涯学習情報の収集と発信	新着図書案内の発行	利用者に図書館の新着図書情報を提供する。	どなたでも	12	3000	3,915	市単独	参加者の満足度	新着図書の最新情報を提供することで、利用の促進を図る。	3,915	B	利用者に、定期的に図書館の新着図書情報を提供する事によって、利用促進を図ることが出来た。	継続		0	0	0	中央図書館
487		4-①	生涯学習情報の収集と発信	SNSによる「八王子市の生涯学習講座・イベント情報」の発信	講座・イベント・フリースペースの情報について、SNS(facebookとtwitter)を通じて発信する・	どなたでも	facebook 189件 twitter 225件	インターネット上における情報提供	facebook リーチ数 22,362 twitterインプレッション 数270,295	市単独	更新回数	180回/年	facebook 189件 twitter 225件	B	講座・イベント・フリースペースの情報について、開館日数に対し2日間に1回以上の情報発信ができた。	継続		0	0	0	学習支援課
488		4-①	生涯学習情報の収集と発信	サークル・講師情報「情報広場」の発信	八王子市ホームページにおいて、サークル・団体、講師・指導者情報のデータベースを公開する。	どなたでも	随時更新	インターネット上における情報提供	サークル・団体情報登録325件 講師・指導者情報登録145件	市単独	事業の継続実施と随時更新	事業の継続実施と随時更新	サークル・団体情報の閲覧件数 6,883回 講師・指導者情報閲覧件数 935回	B	蓄積されたデータを随時更新するとともに、30年度に新たに高齢者支援課が開設した「八王子市地域包括ケア情報サイト」に月1回の頻度で更新情報を提供し、より多くの市民に情報が伝わるよう努めた。	継続		0	0	0	学習支援課
489		4-①	生涯学習情報の収集と発信	閲覧用冊子「サークル・団体のご案内」の配布	サークル・講師情報「情報広場」のデータを製本し、、市民センター、市民部事務所、保健福祉センター、体育館などに閲覧用冊子として配架する。	どなたでも	公共施設 60か所に 配架	公共施設への閲覧用冊子の配架	62冊	市単独	事業の継続実施	事業の継続実施	市ホームページにおける講師・指導者情報「情報広場」掲載情報を製本し、市内の公共施設に配架した。	B	インターネットに触れることのない市民に対し、市ホームページ「情報広場」掲載情報を、地域の身近な公共施設で閲覧できるようにした。	継続		0	0	0	学習支援課
490		4-①	生涯学習情報の収集と発信	夏休みイベントカレンダー	各所管で夏休み期間中に実施する小学生を対象とした事業について集約した小冊子を作成し、各市立小学校を通じて児童へ配布する。	子ども	1	23,000部	23,000部	市単独	事業の実施	わかりやすい情報の提供	—	B	各所管で実施する事業の情報を集約し、わかりやすい情報提供をすることで、より多くの子どもに体験や学習の機会を提供するよう努めた。	継続		0	0	0	生涯学習政策課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】				平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)		
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値							所管課事業評価	評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
予定	実績																				
491		4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	高齢者	12	60	51	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	相談後の満足度が80%であった	B	目標値を達成したため。来年度も継続して実施する。	継続		180	180	180	南大沢保健福祉センター
492		4-②	相談体制の拡充	権利擁護相談・成年後見制度利用相談	認知症高齢者や知的障害者等で判断能力の不十分な方への権利擁護・成年後見の相談を行う	どなたでも	19	2人/1回	32人	委託	参加者の満足度	成年後見制度の普及・利用促進	19回開催し、32名が相談を利用している。その後の継続相談につながったり苦情もないため満足頂いていると判断している。	B	相談業務については、苦情もなく概ね満足いただいていると判断しているが、参加者の満足度を図るアンケート等はとっていないので、今後検討していく。	継続		463	382	463	福祉政策課 (社会福祉協議会)
493		4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	高齢者	12	60	46人	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	個別相談により、相談者の状況に合った指導を実施	B	個別相談のため、相談者の満足度は高い。QOL向上に繋がっている。	継続		240	240	240	大横保健福祉センター
494		4-②	相談体制の拡充	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ健康づくり支援をする。	どなたでも	327	4,000	4,719	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	糖尿病重症化予防相談を利用した市民の80%で相談後の健診においてHbA1c値が改善	B	相談者の生活改善・意識向上につなげた。	継続		0	0	0	東浅川保健福祉センター
495		4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	高齢者	12	60	48	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	個別相談により、相談者の状況に合った指導を実施	B	個別相談を通し、対象者に合わせた具体的なアドバイスを行い、意識を高めることができた。	継続		240	240	240	東浅川保健福祉センター
496		4-②	相談体制の拡充	生涯学習相談	生涯学習情報を提供するほか、学習要望に対して助言する。	どなたでも	随時	-	—	市単独	その他	相談体制の構築	開館日の窓口において随時実施。	B	新設サークルに対する利用案内、市内のイベント講座情報・生涯学習情報などを提供し、学習要望に対して助言を行うことができた。	継続		0	0	0	学習支援課
497		4-②	相談体制の拡充	地域参加等支援デスク	定年を迎えた方などに、生きがいを持ちながら地域活動をしていただくため、総合的な情報提供や相談により支援を行う。	どなたでも	随時	10	4	市単独	応募者・参加者の人数	10人	4人	C	広報はちおうじの毎月1日号に、「地域参加等に関する相談」として相談カレンダーに掲載しているが、相談件数は低迷している。実施の方法等について、検討の必要性があると考えている。	廃止・終了	当事業は、団塊世代の大量退職を見据え、平成18年度に始めたものだが、相談件数は年々減少してきている。電話と窓口という媒体では需要が無くなっていることから、事業の形態を見直す必要があると考える。	無	0	0	協働推進課

平成30年度生涯学習関連事業 自己評価一覧

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容 (50文字以内)	平成30年度【実績】					平成30年度【評価】				今後の方向性	【今後の方向性】で「休止・廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	H30 予算 (千円)	H30 決算 (千円)	H31 予算 (千円)	担当課 (実施主体)	
						対象者	回数	参加者数(人)等		実施形態	評価指標項目	評価指標項目に対する目標値	目標値に対する実績値	所管課事業評価							評価理由、実績、来年度の改善案(C,D評価の場合改善案必須) (120字程度)
								予定	実績												
498		4-③	施設の有効活用と開放	八王子市立学校内開放教室の試行開放	生涯学習、地域コミュニティ活動等を行う団体に対して活動の場を提供する	どなたでも	93	1,800人	1,317	市単独	事業の実施	生涯学習団体が利用できる場の提供をする。	生涯学習団体が利用できる場の提供できた。	B	事業を継続し、団体に活用してもらうことができた。	継続		0	0	0	生涯学習政策課
499		4-③	施設の有効活用と開放	姫木平自然の家運営	恵まれた自然環境の中で、自然探究や様々な野外活動と集団生活を通じて、青少年の心身の健全な育成を図る	どなたでも	-	16,000人	13,127人	指定管理者	参加者の満足度	80%以上	98%	A	地域の関係諸団体のとの連携を図り、施設の運営を行った。利用者アンケートにおける「全体の満足度」は高い水準であるとともに、「職員の対応の親切さ」では、「満足」と答えた人が100%であった。	継続		46,649	46,634	48,651	生涯学習政策課
500		4-③	施設の有効活用と開放	学習室の貸し出し	生涯学習の充実を図るため、利用したい団体・個人に利用可能な学習室を貸し出し、来館者の学習意欲を支援する。	どなたでも	24,027	280,000	271,505	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。(平成29年度3館合計 20,843件 278,845人)	3館合計 24,027件 271,505人	B	概ね前年度と同様の利用状況であったため。	継続		-	0	0	学習支援課
501		4-③	施設の有効活用と開放	フリースペース	空き学習室を自習スペースとして活用し、学生の学習を支援する。	学生	642	10,000	15,941	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。(平成29年度 3館の延参加者9,702名)	3館の延参加者15,941名	A	土日祝日の開催日数を拡大し、大幅な利用者の増、学生の学習需要にこたえることができた。	継続		0	0	0	学習支援課